

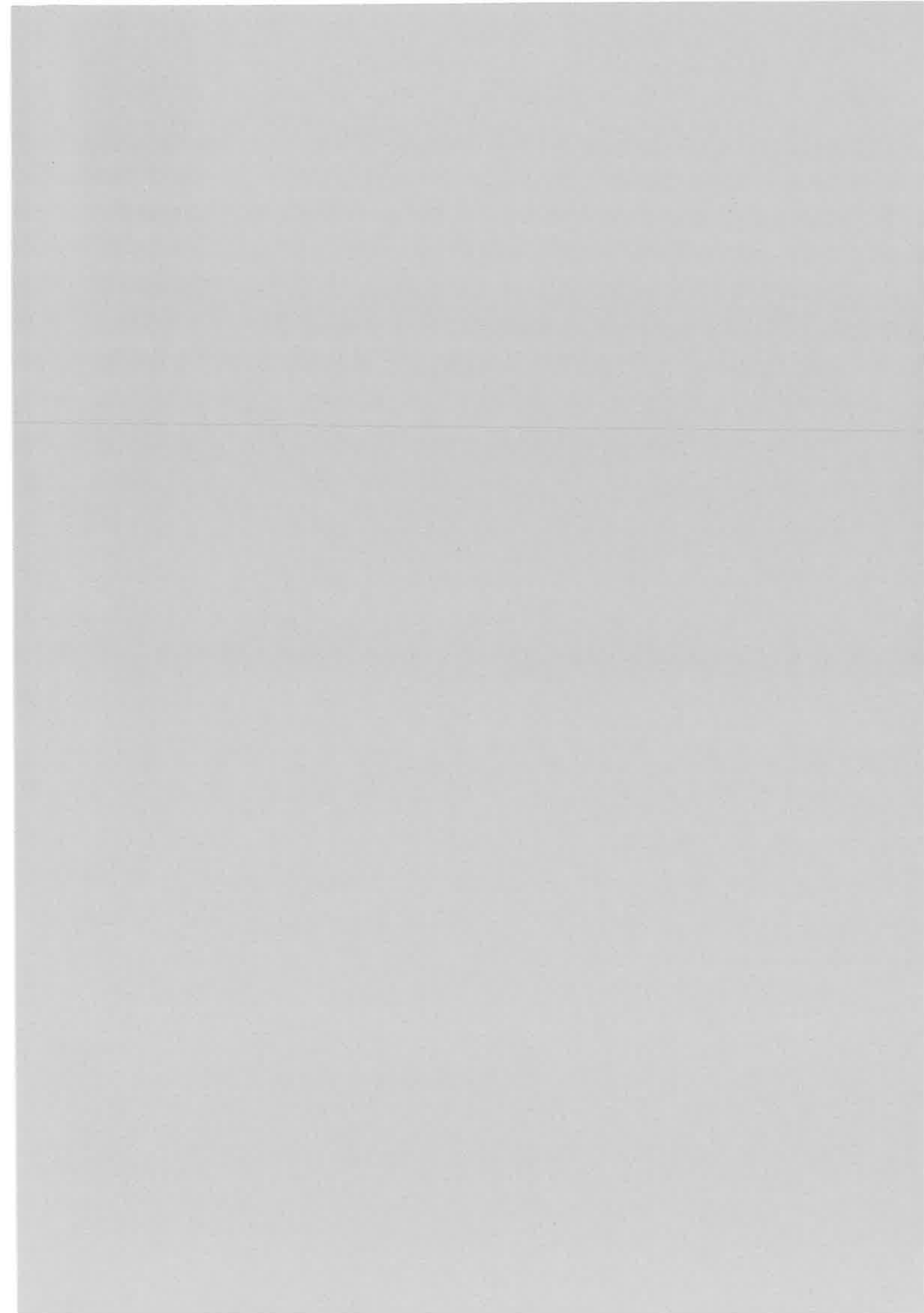
山口県立美術館年報

平成9～10年

ANNUAL REPORT

1997～1998

THE YAMAGUCHI PREFECTURAL MUSEUM
OF ARTS





山口県立美術館年報

平成9～10年

ANNUAL REPORT

1997～1998

THE YAMAGUCHI PREFECTURAL MUSEUM
OF ARTS

目 次

山口県立美術館概要

1) 事業

I 展覧会事業	5
(1) 特別展	7
(2) 常設展	37
II 普及教育事業	61
(1) 山口県美術展覧会	63
(2) 現代美術展	69
(3) 美術講演会および講座	75
(4) 美術館ニュース「天花」(てんげ)	78
(5) 山口県立美術館移動美術館	80
(6) 年間行事ポスター・チラシ	82
(7) 博物館実習	83
III 調査研究事業	85
(1) 研究紀要の発行	87
(2) 雪舟研究会	87
IV 収集事業	91
(1) 館蔵品貸出利用状況	93
(2) コレクション	96

2) 入館者一覧

3) 組織等

山口県立美術館概要

所在地	山口市亀山町3番1号
敷地面積	11,545.470平方メートル
建物概要	構 造 鉄筋コンクリート造／地下1階・地上2階／一部鉄骨造 建物面積 4,077.168平方メートル 建物延面積 5,420.350平方メートル
工期	1977（昭和52）年8月～1979（昭和54）年3月
設計	鬼頭梓建築設計事務所
監理	山口県建築課 鬼頭梓建築設計事務所
施工	鹿島建設株式会社／日本電設工業株式会社／株式会社 大気社／塩田工業株式会社
総工費	17億円

展覧会事業

常設展

館蔵品を通じて本県の美術文化の歴史や郷土が生んだ代表的作家の全貌、郷土の風土と生活のなかに育まれた代表的な工芸などをわかり易く常設展示する。

企画展

館の調査研究にもとづき、テーマを設定し、内外のすぐれた作品を借用するなどしてユニークな自主企画展示をする。

その他の展示

新聞社や他館との共催展や美術団体展などすぐれた内容の展覧会を誘致し公開する。

普及教育事業

山口県立美術館移動美術館

館蔵品による移動巡回展示（移動美術館）を県内各地で行ない、県民の生活に密着した展示活動を展開する。

講演会・講座

実技講座、美術講座、美術講演会などを実施し、県民の創作の場、美術教養の修得の場を提供することによって、より多くの県民の密度の高い利用に供する。

公募展等

県美術展覧会などの公募展を開催し、県民に作品創作の場を提供する。

調査研究および収集事業

本県の美術に関する調査研究を実施し、基礎資料や作品の収集を充実させるとともに、これを整理保管するとともに有効な利用をはかる。

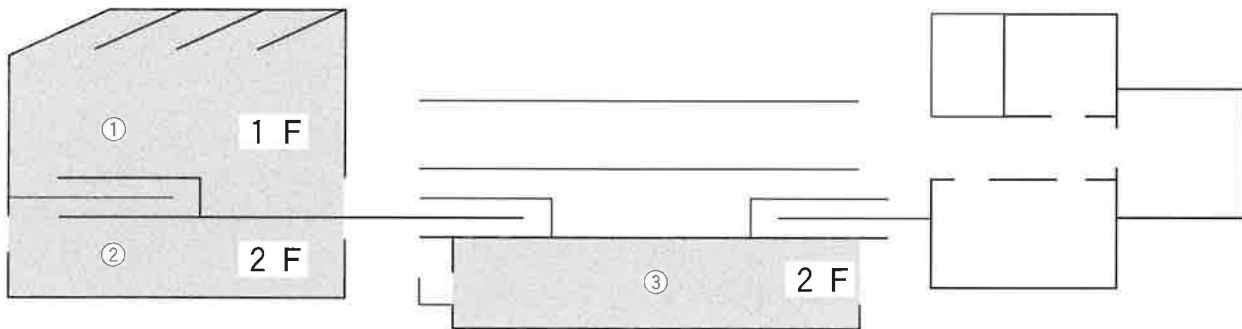
事業

I. 展覧会事業

(1) 特別展

館主催による自主企画展を毎年3本ひらいている。内訳は、予算規模に応じて大型企画展2、小型企画展1となっており、大型企画展ではおもに個人作家展やテーマ展など、小型企画展では現代美術をそれぞれ取り上げている。会場は、原則的には企画展示室Ⅰ・Ⅱ（①・②）の2室を使用しているが、近年は展覧会規模の大型化にともない、この2室に加え常設展示室Ⅱ（③）をこの延長スペースに使わざるを得ない状況が多々生じてきている。

いわゆる共催展は、新聞社などの企画による巡回展が主なものである。原則として年に2～3本程度開催している。展示室は原則的には企画展示室Ⅰ・Ⅱ（①・②）を使用しているが、自主企画展と同様に近年では展覧会規模の大型化により共催展についてもその延長スペースとして常設展示室Ⅱ（③）を併用するケースが増えてきている。また近年は、実行委員会方式による巡回展誘致が増加するとともに巡回展そのものに当館の学芸スタッフが参画するケースが増えてきており、予算および内容の両面で企画展との区別が曖昧になってきている。したがって、今号から企画展、共催展は特別展として一箇所にまとめて整理した。



企画展示室Ⅰ（①）583.298㎡（延べ面積）

企画展示室Ⅱ（②）304.695㎡（延べ面積）

常設展示室Ⅱ（③）471.825㎡（延べ面積）

* 凡例

以下の展覧会記録は、名称・趣旨・会場構成・カタログ・出品作品リスト・展評の順で編集した。

天空の秘宝ーチベット密教美術展ー

1997(平成9)年4月26日～6月15日

主催 山口県立美術館、朝日新聞社、YAB山口朝日放送

会場 企画展示室Ⅰ、Ⅱ

常設展示室Ⅱ



(1) 趣旨

チベットはそのほとんどの地域が標高4500mを越える高地で「世界の屋根」といわれている。そのチベットの豊かな自然環境の中で生み出された崇高な美術は、まさに「天空の秘宝」と呼ぶにふさわしいもので、近代以降、世界的に注目されてきた。7世紀にチベットに仏教が伝えられて以来、チベットでは1000年以上もの間、インドや中国の文化的影響を受けながらも独自の宗教観と世界観に基づく文化をはぐくみ、その豊かな想像力によって、高度に洗練された密教美術を生み出してきた。

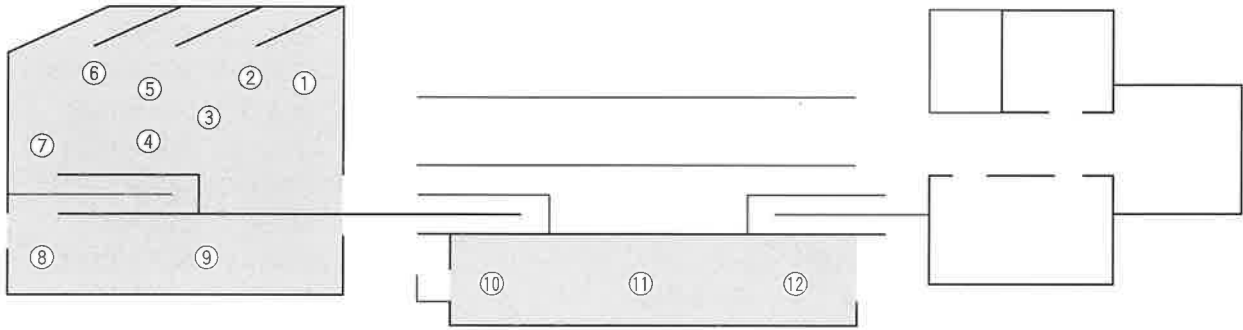
しかし、20世紀に入って相次ぐ動乱の中、チベットの寺院や芸術作品は数多く破壊され、大量の至高な美術品が世界中に散逸した。そのため、チベット美術の逸品を体系的に見ることは二度と出来ないといわれてきた。

本展覧会は、チベット美術がもっとも成熟した10世紀から19世紀までの仏像・タンカ（チベット仏画）など182点をエルミタージュ美術館、ビクトリア&アルバート美術館、ストックホルム国立民俗学博物館などの世界の美術館、博物館や、世界各地の個人コレクターからチベット美術の優品を集め、最新の学術研究をふまえて一堂に展覧するものであった。

欧米に所在するチベット美術の優品を体系的に紹介する展覧会としては画期的なもので、その大部分が日本初公開である。チベット密教の神秘的な神々の彫像や、鮮やかな色彩と洗練された画面構成を見せるタンカ（チベット仏画）は、美術作品として優れているばかりではなく、深遠なチベット密教の奥義を視覚化したものでもある。

本展覧会は、これまで神秘のベールに包まれていたチベット密教の全貌を明らかにし、理解を深める大変意義深いものであった。

(2) 会場構成



- ①釈迦牟尼仏 その生涯 ②阿羅漢 ③菩薩 ④大学者と大成就者 ⑤法王 ⑥ニンマ派
⑦サキャ派 ⑧カギユ派 ⑨ゲルク派 ⑩宇宙的菩薩 ⑪宇宙的仏陀 ⑫浄土

(3) カタログ

編集 朝日新聞社文化企画局東京企画部

内容

ごあいさつ

超宗教としてのチベット仏教 中沢新一

日本の密教とチベットの密教 頼富本宏

智慧と慈悲：チベット文化の核心 ロバート・A・F・サーマン

チベット、その仏教と美術 ロバート・A・F・サーマン

チベットの仏教美術：その美学、年代、様式 マリリン・M・リー

第I部 チベットの聖史

- 1 釈迦牟尼仏 その生涯
- 2 阿羅漢
- 3 菩薩
- 4 大学者と大成就者
- 5 法王

第II部 チベット仏教の宗派

- 6 ニンマ派
- 7 サキャ派
- 8 カギユ派
- 9 ゲルク派

第III部 チベットの理想世界

- 10 宇宙的菩薩
- 11 宇宙的仏陀
- 12 浄土

参考文献

- A 4版 2分冊（本文編144ページ、図版編248ページ）



(4) 出品作品

番号	作品名	所蔵者	材質	法量(cm)	時代
1	金剛手	ストックホルム国立民族学博物館	真鍮鍍金	高185	1700年頃
2	釈迦牟尼仏陀	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高40.6	11世紀中期～12世紀
3	釈迦牟尼仏陀	個人蔵	真鍮	高50	11世紀
4	釈迦牟尼仏陀	個人蔵	銅合金	高54.5	13世紀前期
5	釈迦牟尼仏陀	エリケ・ビーバー・コレクション	真鍮	高38.1	14世紀前半
6	釈迦牟尼仏陀	エルミタージュ美術館	青銅鍍金	高41	17世紀後期
7	釈迦仏伝図	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	86.4×74.3	14世紀
8	釈迦仏伝図	個人蔵	綿布着色	101.5×81.3	15世紀後半

9	釈迦本生譚	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	綿布着色	66×42	17世紀後期~18世紀前期
10	当来仏弥勒	エルミタージュ美術館	青銅	高20	10世紀~11世紀
11	阿羅漢ヴァナヴァーシ	個人蔵	綿布着色	71.1×53.3	14世紀
12	阿羅漢ラーフラ	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	綿布着色	67.9×58.4	14世紀後期~15世紀前半
13	阿羅漢カーリカ	ロサンゼルス・カウンティ美術館	青銅鍍金	高16.5	14世紀後期
14	阿羅漢カナカヴァトウサ	シェリー&ドナルド・ルビン・コレクション	綿布着色	129.5×52.1	16世紀中期
15	阿羅漢カーリカ	シェリー&ドナルド・ルビン・コレクション	綿布着色	101.6×58.4	16世紀
16	阿羅漢アペーダ	エッセン・コレクション	真鍮	高16.5	16世紀前半
17	菩薩	個人蔵	銅合金	高64.5	9世紀前半頃
18	蓮華手菩薩	エルミタージュ美術館	綿布着色	75×24	1227年以前
19	緑カディラヴァーニー・ターラー	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	綿布着色	122.5×80	12世紀前半頃
20	緑ターラー	エルミタージュ美術館	絹製タバストリー	100.9×51.5	1227年以前
21	緑ターラー	ロイヤル・オンタリオ美術館	真鍮鍍金	高36.8	17世紀中期
22	白ターラー	アジア・ソサイエティ	銀製	高17.1	17世紀
23	白ターラー	アメリカ自然史博物館	綿布着色	35.6×23.8	17世紀前半
24	観音	スピנק&サン社	青銅	高127.0	11世紀前期
25	観音	ロバート・ハットフィールド・エルズワース・コレクション	青銅	高55.8	11世紀後期~12世紀前期
26	観音	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高34.8	12世紀
27	六字観音	A&J・スピールマン	真鍮	高67	14世紀
28	六字観音	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	56.5×50.2	13世紀後半~14世紀前半
29	六字観音	個人蔵	綿布着色	90.2×61.3	17世紀
30	文殊	個人蔵	綿布着色	55.9	13世紀
31	四臂文殊	エルミタージュ美術館	真鍮	高25.2	15世紀、永楽年間(1403-25)銘あり
32	文殊	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	青銅鍍金	高31	14世紀後期~15世紀前期
33	文殊と弥勒	ヴィクトリア&アルバート美術館	綿布着色	80×68.5	16世紀中期
34	弥勒菩薩	シェリー&ドナルド・ルビン・コレクション	綿布着色	88.9×68.6	16世紀
35	弥勒菩薩	エルミタージュ美術館	銀製打出	高28.6	18世紀中期
36	文殊	ストックホルム国立民族学博物館	真鍮鍍金	高182.3	1700年頃
37	六字観音	ストックホルム国立民族学博物館	真鍮鍍金	高185	1700年頃
38	月称	エルミタージュ美術館	青銅	高19.1	18世紀前半
39	大成就者ナクポバ	ロサンゼルス・カウンティ美術館	青銅	高22.2	14世紀中期
40	大成就者クリシュナー・チャールヤ	ウェスリー&キャロライン・ハルパート・コレクション	青銅	高36.8	15世紀第2四半期
41	大成就者ティローバとナーローバ	ドリス・ウィーナー・ギャラリー&ナンシー・ウィーナーギャラリー	綿布着色	80×59.7	15世紀後半~16世紀前期
42	大成就者バドラバ(サンポバ)	ウェスリー&キャロライン・ハルパート・コレクション	青銅	高24	15世紀中期
43	大成就者シャヴァーリーバとダーリカバ	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	綿布着色	65.5×38.1	16世紀後期
44	大成就者ガンターパと配偶者	ヴィクトリア&アルバート美術館	青銅鍍金	高22.7	16世紀後半~17世紀前期
45	四大成就者(アジタ、シャヴァーリーバ、パルプソ、パヤニ)	エッセン・コレクション	綿布着色	84×56	18世紀
46	毘沙門天	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	98.4×82.9	1400年頃
47	毘沙門天	個人蔵	綿布着色	81.3×73.7	1400年頃
48	パドマサンバヴァ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高61	15世紀後半
49	パドマサンバヴァと二十五成就者	ヴィクトリア&アルバート美術館	綿布着色	57×43.2	15世紀中期
50	パドマサンバヴァとその生涯	個人蔵	綿布着色	142.3×96.5	16世紀末~17世紀前半
51	銅色山浄土のパドマサンバヴァ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	72.4×58.4	16世紀後期~17世紀前期
52	本初仏・普賢父母仏	シェリー&ドナルド・ルビン・コレクション	綿布着色	86.4×71.1	16世紀
53	大黒天	ロバート・ハットフィールド・エルズワース・コレクション	黒い堆積岩	高19	12世紀
54	金剛童子(金剛槌)	ニューアーク美術館	真鍮	高27.4	11世紀後期~12世紀
55	馬頭	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	青銅	高34.3	12世紀後期~13世紀前期
56	大輪金剛手と神妃	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高37.6	15世紀前半
57	四臂金剛手	個人蔵	綿布着色	96.5×64.8	17世紀前半
58	尊者ダクマルとしてのパドマサンバヴァ	個人蔵	絹本着色	86×55	16世紀後半~17世紀前半

59	尊者ダクポチエ	ニューアーク美術館	綿布着色	79×63.5	17世紀後半
60	尊者ダクポチエ父母	シェリー&ドナルド・ルビン・コレクション	綿布着色	58.5×48.3	18世紀
61	ゴンポ・ベルナクチェン	個人蔵	綿布着色	70×55	18世紀後期~19世紀前期
62	ベクツェ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	96.5×66	18世紀後期~19世紀前期
63	大訳経官リンチェン・サンポ	個人蔵	綿布着色	84×70	11世紀後期~12世紀前半
64	ササン・パクパ・ツォンヌ・ロトロ (マティ・パンチェン)	個人蔵	綿布着色	45.7×52.4	14世紀後期
65	サキャ派ラマ クンガ・ニンポ	個人蔵	綿布着色	114.1×94	1429年頃
66	執金剛と金剛法	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	89×74.5	15世紀中期
67	サキャ派ラマ クンキェン・ゴウォ (ゴラムパ)	ウェスリー&キャロライン・ハルパート・コレクション	真鍮	高18.1	15世紀第4 四半期
68	サキャ派ラマ、ソナム・ツェモ	ロサンゼルス・カウンティ美術館	銅合金	高18.4	15世紀後期~16世紀前期
69	サキャ・パンディタ	エッセン・コレクション	真鍮	高19.5	15世紀
70	ドクミ	エッセン・コレクション	真鍮	高38.5	15世紀後半
71	サキャ派ラマ ソナム・ルンドゥブ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高19	16世紀中頃
72	サキャ派ラマ (恐らくンゴルチェン・カンガ・ザンポ)	シェリー&ドナルド・ルビン・コレクション	綿布着色	92.7×80	15世紀末
73	インドの学僧ガーヤダラ、サキャ派の尊者	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	78.8×66	16世紀後半
74	プトゥン・リンチェントゥブ	サンフランシスコ・アジア美術館	綿布着色	88×61.6	17世紀後期、ケンラ ブ・ジャムヤン画
75	ヴィルーパ	A&J・スピールマン	青銅	高40.5	1400年頃
76	大黒天パンジャラナータ	ウィラード・G・クラーク夫妻・コレクション	銅合金	高40.2	14世紀
77	金剛手	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	84×76.2	14世紀後半~15世紀前期
78	サンヴァラ、パラマスッカ・チャクラサンヴァラ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高33	12~13世紀前期
79	パラマスッカ・チャクラサンヴァラ父母仏	個人蔵	綿布着色	80×73.7	14世紀後半
80	パラマスッカ・チャクラサンヴァラ父母 (多面相)	個人蔵	綿布着色	61×45.8	15世紀後半~16世紀前期
81	大黒天パンジャラナータ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	161.6×136	16世紀前半
82	大黒天ブラフマナルーパ	エルミタージュ美術館	真鍮	高21	16世紀後期
83	ヴァジュラーヴァリー四曼荼羅	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	89×73.7	1390年頃
84	神妃ナイラトミヤー	ロサンゼルス・カウンティ美術館	真鍮鍍;トルコ 石象獣、彩色	高23.5	16世紀後半
85	秘密集会三十二尊曼荼羅	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	91.5×82	14世紀後期
86	赤色ヤマーリ曼荼羅	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	61×53.4	14世紀後期
87	赤色ヤマーリ父母仏	エルミタージュ美術館	銅・金合金	高17.2	15世紀、永楽年間 (1403-25) 銘あり
88	大黒天ブラフマナルーパ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	147.2×96.5	17世紀後期
89	ミラレパ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高45.7	14世紀後期
90	ミラレパ	A&J・スピールマン	真鍮	高28	15世紀第2 四半期
91	ミラレパ	エルミタージュ美術館	象牙	高7.6	16世紀
92	ミラレパ	ロサンゼルス・カウンティ美術館	青銅	高17.8	17世紀前半
93	ミラレパとその生涯	ストックホルム国立民族学博物館	綿布着色	83.5×55.5	18世紀後期~19世紀前期
94	ミラレパとその生涯	ストックホルム国立民族学博物館	綿布着色	83.5×55.5	18世紀後期~19世紀前期
95	ガムポバ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	61×50.8	18世紀
96	タクルン派ラマ タンパ・チェンポ	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	30.5×28	13世紀前半
97	タクルン派ラマ サンギェ・ヤルジョンパ	ウェスリー&キャロライン・ハルパート・コレクション	綿布着色	22.9×17.8	13世紀第4 四半期
98	ドゥク派ラマギャルワ・ゴツァンパ・ゴンポ・ドルジェ	ニューアーク美術館	真鍮	高66	15世紀
99	カルマ派1世 トゥースム・キェンパ	A&J・スピールマン	真鍮	高33	14世紀
100	カルマ派血脈図	ウェスリー&キャロライン・ハルパート・コレクション	象牙	8.8×7.6	16世紀後半
101	ブツダシュリー	ヴィクトリア&アルバート美術館	真鍮	高19.9	15世紀後半

102	カギユ派ラマ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	53.4×43.2	16世紀後半
103	ディクン派ラマ ジグテン・スムゴン	個人蔵	青銅鍍金	高11.6	13世紀
104	ラマ	エルミタージュ美術館	真鍮鍍金	高31	15世紀後期～16世紀前期
105	ラマ カルマ・ドウツイ	ロサンゼルス・カウンティ美術館	青銅鍍金	高28.5	16世紀後半
106	ラマ (僧)	エルミタージュ美術館	綿布着色	38×27	1227年以前
107	パラマスッカ・チャクラサンヴァラ 父母仏、ルーイーバ曼荼羅	エルミタージュ美術館	綿布着色	80×66	1227年以前
108	ヘーヴァジュラ曼荼羅	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	35.6×33	13世紀前半
109	ヴァジュラヴァーラーヒー	エルミタージュ美術館	綿布着色	110.5×68.5	1227年以前
110	ラマ (アティーシャカ初期 のカダム派ラマ)	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	綿布着色	35.3×27.4	12世紀
111	ツォンカパ	ストックホルム国立民族学博物館	真鍮鍍金	高127	1700年頃
112	ツォンカパ及びギャルツァブ、ケートゥブ	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	77.2×58.1	15世紀後半
113	ツォンカパ	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	95.3×72.1	15世紀第4 四半期
114	ツォンカパとその生涯	個人蔵	綿布着色	84.5×61.3	17世紀
115	ツォンカパとギャルツァブ、ケートゥブ	ウィリアム・M・ヒッチコック・コレクション	絹製タペストリー	214×144	18世紀後期
116	ダライラマ3世ソナム・ギャ ツォと、その密伝	個人蔵	綿布着色	123.2×93.3	16世紀第3 四半期
117	ダライラマ5世ガワン・ロサン・ギャツォ	ローズ美術館	青銅鍍金	高20	17世紀末期
118	ダライラマ5世	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	絹本着色	59.7×44.4	17世紀中期
119	チャンキヤ派フトウクトウ、 ロールペー・ドルジェ	エルミタージュ美術館	真鍮鍍金	高16.5	18世紀後半
120	秘密集会阿闍金剛父母仏	サンフランシスコ・アジア美術館	青銅鍍金	高71	15または16世紀
121	パラスマッカ・チャクラサンヴァ ラとヴァジュラヴァーラーヒー	サンフランシスコ・アジア美術館	青銅鍍金	高30.5	17世紀
122	十三尊ヤマーントカ父母仏	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	152×122	17世紀後期～18世紀前期
123	ヤマーントカ・ヴァジュラバ イラヴァ・エーカヴィーラ	エルミタージュ美術館	真鍮	高47.5	18世紀、乾隆年間(1735 -1796) 銘あり
124	外護のヤマ法王	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	68.6×45.7	17世紀中期
125	大黒天	ロイヤル・オンタリオ美術館	真鍮鍍金	高35.2	17世紀
126	六臂大黒天	個人蔵	綿布着色	71.1×54.6	17世紀末
127	ナーロー・ダーキニー	エルミタージュ美術館	真鍮鍍金	高16.5	18世紀前期
128	ペンデン・ラモ (吉祥天)	ローズ美術館	青銅鍍金	高19	17世紀後期～18世紀前期
129	ペンデン・ラモ	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	綿布着色	72.5×50.3	17世紀
130	シンハヴァクトラ	エルミタージュ美術館	真鍮	高21	16世紀後期
131	毘沙門天	エルミタージュ美術館	真鍮鍍金	高17.2	18世紀前半
132	毘沙門天	エルミタージュ美術館	板彫	50×41×3.5	19世紀
133	ベグツェ	エルミタージュ美術館	真鍮	高24	17世紀前期
134	ベグツェ	エッセン・コレクション	綿布着色	84.5×57.5	18世紀後期～19世紀前期
135	セルタブ	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	143.5×90.2	18世紀後期～19世紀前期
136	八臂忿怒形緑ターラー	個人蔵	綿布着色	68.5×45.7	17世紀前半
137	仏頂尊勝母	エルミタージュ美術館	真鍮鍍金	高34.2	17世紀後期～18世紀前期
138	白傘蓋仏母	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	77.5×52	18世紀前半
139	蓋仏白傘母	エルミタージュ美術館	真鍮打出	高102	18世紀中期
140	八臂十一面観音	エルミタージュ美術館	綿布着色	132×94	1227年以前
141	十一面千手観音	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	82×71.8	14世紀後期～15世紀前半
142	十一面千手観音	個人蔵	綿布着色	96.5×72.4	15世紀後半～16世紀前半
143	十一面千手観音	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	粘土	21.6×15.2×2.5	17～18世紀
144	金剛薩埵	A&J・スピールマン	青銅	高73	11世紀～12世紀
145	金剛薩埵	ニューアーク美術館	真鍮	高45	15世紀前半
146	忿怒形金剛薩埵	個人蔵	綿布着色	57.2×44.5	15世紀前半
147	薬師	エルミタージュ美術館	綿布着色	110×82	1227年以前
148	薬師	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	100.3×77.5	14世紀

149	薬師曼荼羅	エルミタージュ美術館	真鍮	高14~16	18世紀中期
150	金剛座の釈迦牟尼仏陀	エルミタージュ美術館	綿布着色	80×52.5	1227年以前
151	阿闍	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	55.3×44.1	11世紀~12世紀前半
152	阿闍	ロバート・ハットフィールド・エルズワース・コレクション	真鍮	高42.0	13世紀
153	宝生	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	真鍮	高35.5	12世紀後期~13世紀前期
154	一切智大日	個人蔵	綿布着色	83×65	13世紀中期
155	大日	ヴィクトリア&アルバート美術館	真鍮	高25.4	14世紀
156	大日	エルミタージュ美術館	真鍮	高18.5	15世紀前期
157	不空成就	エルミタージュ美術館	青銅	高27	14世紀
158	不空成就	個人蔵	綿布着色	79×67.6	15世紀第2 四半期
159	宝生	エルミタージュ美術館	青銅	高31.7	14世紀後期~15世紀前期
160	阿弥陀	エルミタージュ美術館	真鍮鍍金	高28	14世紀後半
161	阿弥陀	個人蔵	青銅鍍金	高25.5	14世紀またはそれ以前
162	阿弥陀極楽図	シェリー&ドナルド・ルビン・コレクション	綿布着色	64.1×48.9	14世紀後半~15世紀前期
163	阿弥陀極楽像	ウェスリー&キャロライン・ハルパート・コレクション	黄褐色の石	16.2×13.3×7.6	16世紀後期~17世紀前期
164	宝冠仏	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	青銅	高36	11世紀
165	宝冠仏	ロバート・ハットフィールド・エルズワース・コレクション	銀製	高22.8	1300年頃
166	如来(三十五懺悔仏の一)	個人蔵	綿布着色	115.7×75.5	17世紀
167	執金剛	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	綿布着色	60.5×50.3	14世紀後期~15世紀前期
168	執金剛	ニューアーク美術館	銅鍍金	高47.6	15世紀後期~16世紀前半
169	執金剛と般若仏母の父母仏	エッセン・コレクション	真鍮・銅合金	高38.5	16世紀前半
170	執金剛	個人蔵	綿布着色	58.4×44.5	17世紀後期
171	釈迦牟尼と仏、菩薩、ラマ	個人蔵	綿布着色	99×80	13世紀中期
172	銅色山浄土のパドマサンバヴァ	エッセン・コレクション	綿布着色	76.5×46.7	18世紀
173	須弥山	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	絹製	83.2×54.6	17世紀
			タペストリー		
174	阿弥陀極楽図	マイケル・マコーミック・コレクション	綿布着色	66×55.8	14世紀後半~15世紀前半
175	ミラレパとその生涯	ストックホルム国立民族学博物館	綿布着色	158×92	18世紀後期~19世紀前期
176	ラサの寺院と僧院	ロイヤル・オンタリオ美術館	綿布着色	135.4×184.6	19世紀前半
177	秘密集会の阿闍金剛と触金剛女との父母仏	個人蔵	綿布着色	107.5×89	14世紀前期
178	カーラチャクラとヴィシュ ヴァマターとの父母仏	ジョン・ギルモア・フォード・コレクション	青銅鍍金	高40.7	15世紀
179	カーラチャクラ曼荼羅	個人蔵	綿布着色	高54.6×49.5	15世紀後半~16世紀前期
180	シャンバラ王国と仏教最終戦争	ツインマーマン・ファミリー・コレクション	綿布着色	175.3×196.9	18世紀
181	羅睺星	ドリス・ウィーナー・ギャラリー&ナンシー・ ウィーナー・ギャラリー	青銅鍍金	高53.5幅51	14世紀後半~15世紀前期
182	天女	ジョン・L・イーストマン・コレクション	青銅鍍金	高39.4幅37.5	14世紀~15世紀前期
183	ストゥーパ(仏塔)	エルミタージュ美術館	青銅鍍金	高110幅57	18世紀

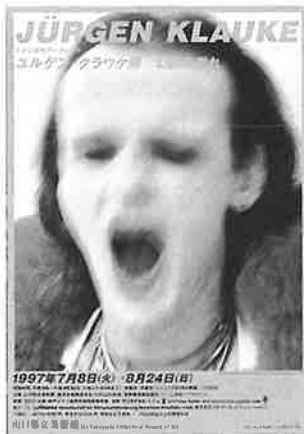
ユルゲン・クラウケ展—幻影の戯れ—

1997(平成9)年7月8日～3月23日

主催 山口県立美術館、読売新聞西部本社、美術館連絡協議会、
K R Y山口放送、関西ドイツ文化センター

後援 文化庁、大阪・神戸ドイツ連邦共和国領事館

会場 企画展示室 I、II



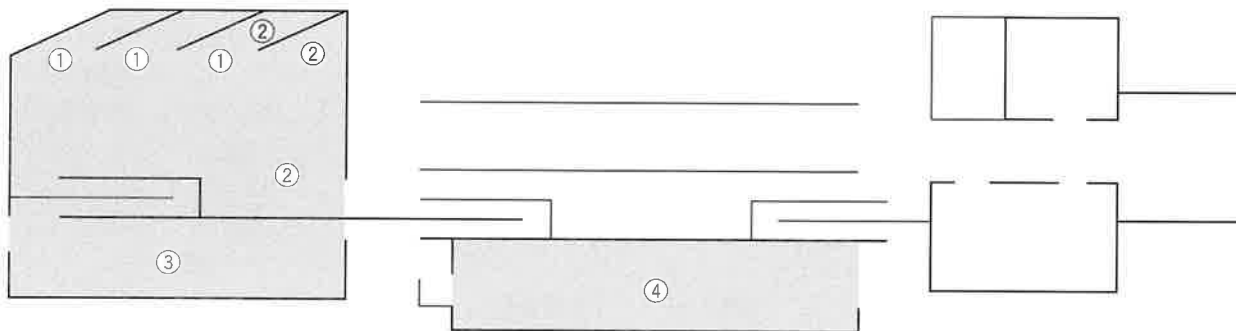
(1) 趣旨

ユルゲン・クラウケ(1943年、ドイツ生まれ)は、その卓越した洞察力と視野の広さから今日の人間の存在を照らし出していく芸術家として、ヨーロッパで高い評価を得ているアーティストである。1960年代後半に、ケルンのデザイン芸術専門単科大学でグラフィックアートを学んだクラウケは、アーティストとしての経歴を、ドローイングの創作からスタートさせている。まさしく世界的規模で学生運動が頂点に達した時代であり、意欲的な若い芸術家達は因習的な芸術を否定し、自らの生や感性をよりダイレクトに反映した創作を実現しようとしてさまざまな活動を繰り広げた。クラウケもまたそうした芸術家の一人であり、自らの性的な妄想をそのまま翻訳したかのようなエロティックなドローイングを簡潔な日記と共に日々描き続けることを通じて、「この厄介で不可解な存在」(クラウケ)である「人間」を探求し始めたのである。

その後、クラウケはその創作活動をたんにドローイングに限定することなくさまざまな分野へと広げていくこととなる。特に、1977年や1987年に参加した「ドクメンタ」では彼の過激で挑発的なパフォーマンスは高く評価されている。また、何かを演じている自分自身を緻密な演出のもとで撮影し、そうして得られた複数の写真を連続的にあるいは左右対称に組み合わせ、会場空間と密接に結びつけて展示する一連の作品こそは、クラウケの芸術を語る際に欠かすことのできないものであろう。男性的なものや女性的なもの、自己と他者、優しさと暴力、笑いと緊張、グロテスクなものや洗練されたもの、現実的思考と突拍子もない空想、実在と幻影。そうした相反する二項が自分自身において揺れ動いていく状態をとらえた写真作品は、生と死の間で翻弄されながら生きる人間の姿を見事に浮き彫りにしているといえるのだし、その一方で、作品の中において、見せかけの現実を作り出す写真というメディアが、人間の実態を曖昧にし揺さぶっていく過程そのものをも見いだすことができるであろう。クラウケの写真作品には、今日の私たちが抱える人間の存在やアイデンティティに関する多くの問題が投げかけられているのである。

このたびの展覧会はクラウケとの協議のもと、約4年の歳月を費やして企画構成されたもので、代表的な写真作品をクラウケ自身の厳格な会場構成をもとに展示し、その創作を1970年代から回顧した。

(2) 会場構成



①初期作品 ②退屈のかたち ③プロセクリタス—安全のために— ④日曜日のノイローゼ

(3) 報告書

編集 平野到／平山都（埼玉県立近代美術館）・尾崎佐智子（滋賀県立近代美術館）

河野通孝（山口県立美術館）

発行 美術館連絡協議会、読売新聞社

内容 謝辞

あいさつ

「私」が消え去っていくとき 平野到（埼玉県立近代美術館）

像から幻像へ—ユルゲン・クラウケの主要な写真作品について—

クラウス・ホネフ（ラインラント州立美術館ボン写真コレクション・ディレクター）

図版 I 初期作品・1970年代

II 退屈のかたち

III プロセクリタス—安全のために—

IV 日曜日のノイローゼ

V パフォーマンス

ユルゲン・クラウケの〈日曜日のノイローゼ〉について 尾崎佐智子（佐賀県立近代美術館）

クラウケ！グロテスク！ファンタスティック—クラウケの両性具有イメージについて—

河野通孝（山口県立美術館）

略歴と文献

作品リスト

謝辞

●A4版変型 254ページ



(4) 出品作品

番号	作品名	制作年	技法・素材	所蔵
【初期作品・1970年代】				
1	顔貌	1972-73	8点組写真	作者蔵
2	セルフ・パフォーマンス	1972-73	13点組写真(エディション:50)	ゲッツ・コレクション美術館 (ミュンヘン)
3	永遠・微笑み	1973	9点組写真	ドイツ銀行(フランクフルト)
4	男性／女性	1974	13点組写真(エディション:3)	個人蔵(ケルン)
5	レッド	1974	7点組写真(エディション:3)	協力:ルドルフ・キッケン画廊(ケルン)
6	組み立てられた像	1974	5点組写真(エディション:3)	協力:ブケレルボン画廊(パリ)
7	顔貌	1974-75	4点組写真	ゲッツ・コレクション美術館 (ミュンヘン)
9	生きる悦び	1976	12点組写真	協力:ブグダーン&カイマー 画廊(デュッセルドルフ)
10	連発／結末	1976	4点組写真	協力:a k 画廊(フランクフルト)
11	社会学的神経症を反映した人面	1977	12点組写真	ミュンヘン市立レンパッハウス美術館
12	素晴らしい日だった。その日私は考えた…	1977	9点組写真	ゲッツ・コレクション美術館 (ミュンヘン)

13	あなたへ(フメーエヴァー・エアーズ)	1978	9点組写真	アンナ・フリーベ氏蔵(ケルン)
14	退屈のかたち “無風の静寂”	1980-81	13点組写真	Dr. ドーリス・ノイエ ブルク氏蔵(ケルン)
16	椅子のかたち “椅子のメランコリー I”	1980-81	17点組写真	ラインラント州立美術館(ボン)
17	退屈のかたち	1980-81	3点組写真	協力: プケナルボン画廊(パリ)
18	退屈のかたち	1980-81	4点組写真	作者蔵
19	退屈のかたち	1980-81	6点組写真	作者蔵
20	退屈のかたち	1980-81	4点組写真	協力: デイートマル・ヴェ アレ画廊(ケルン)
21	退屈のかたち	1980-81	5点組写真	ルートヴィヒ美術館(ケルン)
22	退屈のかたち “時を超えて”	1980-81	9点組写真	協力: ルドルフ・キッケン画廊(ケルン)
【プロセクリタスー安全のために】				
25	自己の発見	1988-91	2点組写真	ビーレフェルト美術館
26	ビッグ・スリープ	1990-91	3点組写真	埼玉県立近代美術館
27	大世界像 II	1991	3点組写真	協力: デイートマル・ヴェ アレ画廊(ケルン)
28	フィナーレ	1992-93	3点組写真	協力: バーネット・ミラー 画廊(ロスアンゼルス)
【日曜日のノイローゼ】				
29	ホーム・ゲーム	1990-92	8点組写真	作者蔵
30	幻影の戯れ	1990-92	5点組写真	作者蔵
31	経験の密度	1990-92	3点組写真	協力: a k 画廊(フランクフルト)
32	第三ウィーン派	1990-92	8点組写真	デュッセルドルフ美術館
35	垂直の思考	1990-92	6点組写真	作者蔵
36	内的な境遇	1990-92	5点組写真	ゲッツ・コレクション美術館 (ミュンヘン)
37	窮屈な視野	1990-92	9点組写真	個人蔵(フランクフルト)

高麗・李朝の仏教美術展

1997年(平成9)10月16日～11月16日

主催 山口県立美術館

会場 企画展示室 I、II

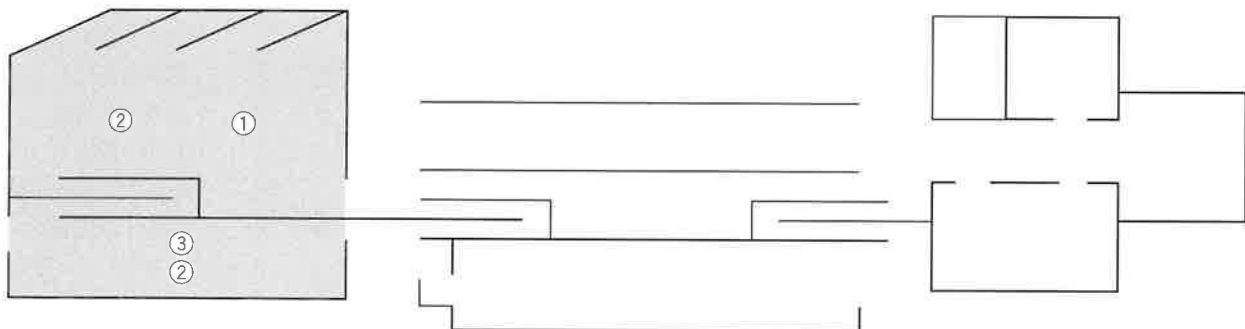


(1) 趣旨

山口県の中世美術文化は、大内氏による中国大陸・韓半島との交易によって発展してきた。韓半島との関係では、大内氏が朝鮮王朝（李朝）と国交を結ぶなど、密接な関係を持っていたことが知られる。山口県内には、高麗時代の6体の金銅仏が所在し、瀬戸内海沿岸地域の中では、もっとも多く高麗仏が存在している。本展は、このような山口県の地域的な特性に基づく企画で、西日本に多く散在している高麗時代から朝鮮王朝時代の仏画・仏像・朝鮮鐘を一堂に会し、日本に請来された朝鮮半島の仏教美術を紹介するものである。出品総点数64点で、高麗仏画18点、朝鮮仏画21点、高麗仏18点、朝鮮仏2点、高麗鐘5点になる。

本展では、未公表の高麗仏画に加えて、まとめて展覧される機会がなかった朝鮮仏画や高麗金銅仏を含めて、高麗・朝鮮王朝の仏教美術をまとまった形で紹介することが出来た。また、本展カタログでは、近年の研究や、各地の文化財調査の成果に基づき、高麗・朝鮮の仏画・仏像・鐘のリストと参考図版を作成し、出品作とあわせて高麗・朝鮮王朝の仏教美術の全体像を紹介することが出来た。

(2) 会場構成



①仏像 ②仏画 ③朝鮮鐘

(3) カタログ

編集 岩井共二・福島恒徳

内容

図版

絵画

仏像

朝鮮鐘

論文

多様ななかの統一 —高麗仏画の領分— 井手誠之輔

高麗朝鮮仏教美術伝来考 楠井隆志

高麗後期の如来・菩薩の服制について

—一僧祇支の形式を中心として— 岩井共二

参考図版

高麗仏画現存作品

高麗仏画所在不明作品

李朝仏画現存作品リスト

仏像（日本所在）

仏像（韓国所在）

朝鮮鐘

作品解説

参考文献目録

出品作品目録



(4) 出品作品

番号	作品名	品質	法量 (cm)	時代	所蔵
【仏画】					
1	阿弥陀如来像	絹本着色	162.5×91.7	高麗	根津美術館
2	阿弥陀如来像	絹本着色	110.8×50.4	高麗	香川・萩原寺
3	阿弥陀八大菩薩像	絹本着色	155.4×87.2	高麗	佐賀・広福護国禪寺
4	阿弥陀八大菩薩像	絹本着色	161.7×92.9	高麗	大阪・大念仏寺
5	阿弥陀八大菩薩像	絹本着色	222.5×166.8	高麗	根津美術館
6	水月観音菩薩像	絹本着色	147.1×86.2	高麗	山口・功山寺
7	水月観音菩薩像	絹本着色	101.0×56.0	高麗	愛知・養寿寺
8	水月観音菩薩像	絹本着色	91.5×43.5	高麗	個人
9	水月観音菩薩像	絹本着色	110.1×59.2	高麗	静嘉堂文庫美術館
10	水月観音菩薩像	絹本着色	100.4×49.6	高麗	大和文華館
11	地藏十王像	絹本着色	116.4×58.9	高麗	岡山・日光寺
12	地藏十王像	絹本着色	143.5×55.9	高麗	静嘉堂文庫美術館
13	地藏菩薩像	絹本着色	143.4×78.2	高麗	愛知・養寿寺
14	地藏菩薩像	絹本着色	107.6×45.3	高麗	根津美術館
15	地藏菩薩像	絹本着色	111.0×43.5	高麗	福岡・善導寺
16	如来三尊像	絹本着色	150.0×98.7	高麗	福井・寶慶寺
17	摩利支天像	絹本着色	116.6×52.8	高麗	静嘉堂文庫美術館
18	万五千仏図	絹本着色	175.7×87.6	高麗	広島・不動院
19	阿弥陀三尊像	麻布着色	中28.0×20.0 左右各27.0×10.0	李朝	個人
20	阿弥陀三尊像	麻布着色	64.8×42.2	李朝	東京国立博物館
21	阿弥陀如来像	麻布着色	120.3×81.8	李朝	岡山・地藏院
22	阿弥陀八大菩薩像	絹本着色	155.5×145.5	李朝	福井・善妙寺
23	安楽国太子経変相図	絹本着色	105.8×56.8	李朝	高知・青山文庫
24	五仏尊像	絹本着色	159.1×108.2	李朝	兵庫・十輪寺
25	三蔵菩薩像	麻布着色	136.0×162.6	李朝	岡山・宝島寺

26	施餓鬼図	麻布着色	129.0×113.6	李朝	兵庫・光明寺
27	釈迦三尊像	絹本着色	169.8×57.3	李朝	佐賀・広福護国禪寺
28	釈迦誕生図	絹本着色	145.0×109.5	李朝	福岡・本岳寺
29	釈迦八菩薩像	麻布着色	325.2×245.5	李朝	大阪・四天王寺
30	水月観音菩薩像	絹本着色	83.5×53.6	李朝	香川・屋島寺
31	水月観音菩薩像	麻布着色	55.7×38.0	李朝	東京国立博物館
32	千手観音菩薩像	絹本着色	82.9×59.6	李朝	広島・持光寺
33	善財童子歴参図	絹本墨画淡彩	105.8×59.0	李朝	佐賀・広福護国禪寺
34	地藏十王像	絹本着色	95.2×85.4	李朝	広島・光明寺
35	地藏十王像	麻布着色	198.9×175.6	李朝	山口・国分寺
36	地藏八菩薩像	絹本着色	123.3×109.9	李朝	根津美術館
37	帝釈天像	麻布着色	122.9×122.9	李朝	岡山・西大寺
38	仏伝図	絹本着色	75.5×42.2	李朝	大阪市美術館
39	薬師三尊像	絹本着色	53.4×33.2	李朝	広島・宝珠院

【仏画】

40	金銅毘盧舎那仏立像	像高52.8	高麗	東京国立博物館
41	銅造如来立像	像高24.5	高麗	浜松市美術館
42	石造如来坐像	総高23.1像高22.3	高麗	大和文華館
43	金銅毘盧舎那仏坐像	像高51.6	高麗	山口・国分寺
44	銅造如来坐像	像高42.7	高麗	熊本・大覚寺
45	銅造如来坐像	像高69.5	高麗	福岡・聖種寺
46	金銅菩薩坐像	像高65.8	高麗	佐賀・普明寺
47	銅造菩薩坐像	像高16.1	高麗	長崎・宝泉寺
48	金銅地藏菩薩像	総高49.3像高26.4	高麗	個人
49	銅造菩薩坐像	像高38.5	高麗	福岡・安昌院
50	金銅菩薩坐像	像高74.0	高麗	長崎・金谷寺
51	銅造菩薩坐像	像高74.4	高麗	個人
52	金銅菩薩立像	像高51.6	高麗	山口・満願寺
53	金銅誕生仏	総高19.8	高麗	浜松市美術館
54	金銅誕生仏	総高25.3像高18.2	高麗	山口・国分寺
55	金銅誕生仏	総高14.3像高11.1	高麗	福岡・勝福寺
56	銅造誕生仏	像高14.8	高麗	山口県立山口博物館
57	金銅誕生仏	像高9.9	高麗	佐賀・萬歳寺
58	木造如来坐像	像高36.0	李朝	長崎・西山寺
59	木造女神立像	像高52.5	李朝	長崎・西山寺

【朝鮮鐘】

60	銅鐘	総高100.9口径53.0	高麗	甘木歴史資料館
61	銅鐘	総高76.0口径44.6	高麗	福岡・承天寺
62	銅鐘	総高69.0口径43.0	高麗	山口・賀茂神社
63	銅鐘	総高50.7口径34.2	高麗	東京国立博物館
64	銅鐘	総高52.8口径30.5	高麗	福岡・志賀海神社

安宅コレクションの至宝

1998(平成10)年4月7日～5月10日

主催 大阪市立東洋陶磁美術館、朝日新聞社、山口県立美術館、
山口朝日放送

後援 文化庁、広島ホームテレビ、九州朝日放送

会場 企画展示室Ⅰ、Ⅱ
常設展示室Ⅱ

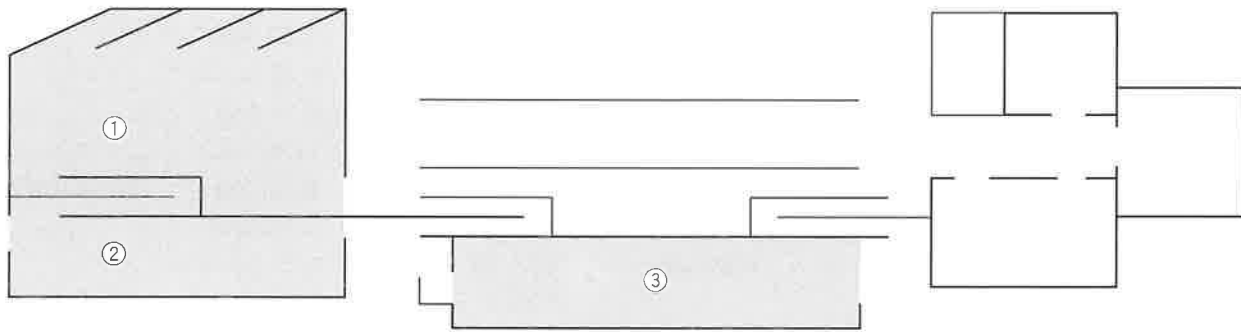


(1) 趣旨

安宅コレクションは、旧安宅産業が収集し、住友グループ21社によって大阪市に寄贈され、それを期に設立された大阪市立東洋陶磁美術館の中核をなす約1000点の中国・朝鮮陶磁の作品群である。今回の展覧会はその東洋陶磁美術館が、1999年の公開をめざして増改築にはいるために、一時休館するところから実現したものである。出品作品は122点、その中には国宝2点、重要文化財6点、重要美術品4点が含まれ、まさにコレクションのエッセンスともいべき内容となっている。安宅コレクションは、旧安宅産業が収集したコレクションであるが、その中心には、安宅英一というたぐいまれなコレクターがいた。その収集は、第2次大戦の復興のさなかにおきた朝鮮戦争による特需景気を背景に1951年から開始され、安宅産業がカナダの石油精製に絡む損失をきっかけとして信用不安と経営危機におちいった1976年に終結している。この間約25年の内に、中国・朝鮮陶磁をはじめ様々な美術品が収集されたが、最終的に陶磁器だけが大阪市に寄贈され、まとまった形で公開されることになったのである。その内訳は中国陶磁144件、朝鮮陶磁793件、ヴェトナム陶磁5件、日本陶磁2件、中国工芸5件、朝鮮工芸10件、日本工芸およびその他の資料6件である。このうち中国陶磁と朝鮮陶磁の内容を見よう。中国陶磁は後漢2件、六朝1件、唐23件、五代3件、宋47件、元18件、明50件である。ここには国宝2点、重要文化財5点、重要美術品1点が含まれている。陶磁部門の国宝は全部で14点であり、複数所有はここだけである。このことだけを見ても安宅コレクションの質の高さはじゅうぶんに理解できる。さらに興味深いのは、いわゆる土器系統の作品と、清朝の作品が全くないことである。朝鮮陶磁は統一新羅4件、高麗304件、李朝485件となっている。こちらでも土器系統の作品がほとんどないことは中国陶磁と共通する。そしてより注目されるのは、青磁を中心とする高麗陶磁の割合が大きいことである。これは中国陶磁において宋代の陶磁の割合が大きいことと対応していると思われる。

美術コレクションはまずコレクター個人の好み、芸術的センスを反映する。その意味では土器系統の不在、宋朝陶磁や高麗青磁の比率の高さ、さらに李朝陶磁に対する傾倒などがその傾向を示していると思われる。しかしさらにいえば、コレクションはその時代をも反映する。その意味では安宅コレクションは昭和後期という時代を見事に反映したコレクションともいえるだろう。たぐいまれな芸術的センスがひとつの時代の中で切りむすんだあかしがここには輝いているのである。

(2) 会場構成



①中国陶磁 ②朝鮮陶磁（高麗） ③朝鮮陶磁（李朝）

(3) カタログ

編集 大阪市立東洋陶磁美術館、朝日新聞社

発行 朝日新聞社

内容

ごあいさつ

安宅コレクションの東洋陶磁 伊藤郁太郎

図版・作品解説

朝鮮陶磁の美へのめざめ 弓場紀知

中国陶磁の視点 出川哲朗

安宅コレクションの朝鮮陶磁 肥塚良三

用語解説

出品目録

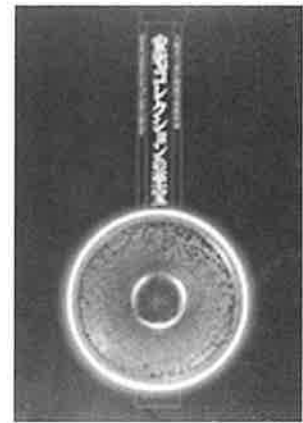
安宅コレクション展覧会歴

参考文献

東アジア年表

東アジア窯址 分布図

●A 4版 176ページ



(4) 出品作品

番号	作品名	制作窯	制作年	寸法(cm)	備考
【中国陶磁】					
1	緑釉壺		後漢時代・2～3世紀	h. 42.0cm	
2	加彩宮女俑		唐時代・7～8世紀	h. 37.7cm	
3	三彩貼花宝相華文壺		唐時代・7～8世紀	h. 30.9cm	重要美術品
4	三彩獅子		唐時代・8世紀	h. 21.8cm	
5	青磁天鷄壺		南北朝時代・6世紀	h. 48.0cm	
6	青磁六耳壺	越州窯	五代時代・10世紀	h. 34.0cm	
7	黒釉刻花牡丹文梅瓶	磁州窯系	北宋時代・11～12世紀	h. 31.6cm	
8	白釉黒花風花雪月字梅瓶	磁州窯系	金時代・12世紀	h. 37.9cm	
9	白磁刻花蓮花文洗	定窯	北宋時代・11世紀	d. 24.5cm	重要文化財
10	白磁鏤花牡丹唐草文瓶	定窯	北宋時代・11～12世紀	h. 17.3cm	重要文化財
11	青磁陰刻草花文多嘴壺	龍泉窯	北宋時代・11世紀	h. 29.7cm	
12	青磁長頸瓶銘「鏗」	龍泉窯	南宋時代・12～13世紀	h. 22.7cm	
13	青磁水仙盆	汝官窯	北宋時代・11～12世紀	w. 220×15.5cm	
14	青磁八角瓶	官窯	南宋時代・12世紀	h. 21.0cm	
15	飛青磁花生	龍泉窯	元時代・13～14世紀	h. 27.4cm	国宝
16	油滴天目茶碗	建窯	南宋時代・12～13世紀	d. 12.2cm	国宝
17	青花牡丹唐草文梅瓶	景德鎮窯	元時代・14世紀	h. 38.1cm	
18	青花蓮池魚藻文壺	景德鎮窯	元時代・14世紀	h. 28.2cm	重要文化財
19	青花菊牡丹文盤	景德鎮窯	元時代・14世紀	d. 44.2cm	

20	青花宝相華唐草文盤	景德鎮窯	元時代・14世紀	d. 45.3cm	
21	釉裏紅牡丹文盤	景德鎮窯	明時代・洪武 (1368~1398)	d. 45.5cm	
22	青花花鳥文盤	景德鎮窯	明時代・永樂 (1403~1424)	d. 50.5cm	
23	青花龍波濤文扁壺	景德鎮窯	明時代・永樂 (1403~1424)	h. 45.0cm	
24	青花內府銘梅瓶	景德鎮窯	明時代・永樂 (1403~1424)	h. 34.0cm	
25	青花宝相華唐草文壺 (「大明宣德年製」銘)	景德鎮窯	明時代・宣德 (1426~1435)	h. 35.8cm	
26	瑠璃地白花牡丹文盤 (「大明宣德年製」銘)	景德鎮窯	明時代・宣德 (1426~1435)	d. 38.7cm	重要文化財
27	青花雙鳳文盤 (「大明成化年製」銘)	景德鎮窯	明時代・成化 (1465~1487)	d. 18.6cm	
28	青花瓜文碗 (「大明成化年製」銘)	景德鎮窯	明時代・成化 (1465~1487)	d. 15.5cm	
29	法花花鳥文壺		明時代・15世紀	h. 44.5cm	重要文化財
30	黃地青花折枝花卉文盤 (「大明正德年製」銘)	景德鎮窯	明時代・正德 (1506~1521)	d. 29.3cm	
31	黃地青花紅彩牡丹唐草文瓢形瓶 (「大明嘉靖年製」銘)	景德鎮窯	明時代・嘉靖 (1522~1566)	h. 21.5cm	
32	綠地紅彩宝相華唐草文瓢形瓶 (「大明嘉靖年製」銘)	景德鎮窯	明時代・嘉靖 (1522~1566)	h. 22.1cm	
33	黃地紅彩龍文壺 (「大明嘉靖年製」銘)	景德鎮窯	明時代・嘉靖 (1522~1566)	h. 27.0cm	
34	五彩牡丹文盤 (「大明萬曆年製」銘)	景德鎮窯	明時代・萬曆 (1573~1620)	d. 38.5cm	
35	五彩松下高士圖面盆 (「大明萬曆年製」銘)	景德鎮窯	明時代・萬曆 (1573~1620)	d. 36.8cm	
36	五彩金欄手瓢形瓶	景德鎮窯	明時代・16世紀	h. 38.5cm	

【朝鮮陶磁・高麗】

37	青磁瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 20.4cm	
38	青磁砧形瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 21.6cm	
39	青磁瓜形瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 25.7cm	
40	青磁陰刻雲文瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 27.3cm	
41	青磁印花饗餐文鼎形香炉		高麗時代・12世紀前半	h. 17.0cm	
42	青磁彫刻鴛鴦蓋香炉		高麗時代・12世紀前半	h. 23.7cm	
43	青磁彫刻童女形水滴		高麗時代・12世紀前半	h. 11.1cm	重要美術品
44	青磁彫刻童子形水滴		高麗時代・12世紀前半	h. 11.0cm	
45	青磁陽刻牡丹蓮花文鶴首瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 36.7cm	
46	青磁陰刻蒲柳水禽文淨瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 33.1cm	
47	青磁陽刻筍形水注		高麗時代・12世紀前半	h. 22.5cm	
48	青磁陽刻蓮花文梅瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 32.1cm	
49	青磁象嵌菊牡丹文鶴首瓶		高麗時代・12世紀中葉	h. 33.3cm	
50	青磁象嵌菊牡丹文鶴首瓶		高麗時代・12世紀後半	h. 35.5cm	
51	青磁象嵌竹鶴文梅瓶		高麗時代・12世紀後半	h. 29.2cm	
52	青磁象嵌唐子宝相華文水注		高麗時代・12世紀中葉	h. 19.0cm	重要文化財
53	青磁象嵌草花文三耳壺		高麗時代・12世紀中葉	h. 9.6cm	
54	青磁象嵌菊唐草文金		高麗時代・12世紀後半	h. 14.3cm	
55	青磁象嵌雲鶴牡丹文盒		高麗時代・12世紀中葉	h. 16.2cm	
56	青磁象嵌雙鳳文万盒		高麗時代・13世紀前半	w. 22.0cm	重要美術品
57	青磁象嵌辰砂彩牡丹文壺		高麗時代・13世紀前半	h. 19.5cm	
58	青磁象嵌辰砂彩牡丹文鶴首瓶		高麗時代・13世紀前半	h. 34.5cm	
59	青磁鉄繪牡丹唐草文梅瓶		高麗時代・11~12世紀	h. 28.2cm	
60	青磁鉄繪牡丹文壺		高麗時代・11~12世紀	h. 22.7cm	
61	青磁鉄地象嵌草花文梅瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 28.4cm	
62	青磁鉄地象嵌草花文梅瓶		高麗時代・12世紀前半	h. 26.0cm	
63	青磁白地陰刻草花文水注		高麗時代・12世紀前半	h. 18.2cm	重要美術品
64	白磁瓜形水注・承盤		高麗時代・12世紀前半	h. 21.9cm	
65	青磁象嵌牡丹文碗		高麗時代・12世紀	d. 10.9cm	
66	青磁陽刻菊花文碗		高麗時代・12世紀	d. 11.7cm	
67	青磁練上碗		高麗時代・12世紀中葉	d. 14.0cm	

【朝鮮陶磁・李朝】

68	粉青沙器印花菊花文三耳壺 (「長興庫」銘)		李朝時代・15世紀前半	h. 17.1cm	
----	-----------------------	--	-------------	-----------	--

69	粉青沙器印花菊花文四耳壺 (「長輿執用」銘)	李朝時代・15世紀前半	h. 28.5cm
70	粉青沙器印花菊花文壺	李朝時代・15世紀前半	h. 37.6cm
71	粉青沙器白地象嵌條線文簋	李朝時代・15世紀中葉	h. 16.2cm
72	粉青沙器面象嵌牡丹文瓶	李朝時代・15世紀前半	h. 27.0cm
73	粉青沙器面象嵌草花文瓶	李朝時代・15世紀後半	h. 29.6cm
74	粉青沙器面象嵌牡丹唐草文盒	李朝時代・15世紀前半	h. 16.8cm
75	粉青沙器面象嵌牡丹文扁壺	李朝時代・15世紀前半	h. 22.6cm
76	粉青沙器面象嵌牡丹文倭壺	李朝時代・15世紀中葉	h. 15.6cm
77	粉青沙器白地線刻柳文長壺	李朝時代・15世紀後半~16世紀初	h. 43.8cm
78	粉青沙器白地線刻蓮花文扁壺	李朝時代・15世紀後半~16世紀初	h. 15.0cm
79	粉青沙器白地搔落草花文扁壺	李朝時代・15世紀後半	h. 22.5cm
80	粉青沙器白地搔落牡丹文長壺	李朝時代・15世紀後半	h. 33.5cm
81	粉青沙器白地搔落鉄彩龍文梅瓶	李朝時代・15世紀前半	h. 26.4cm
82	粉青沙器白地搔落鉄彩牡丹文瓶	李朝時代・15世紀前半	h. 34.2cm
83	粉青沙器白地刷毛目長壺	李朝時代・15世紀後半~16世紀	h. 44.8cm
84	粉青沙器白地鉄繪蔓草文瓶	李朝時代・15世紀後半~16世紀	h. 29.0cm
85	粉青沙器粉引鉄繪草花文瓶	李朝時代・16世紀	h. 20.8cm
86	粉青沙器粉引瓶	李朝時代・16世紀	h. 18.1cm
87	粉青沙器粉引簋	李朝時代・16世紀	h. 13.6cm
88	白磁壺	李朝時代・16世紀	h. 23.0cm
89	白磁透彫蓮花文盆台	李朝時代・16~17世紀	h. 39.5cm
90	白磁簋	李朝時代・16世紀	h. 20.0cm
91	白磁面取壺	李朝時代・18世紀前半	h. 21.9cm
92	白磁扁壺	李朝時代・16世紀	h. 25.7cm
93	白磁角瓶	李朝時代・17~18世紀	h. 21.3cm
94	白磁印花四君子文角瓶	李朝時代・18世紀後半	h. 20.4cm
95	青花梅竹文壺	李朝時代・15世紀後半	h. 35.0cm
96	青花草花文面取瓶	李朝時代・18世紀前半	h. 24.0cm
97	青花窓繪草花文面取壺	李朝時代・18世紀前半	h. 23.0cm
98	花窓繪梅花文壺	李朝時代・18世紀前半	h. 29.4cm
99	青花窓繪梅花文壺	李朝時代・18世紀前半	h. 31.5cm
100	青花窓繪石榴文面取瓶	李朝時代・18世紀前半	h. 38.4cm
101	青花虎鵲文壺	李朝時代・18世紀後半	h. 44.1cm
102	青花樓閣山水文角瓶	李朝時代・18世紀後半	h. 22.9cm
103	青花樓閣山水文双耳扁壺	李朝時代・18世紀後半	h. 30.0cm
104	鉄砂竹文壺	李朝時代・17世紀中葉	h. 28.1cm
105	鉄砂虎鷲文壺	李朝時代・17世紀後半	h. 30.1cm
106	鉄砂草花文壺	李朝時代・17世紀後半	h. 22.4cm
107	鉄砂風竹文壺	李朝時代・17世紀後半	h. 22.6cm
108	鉄砂草花文壺	李朝時代・17世紀後半	h. 27.3cm
109	辰砂蓮花文壺	李朝時代・18世紀前半	h. 27.9cm
110	辰砂松鶴文壺	李朝時代・18世紀前半	h. 24.8cm
111	青花辰砂薔薇唐草文壺	李朝時代・18世紀後半	h. 27.1cm
112	青花辰砂宝相華文面取瓶	李朝時代・19世紀前半	h. 20.5cm
113	青花辰砂壽福字瓢形瓶	李朝時代・19世紀前半	h. 20.0cm
114	黒釉扁壺	李朝時代・15世紀	h. 17.0cm
115	飴釉角瓶	李朝時代・17~18世紀	h. 26.6cm
116	青花透彫蓮唐草文筆筒	李朝時代・19世紀前半	h. 14.2cm
117	青花梅竹文面取紙筒	李朝時代・18世紀前半	h. 16.8cm
118	青花辰砂海駝形水滴	李朝時代・19世紀前半	h. 13.2cm
119	青花辰砂栗鼠飾方形水滴	李朝時代・19世紀前半	h. 10.6cm
120	青花詩銘入方形水滴 (「詞源倒流」銘)	李朝時代・18世紀	h. 6.1cm
121	白磁透彫蓮花文半球形水滴	李朝時代・18~19世紀	h. 9.0cm

(5) 展評など

新聞（報道記事を除く）

展評

安宅コレクションの至宝展／朝日新聞（西部）／榎本徹／1998.4.10（夕）
シリーズ

安宅コレクションの至宝展 1 油滴天目茶碗(4.14) 2 飛青磁花生(4.15) 3 青花蓮池魚藻文壺(4.17) 4 青磁象嵌竹鶴文梅瓶(4.18) 5 青花窓絵草花文面取壺(4.19)朝日新聞(山口)／榎本徹

香月泰男—シベリア・シリーズと画稿

1997(平成9)年12月16日～1998(平成10)年2月15日

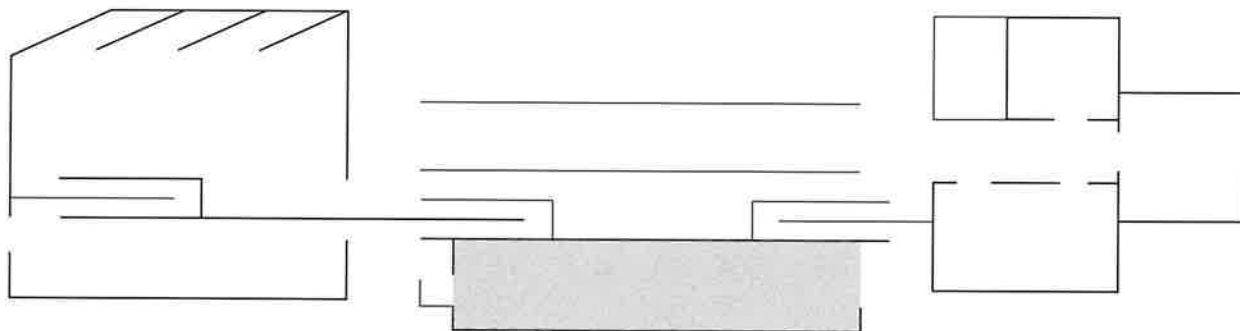
主催 山口県立美術館

会場 常設展示室Ⅱ

(1) 趣旨

当館がシベリア・シリーズの画稿調査に手をつけてすでに10余年がたつ。調査はまだシリーズ全点にまでおよび得ておらず、その全体像を得るまでにはこれからはかなりの時間を要しそうだが、現時点においてもある程度のデータの集積をみており、このたびの「シベリア・シリーズと画稿」展は、そうした成果の一端を中間報告的に紹介したものである。1点のシリーズ作品が着想からどのような生成のプロセスをたどって完成にまでいったか、これをいくつかの作例を通して紹介した。

(2) 会場構成



(3) カタログ 作成せず

(4) 出品作品

※リスト項目中のIDは「山口県立美術館研究紀要」第1号掲載のリストを指す。

番号	作品	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵	ID
1	雨〈牛〉	1947.10	油彩・画布	72.9×116.1	山口県立美術館	
2	関連素描1	1944.8頃	水彩・ペン・葉書	14.0×9.0	個人	紀要・図048
3	関連素描2	1944.9頃	水彩・鉛筆・葉書	14.0×9.0	個人	紀要・図049
4	関連素描3	1943.11頃	水彩・鉛筆・葉書	14.0×9.0	個人	紀要・参考1
5	埋葬	1948.8	油彩・画布	72.2×117.1	山口県立美術館	
6	関連素描1	1947～48	鉛筆・水彩・紙	19.0×26.3	個人	紀要・図059
7	関連素描3	1947～48	ペン・紙	13.0×20.5	個人	紀要・図060
8	関連素描4	1948.4.8	クレヨン・鉛筆・紙	18.4×30.9	個人	紀要・図057
9	飯ごうの図	不詳	ペン・鉛筆(?)・紙	27.2×39.5	個人	
10	1945	1959	油彩・画布	72.8×116.7	山口県立美術館	
11	関連素描1	1955～59か	ペン・鉛筆・紙	27.2×39.5	個人	新出
12	関連素描2	1955～59か	ペン・紙	27.2×39.5	個人	紀要・図096
13	関連素描3	1955～59か	ペン・紙	18.0×22.7	個人	紀要・図098
14	涅槃	1960	油彩・画布	130.3×194.3	山口県立美術館寄託	
15	関連素描1	1959頃か	鉛筆・ペン・紙	27.2×39.5	個人	紀要・図146
16	関連素描2	1959頃か	鉛筆・ペン・紙	12.0×19.6	個人	紀要・図147
17	関連素描3	1959頃か	ペン・紙	19.7×13.5	個人	新出

18	運ぶ人	1960	油彩・画布	72.8×116.7	山口県立美術館	
19	関連素描 1	1959頃か	ペン・紙	13.6×19.6	個人	新出
20	関連素描 2	1959頃か	ペン・紙	13.6×19.6	個人	新出
21	関連素描 3	1959頃か	墨・紙(サイン:ペン)	10.0×15.4	個人	紀要・図122
22	穴掘人	1960	油彩・画布	72.8×116.7	山口県立美術館	
23	関連素描 1	1959頃か	ペン・紙(タバコの箱)	13.9×7.0	個人	紀要・図113
24	関連素描 2	1959頃か	ペン・紙(タバコの箱)	13.9×7.0	個人	紀要・図114
25	避難民	1960	油彩・画布	72.8×116.7	山口県立美術館	
26	関連素描 1	1959頃か	ペン・鉛筆・紙	7.9×15.4	個人	紀要・図108
27	関連素描 2	1959頃か	鉛筆・紙(サイン:ペン)	13.7×19.6	個人	紀要・図107
28	関連素描 3	1959頃か	鉛筆・紙	16.0×10.9	個人	紀要・図109
29	関連素描 4	1959頃か	ペン・水彩・紙	15.3×25.1	個人	紀要・図110
30	ナホトカ	1961	油彩・画布	116.7×72.8	山口県立美術館	
31	関連素描	1960~61	ペン・鉛筆・紙(貼込)	14.5×9.0	個人	紀要・図186
32	アムール	1962	油彩・画布	162.1×112.0	山口県立美術館	
33	関連素描 1	1961~62	ペン・紙	13.7×9.3	個人	紀要・図189
34	関連素描 2	1961~62	ペン・紙	13.5×9.6	個人	紀要・図191
35	関連素描 3	1961~62	ペン・紙	13.5×9.7	個人	紀要・図190
36	雪	1963	油彩・画布	115.5×162.0	山口県立美術館	
37	関連素描 1	1962~63か	クレヨン・鉛筆・水彩・紙	16.5×24.5	個人	紀要・図196
38	関連素描 2	1962~63か	クレヨン・鉛筆・水彩・紙	11.7×16.8	個人	紀要・図198
39	関連素描 3	1962~63か	クレヨン・鉛筆・紙	18.5×27.5	個人	紀要・図197
40	餓	1864	油彩・画布	162.7×112.3	山口県立美術館	
41	関連素描 1	1864より前	鉛筆・紙	13.5×19.4	個人	紀要・図206
42	関連素描 2	1864より前	鉛筆・紙	19.8×13.6	個人	紀要・図205
43	関連素描 3	1864より前	鉛筆・ペン・紙	19.7×13.6	個人	紀要・図204
44	海〈ペーチカ〉冬	1966	油彩・画布	111.9×161.9	山口県立美術館	
45	関連素描 1	1966より前	ペン・紙	26.0×17.5	個人	紀要・図232
46	関連素描 2	1966より前	ペン・紙	26.0×17.5	個人	紀要・図233
48	関連素描 3	1966より前	ペン・水彩・紙	27.6×20.1	個人	紀要・図234
49	関連素描 4	1966より前	ペン・紙	12.0×18.1	個人	紀要・図235
50	星〈有刺鉄線〉夏	1966	油彩・画布	162.0×91.0	山口県立美術館	
51	関連素描 1	1966より前	ペン・紙	14.4×9.5	個人	紀要・図228
52	関連素描 2	1966より前	ペン・紙	26.0×17.5	個人	紀要・図226
53	復員〈タラップ〉	1967	油彩・画布	162.1×111.6	山口県立美術館	
54	関連素描 1	1961頃	ペン・紙	26.0×17.0	個人	紀要・図256
55	関連素描 2	1961~67頃	ペン・紙(タバコの箱)	12.5×7.0	個人	紀要・図258
56	関連素描 3	1961	版・墨・紙	27.2×39.5	個人	紀要・図250・251
57	関連素描 4	1961~67頃	ペン・紙	13.6×19.6	個人	新出
58	関連素描 5	1961~67頃	ペン・紙	26.0×17.5	個人	紀要・図257
59	関連素描 7		ペン・紙	13.6×9.7	個人	紀要・図259
60	雲	1968	油彩・画布	116.1×72.9	山口県立美術館	
61	関連素描	1968より前か	ペン・紙(封筒)	19.9×13.6	個人	新出
62	護	1969	油彩・画布	72.9×116.1	山口県立美術館	
63	関連 1	1943か	写真・皮	7.0×8.0	個人	紀要・参考16
64	関連素描 2	1969より前	クレヨン・油彩・紙	32.0×47.0	個人	紀要・図270
65	青の太陽	1969	油彩・画布	162.1×111.6	山口県立美術館	
66	関連素描 1	1969より前	クレヨン・鉛筆・紙	27.3×19.8	個人	紀要・図273
67	関連素描 2	1969より前	クレヨン・鉛筆・紙	25.6×18.0	個人	紀要・図274
68	朕	1970	油彩・画布	162.1×116.1	山口県立美術館	
69	関連素描 1	1970より前	ペン・紙	26.0×17.5	個人	紀要・図287
70	関連素描 2	1970より前	ペン・紙	26.0×17.5	個人	紀要・図286
71	業火	1970	油彩・画布	162.0×96.0	山口県立美術館	

72	関連素描 1	1970より前か	ペン・油彩・紙	24.5×16.8	個人	紀要・図281
73	関連素描 2	1970より前か	ペン・油彩・紙	20.6×14.7	個人	紀要・図282
74	奉天(右・左)	1970	各72.9×116.1	油彩・画布	山口県立美術館	
75	関連素描	1970より前か	ペン・紙	9.8×19.6	個人	新出
76	道	1972	油彩・画布	72.8×116.7	山口県立美術館	
77	関連素描 1	1971~72	鉛筆・紙	11.8×9.1	個人	紀要・図301
78	関連素描 2	1971~72	クレヨン・紙	12.8×19.3	個人	紀要・図302
79	関連素描 3	1971~72	クレヨン・厚紙	43.0×51.5	個人	新出
80	デモ	1973	油彩・画布	97.0×193.0	山口県立美術館	
81	関連素描	1973より前	クレヨン・ペン・紙(貼込)	10.8×6.9	個人	紀要・図312

■原稿

82	「天上で想う戦争」	不詳	原稿用紙		個人	
83	「群」	1973頃	原稿用紙		個人	
84	「デモ」	1973頃	原稿用紙		個人	
85	「渚」	1974頃	原稿用紙		個人	
86	「日の出・月の出」	1974頃	原稿用紙		個人	
87	「月の出・日の出」	1974頃	原稿用紙		個人	
88	「私の美学-美神の破片」	1952年	罫紙		個人	

■個展関係資料

89	個展メモ 1					
90	出品メモ 2					
91	出品メモ 3					

■収容所スケッチ

92	収容所 1	不詳	ペン・水彩・紙	19.9×27.1	個人	紀要・図357
93	収容所 2	不詳	ペン・水彩・紙	19.5×26.8	個人	紀要・図358

■肖像スケッチ

94	肖像 1	不詳	ペン・墨・紙	27.4×20.0	個人	紀要・図337
95	肖像 2	不詳	クレヨン・墨・紙	25.1×18.7	個人	紀要・図338

■シベリヤ画集(新潮社1971年)関係資料

96	表紙原稿	1971頃	ペン・油彩・紙		個人	紀要・図383
97	表紙原稿	1971頃	ペン・油彩・紙		個人	紀要・図385

■画集シベリヤ(九龍堂1967年)関係資料

98	画集刊行記念展(銀座・松屋1967年)	1967頃	クレヨン・紙	27.0×33.8	個人	新出
99	ハイラル周辺スケッチ草稿		ペン・紙(国鉄広報部封筒裏)	30.3×37.5	個人	新出
100	セーヤ収容所スケッチ草稿		鉛筆・紙	13.8×19.2	個人	紀要・図061
101	セーヤ収容所周辺地図		鉛筆・紙	27.2×17.4	個人	紀要・図369
102	チェルノゴルスク周辺地図		鉛筆・紙	18.0×27.2	個人	紀要・図374
103	チェルノゴルスク周辺地図		鉛筆・紙	27.2×39.5	個人	紀要・図373
104	シベリヤ移動地図スケッチ草稿		鉛筆・紙	39.4×54.2	個人	
105	シベリヤ移動地図スケッチ草稿		ペン・紙	27.2×39.5	個人	紀要・図381

ピサロ展 印象派の巨匠とピサロ家の画家たち

1998(平成10)年 8月1日～8月30日

主催 山口県立美術館、読売新聞西部本社、K R Y山口放送、
美術館連絡協議会

後援 外務省、フランス大使館、ベネズエラ大使館

会場 企画展示室Ⅰ、Ⅱ
常設展示室Ⅱ



PISSARRO

ピサロ展

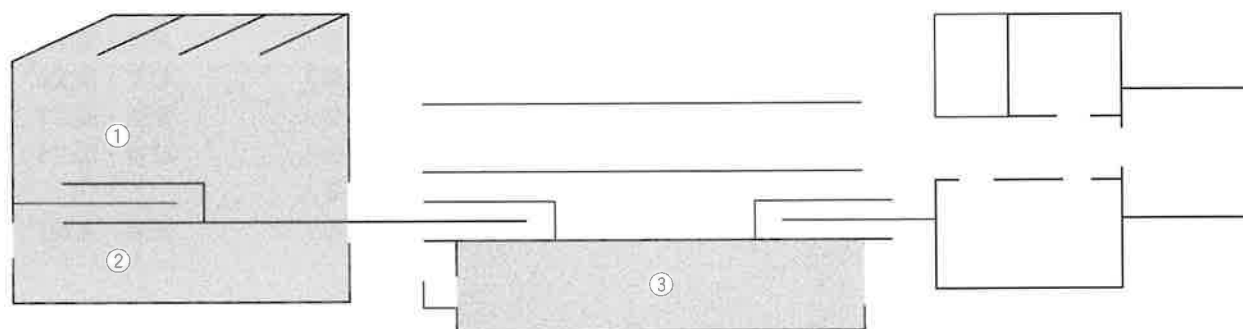


(1) 趣旨

カミーユ・ピサロ（1830－1903）は印象派グループの中心的な画家の一人である。8回におよぶ印象派展すべてに参加した唯一の画家であり、また年齢が他の画家よりも上だったために、グループの指導的役割も担っていた。彼はゴーギャンやセザンヌなど多くの同時代の画家たちに慕われ、機会があるたびに教を請われていた。また、ピサロの5人の息子たちも彼の影響を受け、全員画家への道を進んでいる。以降、ピサロ家は、カミーユから数えて4世代にわたり画家を排出する家系となった。

今回の展覧会では、初期から晩年にいたるピサロ芸術を紹介するとともに、長男ルシアンをはじめとする3世代8人のピサロ家の画家たちの作品をあわせて展示した。このことによって、息子たちに自分の信念を伝えることができたピサロの父親像も浮き彫りにされ、観覧者の多くの共感をえたようである。ヨーロッパ各国、アメリカ、ベネズエラ、ロシア、イスラエル及び日本各地などおよそ50カ所から集めた作品の数々は、日本であまり紹介されていないものも多く、ピサロ芸術を知るうえで貴重な機会となった。

(2) 会場構成



①②ピサロ作品 ③ピサロ家の画家たちの作品

(3) カタログ

編集 読売新聞社、アプトインターナショナル

内容

ごあいさつ

ピサロ芸術の二面性：田園と都会、印象主義とアナーキズム 千足伸行

教師としてのカミーユ・ピサロ リチャード・R. ブレット

カタログ

関連地図

カミーユ・ピサロ年表

ピサロ邦文文献

作品リスト

● A 4 版 2 分冊（本文編144ページ、図版編248ページ）



(4) 出品作品

番号	作品	作家	制作年	素材・形状	寸法(cm)	所蔵
【カミーユ・ピサロ】						
1	クレオールの子	カミーユ・ピサロ	1854	油彩・カンヴァス	24×21	個人蔵
2	田舎家と椰子の木のある熱帯地方の風景	カミーユ・ピサロ	1856	油彩・カードボード	24.8×32.7	ベネズエラ国立ナショナルアートギャラリー蔵
3	カラカスの中心広場	カミーユ・ピサロ	1862	油彩・カンヴァス	40.5×32.5	ベネズエラ大統領官邸 “ラ・カソーナ” 蔵
4	セント・トマス島の行商人	カミーユ・ピサロ	1852	鉛筆	21×29	個人蔵
5	セントトマス島の家庭の情景	カミーユ・ピサロ	c.1852	鉛筆	28.1×35.5	スターン・アート・ディーラーズ蔵、ロンドン
6	カラカス・スケッチブック：水辺に立つ女性/人々	カミーユ・ピサロ	c.1853	鉛筆	14×22.8	リオネル&サンドリーヌ・ピサロ夫妻蔵
7	カラカス・スケッチブック：2人の人物の習作/座っている人々	カミーユ・ピサロ	c.1852-54	インク・鉛筆	14×22.8	リオネル&サンドリーヌ・ピサロ夫妻蔵
8	カラカス・スケッチブック：座っている男達/立っている女達	カミーユ・ピサロ	c.1852-54	インク・鉛筆	14×22.8	リオネル&サンドリーヌ・ピサロ夫妻蔵
9	カラカス・スケッチブック：樽と猫/赤ん坊の習作	カミーユ・ピサロ	1853	鉛筆	14×22.8	リオネル&サンドリーヌ・ピサロ夫妻蔵
10	木立	カミーユ・ピサロ	c.1852-54	鉛筆	33.5×26.5	リオネル&サンドリーヌ・ピサロ夫妻蔵
11	家、ラバ、人物のディテール	カミーユ・ピサロ	1852-54	鉛筆	18.0×26.8	ベネズエラ国立美術館蔵
12	2人の洗濯女	カミーユ・ピサロ	1852-54	インク、鉛筆		ベネズエラ国立美術館蔵
13	洗濯女のスケッチ	カミーユ・ピサロ	1852-54	インク・鉛筆	16.6×24.6	ベネズエラ国立美術館蔵
14	森の中の女性	カミーユ・ピサロ	1852-54	インク・鉛筆	26.4×16.6	ベネズエラ国立美術館蔵
15	風景	カミーユ・ピサロ	1852-54	鉛筆	18.5×31.4	ベネズエラ国立美術館蔵
16	カラカス郊外の農民達	カミーユ・ピサロ	1852-54	水彩、鉛筆	23.3×30.9	ベネズエラ国立美術館蔵
17	荷を運ぶ小道	カミーユ・ピサロ	1864	油彩・カンヴァス	81.9×107.9	グラスゴウ美術館・アートギャラリー&ミュージアム、ケルビングローヴ蔵
18	田舎道ですれちがう農婦と農夫	カミーユ・ピサロ	1865	油彩・板	21.5×34.9	タルマ・ギャラリーズ・ファイン・アート蔵（ニューヨーク）
19	ラ・ロシュ＝ギユイヨンのはしけ	カミーユ・ピサロ	c.1865	油彩・カンヴァス	46×72	カミーユ・ピサロ美術館蔵（ポントワーズ）
20	ガリエンじいさんの家、ポントワーズ	カミーユ・ピサロ	1866	油彩・カンヴァス	40.3×55.2	イプスウィッチ・ボロー・カウンシル・ミュージアム&ギャラリーズ蔵

21	レミタージュの景色、ポントワーズ	カミーユ・ピサロ	1867	油彩・カンヴァス	70×100	ロウ・ファンデーション蔵
22	マルリーの森の入り口(雪景色)	カミーユ・ピサロ	1868-69	油彩・カンヴァス	38×46	個人蔵
23	プージヴァルのセヌ河	カミーユ・ピサロ	1870	油彩・カンヴァス	51.4×82.2	石橋財団ブリヂストン美術館蔵
24	娘ジャンヌ(ミネット)の肖像	カミーユ・ピサロ	c.1872	水彩	29.3×22.76	個人蔵(イスラエル)
25	ジョリーおばさん	カミーユ・ピサロ	1874	油彩・カンヴァス	100×81	個人蔵
26	思いやり	カミーユ・ピサロ	1876	油彩・カンヴァス	56×46	エリ・シャカイ(アート・コレクション)蔵
27	グルエットの丘からの眺め、ポントワーズ	カミーユ・ピサロ	c.1878	油彩・カンヴァス	55×65	茨城県近代美術館蔵
28	ポントワーズ付近の風景	カミーユ・ピサロ	1878	油彩・カンヴァス	53.9×65.1	コロバス美術館蔵(シラク・コレクション)
29	ポントワーズの橋	カミーユ・ピサロ	1878	油彩・カンヴァス	60.5×73	吉野石膏株式会社蔵(山形美術館寄託)
30	菜園	カミーユ・ピサロ	1878	油彩・カンヴァス	55.2×45.9	石橋財団ブリヂストン美術館蔵
31	麦藁を積んだ荷馬車、モンフォーコ風景	カミーユ・ピサロ	1879	油彩・カンヴァス	46.3×55.3	川村記念美術館蔵
32	ひと休みするムロンじいさん	カミーユ・ピサロ	1879	油彩・カンヴァス	54×65	個人蔵
33	ポントワーズのロンデスト家の中庭	カミーユ・ピサロ	1880	油彩・カンヴァス	54.3×45	財団法人大原美術館蔵
34	ポントワーズの空き地	カミーユ・ピサロ	1880	油彩・カンヴァス	72.5×59.5	株式会社フジカワ画廊
35	座る農婦	カミーユ・ピサロ	c.1880's	グアッシュ・亜麻布	20×15	スターン・アート・ディーラーズ蔵(ロンドン)
36	風景	カミーユ・ピサロ	c.1880	水彩	11×16	個人蔵
37	フェリックス・ピサロの肖像	カミーユ・ピサロ	1881	油彩・カンヴァス	55×46	テート・ギャラリー蔵(息子ルシアン・ピサロにより1944年寄贈)
38	ポントワーズの農園	カミーユ・ピサロ	1882	油彩・カンヴァス	80×65	鹿児島市立美術館蔵
39	畑帰りの農婦と子供、ポントワーズ	カミーユ・ピサロ	1882	油彩・カンヴァス	44×52.5	個人蔵
40	草を摘む農婦	カミーユ・ピサロ	1882	油彩・カンヴァス	57.2×45.1	吉野石膏株式会社蔵(山形美術館寄託)
41	ルーアンの石橋とはしけ	カミーユ・ピサロ	1883	油彩・カンヴァス	54.3×65.2	コロバス美術館蔵(シラク・コレクション)
42	エラニーの牛を追う娘	カミーユ・ピサロ	1884	油彩・カンヴァス	59.7×73.3	埼玉県立近代美術館蔵
43	エラニーの教会と農園	カミーユ・ピサロ	1884	油彩・カンヴァス	54.5×63.0	群馬県立近代美術館蔵
44	羊飼いと羊の群れ	カミーユ・ピサロ	1885	グアッシュ	13×20.5	個人蔵
45	編み物をする羊飼いの女(扇子の挿絵)	カミーユ・ピサロ	1885	水彩	20×60	スターン・アート・ディーラーズ蔵(ロンドン)の厚意による出品
46	エラニーの花咲く梨の木、朝	カミーユ・ピサロ	1886	油彩・カンヴァス	54×54	(株)伊勢丹
47	花咲くプラムの木	カミーユ・ピサロ	1889	油彩・カンヴァス	46×55	姫路市立美術館蔵(国富奎三コレクション)
48	ルシアンの肖像	カミーユ・ピサロ	c.1875	鉛筆・パープルインク	11.2×19.5	リオネル&サンドリーヌ・ピサロ夫妻蔵
49	ソファのおばあちゃん	カミーユ・ピサロ	1888	エッチング	9.9×6.1	カミーユ・ピサロ美術館蔵(ポントワーズ)
50	読書する青年(ジョルジュ・ピサロ)	カミーユ・ピサロ	1889	アクアチント	13.2×11.8	カミーユ・ピサロ美術館蔵(ポントワーズ)
51	キュー・ガーデンの大温室前	カミーユ・ピサロ	1892	油彩・カンヴァス	54×65.1	吉野石膏株式会社蔵(山形美術館寄託)
52	腰をおろす農婦、落日	カミーユ・ピサロ	1892	油彩・カンヴァス	81×65	個人蔵(ロンドン)
53	豊作	カミーユ・ピサロ	1893	油彩・カンヴァス	44×55	サラ・リー・コーポレーションコレクション蔵
54	葉の山と夕暮れのエラニー	カミーユ・ピサロ	1893	油彩・カンヴァス	54×65	ジョセフ・ウィルフ夫妻蔵(ニューヨーク)
55	娘ジャンヌ(ココット)の肖像	カミーユ・ピサロ	c.1893	油彩・カンヴァス	46×38	イスラエル美術館蔵
56	エラニー、秋の朝	カミーユ・ピサロ	1897	油彩・カンヴァス	54×65	プーシキン美術館蔵
57	パリ、テアトル・フランセ広場	カミーユ・ピサロ	1898	油彩・カンヴァス	65.6×81.5	エルミタージュ美術館蔵
58	花束	カミーユ・ピサロ	1898	油彩・カンヴァス	60.3×70.1	サンフランシスコ美術館蔵、マルコ・ヘルマン氏寄贈

59	ジャンヌ（ココット）の肖像	カミーユ・ピサロ	1898	油彩・カンヴァス	56×46.5	ロー・ファウンダーション蔵
60	ルーアンの食料品街、午前、曇り空	カミーユ・ピサロ	1898	油彩・カンヴァス	81×65	吉野石膏株式会社蔵（山形美術館寄託）
61	ルーアン、朝	カミーユ・ピサロ	1898	油彩・カンヴァス	65×81	（株）伊勢丹
62	柳の木の下の恋人たち	カミーユ・ピサロ	1901	グアッシュ・絹	21×18	個人蔵（ロンドン）
63	ボン・ヌフ	カミーユ・ピサロ	1902	油彩・カンヴァス	55×46.5	ブダペスト美術館蔵
64	パリ、ボン・ヌフ	カミーユ・ピサロ	1902	油彩・カンヴァス	66.0×81.2	ひろしま美術館蔵
65	モレのワイン作りの老人（室内）	カミーユ・ピサロ	1902	油彩・カンヴァス	65×54	個人蔵
66	ル・アーヴルの枝橋：満潮、朝の太陽	カミーユ・ピサロ	1903	油彩・カンヴァス	57.2×64.8	デイクソン・ギャラリー&ガーデンズ蔵
67	自画像	カミーユ・ピサロ	1890	アクアチント	18.5×17.7	カミーユ・ピサロ美術館蔵（ポントワーズ）
68	ポントワーズの野菜市場	カミーユ・ピサロ	1891	アクアチント	25.5×20.0	カミーユ・ピサロ美術館蔵（ポントワーズ）
69	書きものをする青年（ロドの肖像）	カミーユ・ピサロ	1895	リトグラフ	12.2×12.0	カミーユ・ピサロ美術館蔵（ポントワーズ）
70	ポーレミール・ピサロ	カミーユ・ピサロ	1895	リトグラフ	11.5×9.5	カミーユ・ピサロ美術館蔵（ポントワーズ）
71	犁	カミーユ・ピサロ	1901	カラーリトグラフ	25.1×15.1	カミーユ・ピサロ美術館蔵（ポントワーズ）

【ルシアン・ピサロ】

F 1	縫い物をするジュリー・ピサロ夫人（カミーユの妻）	ルシアン・ピサロ	1886	水彩、グアッシュ	19×14	スターン・アート・ディーラーズ（ロンドン）の厚意による出品
F 2	エラニーの春	ルシアン・ピサロ	1888	油彩・カンヴァス	60.4×73	アーサー・G・アルトシュル夫妻蔵
F 3	雪の印象—エラニー	ルシアン・ピサロ	1892	油彩・カンヴァス	55×46	個人蔵
F 4	ブルターニュの小屋、リー	ルシアン・ピサロ	1910	油彩・カンヴァス	45.5×52	ブラウズ&ダービー蔵（ロンドン）
F 5	ライ麦	ルシアン・ピサロ	1913	油彩・カンヴァス	55×46	ジェフ&キャサリン・ホーウッド・コレクション蔵
F 6	オリーヴの木、曇り—トウロン	ルシアン・ピサロ	1929	油彩・カンヴァス	54×65	個人蔵（ロンドン）
F 7	青い皿	ルシアン・ピサロ	1932	油彩・カンヴァス	46×55	個人蔵（パリ）

【ジョルジュ=マンザナ・ピサロ】

F 8	セーヌ川のはしけ	ジョルジュ=マンザナ・ピサロ	1902	油彩・カンヴァス	54×65	個人蔵（パリ）
F 9	セーヌ川の小舟	ジョルジュ=マンザナ・ピサロ	1909	油彩・カンヴァス	54×81	スターン・アート・ディーラーズ蔵（ロンドン）
F 10	ターバンを巻いたギターを弾く娘	ジョルジュ=マンザナ・ピサロ	不明	油彩・板	82×58	スターン・アート・ディーラーズ蔵（ロンドン）
F 11	三人のブルターニュ娘	ジョルジュ=マンザナ・ピサロ	1936	油彩・板	106×79	スターン・アート・ディーラーズ蔵（ロンドン）
F 12	ヴェズイオン—春の花咲く木々	ジョルジュ=マンザナ・ピサロ	1937	油彩・板	38×55	スターン・アート・ディーラーズ蔵（ロンドン）
F 13	女性とにわとり	ジョルジュ=マンザナ・ピサロ	1953	油彩・板	46×54.5	スターン・アート・ディーラーズ蔵（ロンドン）

【フェリックス・ピサロ】

F 14	市場の風景	フェリックス・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	27×35	ジェフ&キャサリン・ホーウッド・コレクション蔵
F 15	黒い馬	フェリックス・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	33×41	個人蔵（ロンドン）
F 16	白い馬	フェリックス・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	54×73	イヴォンヌ・ピサロ夫人コレクション蔵

【ルドヴィク=ロド・ピサロ】

F 17	ブルターニュ娘	ルドヴィク=ロド・ピサロ	1903	油彩・カンヴァス	54×65	スターン・アート・ディーラーズ蔵（ロンドン）
------	---------	--------------	------	----------	-------	------------------------

F 18	縁日	ルドヴィク＝ロド・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	46×55	個人蔵 (イギリス)
F 19	パリの舞踏会	ルドヴィク＝ロド・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	56×94	アーサー・G・アルトシ ュル夫妻蔵
F 20	リッチモンドのパゴダ通り	ルドヴィク＝ロド・ピサロ	c.1920	油彩・カンヴァス	50×65	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 21	ロンドンの証券取引所	ルドヴィク＝ロド・ピサロ	c.1920	油彩・カンヴァス	60×81	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 22	シャンテレーヌ村、レザンドリ	ルドヴィク＝ロド・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	38×46	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)

【ポーレミール・ピサロ】

F 23	水浴びする女達	ポーレミール・ピサロ	1928	油彩・カンヴァス	89×118	個人蔵
F 24	釣り人、プラントム・ドルドーニュ	ポーレミール・ピサロ	c.1930's	油彩・カンヴァス	73×92	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 25	ロウルのソレー	ポーレミール・ピサロ	c.1930's	油彩・カンヴァス	54×65	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 26	カンテピーのオルヌ川、クレシー ＝カルヴァドス	ポーレミール・ピサロ	c.1930's	油彩・カンヴァス	81×116	
F 27	カンテピーの池、クレシー＝カル ヴァドス	ポーレミール・ピサロ	c.1930's	油彩・カンヴァス	54×65	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 28	クレシー＝カルヴァドスの私の家	ポーレミール・ピサロ	c.1930's	油彩・カンヴァス	65×54	アロン・ファインアーツ 蔵 (ボルチモア)
F 29	妻イヴォンヌ・ピサロの肖像	ポーレミール・ピサロ	1941	油彩・カンヴァス	65×54	個人蔵 (ロンドン)
F 30	カミーユ・ピサロの自画像の模写	ポーレミール・ピサロ	1947	油彩・カンヴァス	55×46	イヴォンヌ・ピサロ夫人コ レクション蔵
F 31	月夜の旅人	ポーレミール・ピサロ	1923	グアッシュ・茶紙	150×51	リオネル&サンドリーヌ・ ピサロ夫妻蔵
F 32	祝祭の夜一大かがり火	ポーレミール・ピサロ	1936	亜麻布、テンペラ	86×112	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 33	少年と猫	ポーレミール・ピサロ	1948	油彩・カンヴァス	61×51	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 34	カミーユ・ピサロの肖像	ポーレミール・ピサロ	1989	油彩・カンヴァス	162×130	ダヴィッド&レリア・ピ サロ＝スターン蔵
F 35	フォートウィリアムの入り口 (赤い鉄格子)	ポーレミール・ピサロ	1993	油彩・カンヴァス	146×114	ダヴィッド&レリア・ピ サロ＝スターン蔵
F 36	青の水飲み桶	ポーレミール・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	27×22	ダヴィッド&レリア・ピ サロ＝スターン蔵

【レリア・ピサロ】

F 37	ラ・セルヴェリー、雪の中のダヴ イッドとレリア	レリア・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	50×61	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 38	モネの家	レリア・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	65×81	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 39	ノルマンディのヴェイの風車	レリア・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	50×61	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 40	洗濯する女達	レリア・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	33×41	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)
F 41	干し草を集めるナタリーとシュザ ンヌ、トレにて	レリア・ピサロ	不明	油彩・カンヴァス	46×55	スターン・アート・デー ーラーズ蔵 (ロンドン)

禅寺の絵師たち—明兆・靈彩・赤脚子—

1998(平成10)年10月23日～11月23日

主催 山口県立美術館

会場 企画展示室 I、II



(1) 趣旨

当館では、かつて山口を活動拠点とした雪舟と、その後継者である雪舟流・雲谷派の画家たちについて重点的に展示会の企画、および作品収集を行なってきた。今回の展示会は、これまでの雪舟以降の系譜をたどる活動からの一展開として、雪舟と同時代、あるいはこれより遡る時代の、雪舟と同様に、禅宗寺院を中心に活動していた画家たちの制作活動を紹介します。室町時代絵画の成立と展開の過程を考察するものであった。

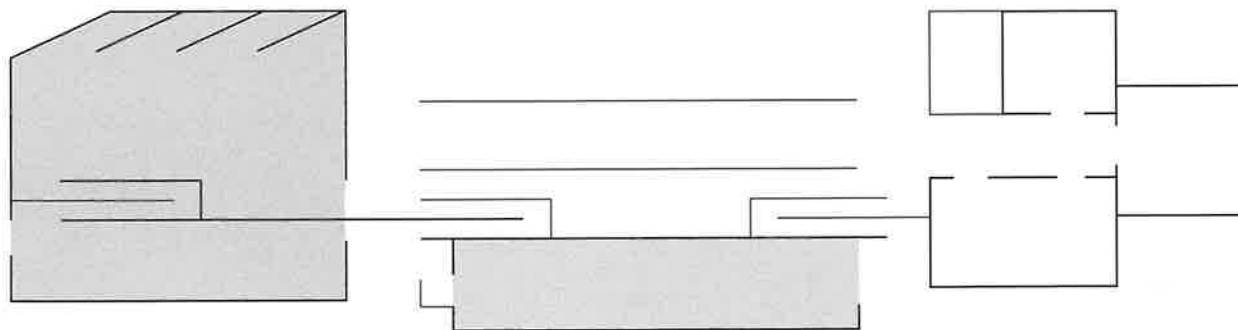
室町時代における禅宗絵画制作の中心といえ、京都五山の相国寺と東福寺というふたつの大寺院をあげることができるが、史料や現存遺品などからみて、仏画については東福寺が最大の拠点であったと考えられる。そして、実は雪舟らもまたその東福寺周辺の伝統を引き継ぐかたちで仏画を学んだと考えられる。

本展示会は、この禅宗絵画の本流であった東福寺周辺の絵師たちを紹介する展示会である。すなわち、良全に始まり、画聖と呼ばれた明兆、そして彼の弟子とされる靈彩・赤脚子・一之といった禅宗絵画の本流を支えた絵師たちの作品を、初めてまとまった形で紹介した展示会である。出品作品は良全6件、明兆27件、靈彩3件、赤脚子6件、一之7件の計50件であった。とりわけ、東福寺およびその塔頭の全面的な御協力を賜り、あまり展示会出品歴のない「白衣観音図」などの大幅や、「三十三観音図」など、これまであまり紹介されていない作品が大量に出品されたことは、たいへん意義深いものであった。

展示会図録では、現存作品の参考図版および、史料集として画賛、記録類、画論・画史類の関係記事を掲載し、東福寺派の絵師たちの全貌の紹介を試みた。

また、本展示会では、仏画としては評価の高くなかった南北朝・室町の禅宗系仏画に光を当てるという観点から、会期中、仏教絵画の第一人者である有賀祥隆氏、平田寛氏を講師として招き、雪舟研究会との合同のシンポジウムを開催し、水墨画の研究者と仏画の研究者との間で、活発な議論が行われた。

(2) 会場構成



(3) カタログ

編集 岩井共二・福島恒徳

発行 山口県立美術館

内容

ごあいさつ

謝辞

凡例

禅の仏画と東福寺 島尾新

カラー図版

モノクロ図版

落款・印章・賛文

論文

私的霊彩論 山下裕二

明兆はどう評価されてきたのか 五十嵐公一

白衣観音小考 岩井共二

破艸鞵・明兆 小伝 福島恒徳

作品解説

参考図版

資料

史料

画論・画史

参考文献目録

出品作品目録

LIST OF EXHIBITS



(4) 出品作品

番号	作者	作品名	所蔵	品質	形式	法量(cm)	時代	備考
1	良全	仏涅槃図	福井・本覚寺	絹本着色	掛幅装	161.0×168.3	鎌倉	重要文化財
2	良全	釈迦三尊図	神奈川県立歴史博物館	絹本着色	掛幅装	110.8×57.0	鎌倉～ 南北朝	
3	良全	釈迦三尊図	兵庫・清荒神清澄寺	絹本着色	掛幅装3幅	釈迦112.2×59.1 文殊109.3×44.0 普賢109.4×44.3	鎌倉～ 南北朝	重要文化財
4	良全	白衣観音図	愛知・妙興寺	絹本墨画	掛幅装	88.4×40.2	鎌倉～ 南北朝	重要文化財
5	良全	十六羅漢図	京都・建仁寺	絹本着色	掛幅装16幅内	143.2×59.6	鎌倉～ 南北朝	重要文化財
6	良全? [禅月(伝)]	達磨像	兵庫・個人	絹本墨画淡彩	掛幅装	96.5×42.4	鎌倉～ 南北朝	

7	明兆	五百羅漢図	根津美術館	絹本着色	掛幅装 2 幅	各173.6×89.4	室町	重要文化財
8	明兆(伝)	五百羅漢図	京都・東福寺	紙本墨画(淡彩)	掛幅装50幅内	各174.5×90.5	室町~江戸	
9	明兆	三十三観音図	京都・東福寺	絹本着色	掛幅装33幅内	118.3×54.5~ 8	室町	
10	明兆	蔵山順空像	京都・永明院	絹本着色	掛幅装	80.2×40.6	室町	重要文化財
11	明兆	白衣観音図	東京国立博物館	紙本墨画	掛幅装	61.3×28.3	室町	
12	明兆	寒山拾得図	京都・東福寺	紙本墨画淡彩	掛幅装 2 幅	寒山220.5×112.0 拾得219.8×112.1	室町	
13	明兆	白衣観音図	京都・東福寺	紙本墨画淡彩	掛幅装	328.0×285.1	室町	
14	明兆	釈迦三尊三十祖像	京都・鹿王院	絹本着色	掛幅装 7 幅	各36.7×58.0	室町	重要文化財
15	明兆(伝)	白衣観音図	京都・個人	絹本着色	掛幅装	68.9×31.5	室町	
16	明兆(伝)	白衣観音図	兵庫・個人	絹本着色	掛幅装	94.5×41.4	室町	
17	明兆落款	騎獅文殊図	幽玄齋コレクション	絹本着色	掛幅装	70.1×33.8	室町	
18	明兆(伝)	騎獅文殊図	松井文庫	絹本着色	掛幅装	89.6×38.6	室町	
19	明兆(伝)	文殊図	静嘉堂文庫美術館	絹本墨画淡彩	掛幅装	99.2×39.3	室町	
20	明兆落款	羅漢図	静嘉堂文庫美術館	絹本着色	掛幅装 2 幅	各113.0×57.4	室町	
21	明兆(伝)	十八羅漢図	京都・東福寺	絹本着色	掛幅装 6 幅内	各98.1×56.8	室町	
22	明兆落款	達磨像	岐阜・霊松院	絹本着色	掛幅装	86.9×42.3	室町	
23	明兆(伝)	二十八祖像	静嘉堂文庫美術館	紙本墨画淡彩	画帖28図	円相径各14.5	室町	
24	明兆落款	百丈懷海像	東京・個人	絹本着色	掛幅装	80.1×40.2	室町	
25	明兆落款	慧朗禅師像	兵庫・個人	絹本着色	掛幅装	82.8×41.9	室町	
26	明兆落款	応庵曇華像	兵庫・個人	絹本着色	掛幅装	82.8×41.9	室町	
27	明兆落款	破庵祖先像	正木美術館	絹本着色	掛幅装	81.8×41.6	室町	
28	明兆(伝)	一円三祖像	京都・東福寺	絹本着色	掛幅装	85.7×38.5	室町	
29	明兆落款	円爾弁円像	正木美術館	絹本着色	掛幅装	89.0×39.6	室町	
30	明兆落款	在先希讓像	京都・霊源院	絹本着色	掛幅装	108.9×55.2	室町	重要文化財
31	明兆落款	在山素璿像	京都・東福寺	絹本着色	掛幅装	114.4×57.6	室町	
32	明兆落款	白崖宝生像	伊勢崎・泉龍寺	絹本着色	掛幅装	110.0×56.3	室町	重要文化財
33	明兆(住吉廣行模)	明兆自画像(模本)	京都・東福寺	紙本墨画淡彩	掛幅装	49.5×34.2	江戸	
34	霊彩	寒山図	大東急記念文庫	紙本墨画淡彩	掛幅装	83.3×35.3	室町	重要文化財
35	霊彩	騎獅文殊図	東京国立博物館	紙本墨画金泥	掛幅装	76.0×33.3	室町	重要文化財
36	霊彩	白衣観音図	京都・玉泉寺	紙本着色	掛幅装	92.5×37.5	室町	
37	霊彩落款	欠伸布袋図	兵庫・個人	紙本墨画	掛幅装	86.2×35.7	室町	
38	赤脚子	釈迦成道図	京都・個人	紙本墨画	掛幅装	88.6×30.9	室町	重要文化財
39	赤脚子	白衣観音図	根津美術館	紙本墨画淡彩	掛幅装	92.8×34.6	室町	重要文化財
40	赤脚子	白衣観音図	栃木県立博物館	紙本墨画	掛幅装	81.5×33.6	室町	
41	赤脚子	鉄拐仙人図	群馬県立近代美術館	紙本墨画	掛幅装	94.9×33.8	室町	
42	赤脚子	寿老図	愛知・妙興寺	紙本着色	掛幅装	60.7×33.0	室町	
43	赤脚子? [明兆(伝)]	白衣観音蝦蟇 鉄拐図	静嘉堂文庫美術館	絹本着色	掛幅装 3 幅	観音137.6×57.0 蝦蟇137.9×57.0 鉄拐138.2×57.0	室町	
44	一之? [明兆(伝)]	白衣観音図	香川・与田寺	紙本墨画	掛幅装	103.8×47.7	室町	
45	一之? [牧谿(伝)]	白衣観音図	福岡・聖福寺	絹本墨画	掛幅装	87.5×39.8	室町	
46	一之?	白衣観音図	京都・個人	紙本墨画	掛幅装	111.7×39.1	室町	
47	一之? [霊彩(伝)]	白衣観音図	奈良県立美術館	絹本墨画	掛幅装	111.7×57.5	室町	
48	一之? [牧谿(伝)]	白衣観音禅会図	愛知・妙興寺	絹本墨画	掛幅装 3 幅	観音148.1×95.6 禅会図各186.0×93.5	室町	
49	一之(伝)	白衣観音図	東京国立博物館	絹本墨画	掛幅装	205.1×86.3	室町	
50	一之? [牧谿(伝)]	白衣観音図	根津美術館	紙本墨画	掛幅装	90.4×34.0	室町	

ベ아트・ストロイリ展

BEAT STREULI IN JAPAN 1998-1999 ART & METROPOLIS

1998(平成10)年12月4日～1999(平成11)年1月17日

主催 山口県立美術館、ユミコ・チバ・アソシエイツ

後援 スイス大使館、ドイツ文化センター

会場 常設展示室Ⅱ

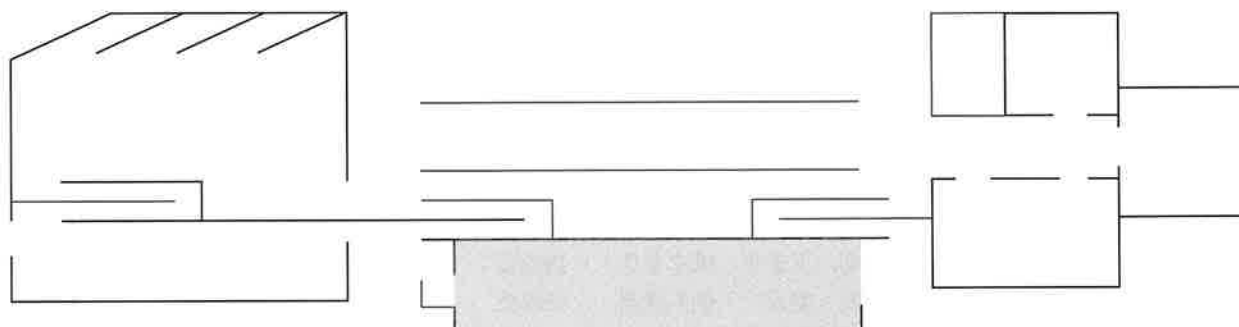
(1) 趣旨

ベ아트・ストロイリ(1958～)は、スイス生まれ、現在ドイツのデュッセルドルフで活躍する作家である。1993年頃からヨーロッパ、アメリカの美術館等で個展やグループ展に作品を発表し始め、日本では、1997年に横浜美術館での『失われた風景—幻想と現実の境界』展や、1998年に原美術館での『写真—可能性のかたち／ドイツディーゼル銀行コレクション』展で紹介されている。

彼は望遠レンズを用いて、被写体と接触せずに一定の距離を保ったままのイメージを切り取る。写されていることに気づかぬ人々の瞬間的なイメージは、当然ながらカメラの方に視線を向けていない。そのことが逆に、写真を見るわれわれの方が被写体から見られていないという意識を呼び起こす。群衆は互いに注目しあっているわけではないということを感じさせる彼の作品は、他者／社会と自分との関係のあり方を反省させる巧妙な仕掛けとも考えられる。

日本における最初の個展となった今回の展覧会では、作家が実際に山口市内で撮影した作品が展示された。

(2) 会場構成



(3) カタログ 作成せず

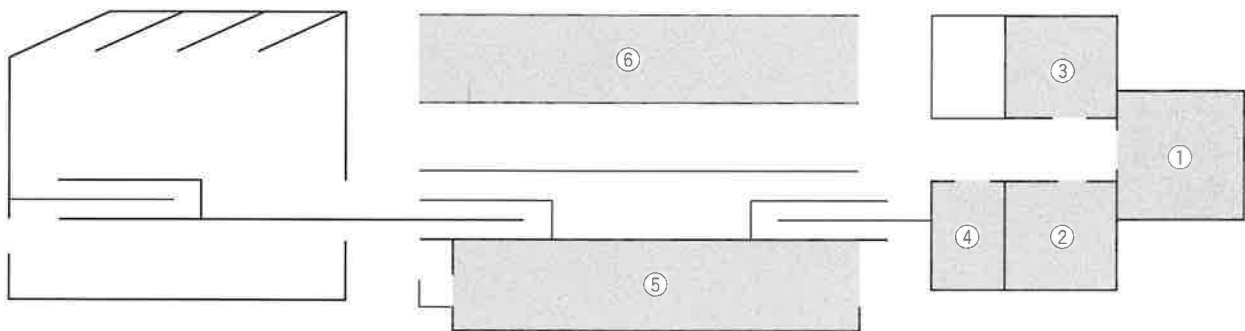
(4) 出品作品

90枚の写真で構成された“Yamaguchi, October 4 1998”

(2) 常設展

館蔵品（借用品をふくむ場合もある）の常時公開の場として常設展示室を設け、年4回程度の展示替えてテーマを設定した館蔵品の紹介を行なっている。常設展示のエリアは、5つの室からなっており、このうち4室（①～④）が1階フロアに、のこる1室（⑤）が2階フロアに設置されている。1階フロアの4室を総称して常設展示室Ⅰ、2階フロアを常設展示室Ⅱと呼んでいる。

常設展示室Ⅰの4室は、展示内容を特定しており、絵画展示室Ⅰ（①）が香月泰男の「シベリア・シリーズ」、絵画展示室Ⅱ（②）が小林和作の作品、郷土工芸室（③）が萩焼や赤間硯など山口県の伝統的美術工芸品、資料展示室（④）が素描・画稿等の第2次資料をそれぞれ展示してきた。ただ近年では、コレクションが充実してきたのにもない、この原則に必ずしもこだわらない展示も試みている。また2階の常設展示室Ⅱ（⑤）は、館蔵品全般から選ばれた作品紹介の場として使用してきた。常設室としては、このほかに戸外に野外展示場（⑥）を設け、館内展示が不可能な立体造形の紹介、展観の場として現代彫刻等の作品数点を設置しているが、このスペースは鑑賞の合間の休憩の場としても利用されている。



常設展示室Ⅰ（①～④）462.309㎡（延べ面積）

常設展示室Ⅱ（⑤） 471.825㎡（延べ面積）

野外展示場（⑥） 1,370.000㎡（延べ面積）

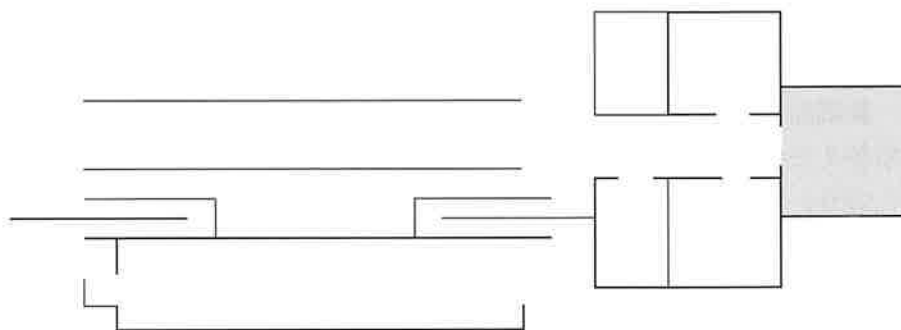
* 凡例

以下の常設展記録は、各展示室に即して整理し、また個々については、名称・会期・出品作品リストの順で編集した。

常設展示室(Ⅰ)

絵画展示室

(香月泰男)



1. シベリア・シリーズ(1)

1997(平成9)年4月29日～7月27日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	ナホトカ	香月泰男	1971	油彩・画布	
2	バイカル	〃	〃	〃	
3	渚<ナホトカ>	〃	1974	〃	寄託品
4	絵具箱	〃	1972	〃	
5	日本海	〃	〃	〃	
6	デモ	〃	1973	〃	
7	点呼(右)	〃	1971	〃	
8	点呼(左)	〃	〃	〃	
9	復員<タラップ>	〃	1966	〃	
10	私<マホルカ>	〃	〃	〃	
11	<私の>地球	〃	1968	〃	
12	日の出	〃	1974	〃	
13	月の出	〃	〃	〃	

2. シベリア・シリーズ(2)

1997(平成9)年7月29日～11月9日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	雪	香月泰男	1963	油彩・画布
2	海<ペーチカ>冬	〃	1966	〃
3	凍土	〃	1965	〃
4	湿地	〃	1961	〃
5	運ぶ人	〃	1960	〃
6	乗客	〃	1958	〃
7	鋸	〃	1964	〃
8	伐	〃	〃	〃
9	雪の山	〃	1972	〃
10	雪<窓>	〃	1963	〃
11	神農	〃	1964	〃
12	列	〃	1961	〃
13	北へ西へ	〃	1959	〃

3. シベリア・シリーズ(3)

1997(平成9)年11月11日～1998(平成10)年2月15日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	朝陽	香月泰男	1965	油彩・画布	
2	囚	〃	〃	〃	
3	荊	〃	〃	〃	
4	—35°	〃	1971	〃	
5	凍河〈エニセイ〉	〃	1966	〃	
6	バイカル	〃	1971	〃	
7	絵具箱	〃	1972	〃	
8	渚〈ナホトカ〉	〃	1974	〃	寄託品
9	点呼(右)	〃	1971	〃	
10	点呼(左)	〃	〃	〃	
11	私〈マホルカ〉	〃	1966	〃	
12	〈私の〉地球	〃	1968	〃	

4. シベリア・シリーズ(4)

1998(平成10)年2月17日～4月26日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	伐	香月泰男	1964	油彩・画布
2	雪の山	〃	1972	〃
3	雪〈窓〉	〃	1963	〃
4	神農	〃	1964	〃
5	列	〃	1961	〃
6	穴掘人	〃	1960	〃
7	左官	〃	1956	〃
8	ダモイ	〃	1959	〃
9	ナホトカ	〃	1961	〃
10	デモ	〃	1973	〃
11	復員〈タラップ〉	〃	1966	〃
12	日の出	〃	1974	〃
13	月の出	〃	〃	〃

5. シベリア・シリーズ(1)

1998(平成10)年4月28日～5月31日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	雲	香月泰男	1968	油彩・画布	
2	別	〃	1967	〃	
3	雨〈牛〉	〃	1947	〃	
4	雨	〃	1968	〃	
5	黒い太陽	〃	1961	〃	寄託品
6	青の太陽	〃	1969	〃	

7	ホロンバイル	香月泰男	1960	油彩・画布
8	朝陽	〃	1965	〃
9	道	〃	1972	〃
10	煙	〃	1969	〃
11	海拉爾	〃	1972	〃
12	護	〃	1969	〃
13	朕	〃	1970	〃

6. 現代の木彫り

1998（平成10）年6月2日～7月26日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	トルソ	植木茂	不詳	木
2	漂流	豊福知徳	1958	木
3	そりのあるかたち	澄川喜一	1980	木
4	逃れゆく思念	深井隆	1986	木・金箔
5	漂船	植木茂	不詳	木

7. シベリア・シリーズ(2)

1998（平成10）年7月28日～9月27日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	避難民	香月泰男	1960	油彩・画布
2	奉天（右）	〃	1970	〃
3	奉天（左）	〃	〃	〃
4	業火	〃	〃	〃
5	凍土	〃	1965	〃
6	北へ西へ	〃	1959	〃
7	アムール	〃	1962	〃
8	運ぶ人	〃	1960	〃
9	乗客	〃	1966	〃
10	鋸	〃	1964	〃
11	伐	〃	〃	〃
12	雪の山	〃	1972	〃

8. シベリア・シリーズ(3)

1998（平成10）年7月29日～12月20日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	埋葬	香月泰男	1948	油彩・画布	
2	涅槃	〃	1960	〃	寄託品
3	雪	〃	1963	〃	
4	列	〃	1961	〃	
5	星<有刺鉄線>夏	〃	1966	〃	

6	荊	香月泰男	1965	油彩・画布
7	囚	〃	〃	〃
8	穴掘人	〃	1960	〃
9	—35°	〃	1971	〃
10	左官	〃	1956	〃
11	餓	〃	1964	〃
12	ダモイ	〃	1959	〃
13	バイカル	〃	1971	〃

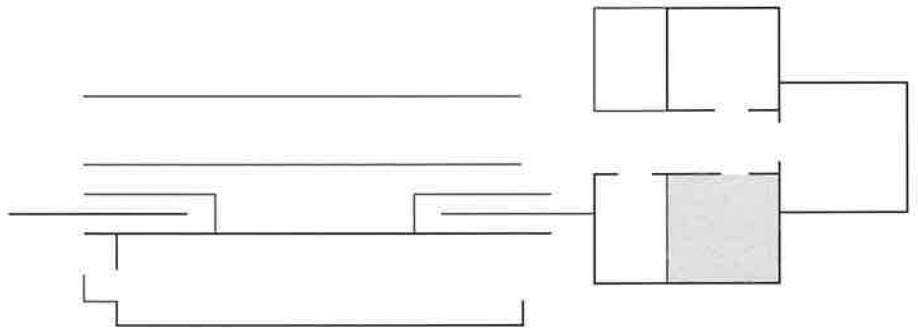
9. シベリア・シリーズ(4)

1998（平成10）年12月22日～1999（平成11）年3月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	渚<ナホトカ>	香月泰男	1974	油彩・画布	寄託品
2	日本海	〃	1972	〃	
3	ナホトカ	〃	1961	〃	
4	絵の具箱	〃	1973	〃	
5	デモ	〃	〃	〃	
6	点呼（右）	〃	1971	〃	
7	点呼（左）	〃	〃	〃	
8	復員<タラップ>	〃	1967	〃	
9	<私の>地球	〃	1968	〃	
10	月の出	〃	1974	〃	
11	日の出	〃	〃	〃	
12	私<マホルカ>	〃	1966	〃	

絵画展示室
(小林和作)



1. 福田勝治展

1997（平成9）年4月29日～7月27日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
2	静物：太陽光	福田勝治	c1952	ゼラチン・シルヴァー・プリント
3	静物：卵の静物	〃	1939	〃
4	静物：蛙の鳴くころ	〃	1936	〃
5	静物：おとめ	〃	1952	〃
6	静物	〃	〃	〃
7	静物：白紙	〃	1952	〃
8	ゴムと手袋と卵の静物	〃	1933	〃
9	静物	〃	c1954	〃
10	心の小窓（藤田泰子）	〃	1949	〃
11	光りの貝殻	〃	〃	〃
12	グミの実は甘くすっぱいよ	〃	1946	〃
13	乳房	〃	1937	〃
14	粧う	〃	1963	〃
15	鏡を持てる女	〃	〃	〃
16	裸婦	〃	1946	〃
17	裸婦	〃	〃	〃
18	犬と静物（影のエチュード）	〃	1954	〃
19	静物	〃	c1952	〃
20	静物	〃	c1946	〃
21	黒髪	〃	1938	〃
22	佐藤美子	〃	c1952	〃
23	春の微風	〃	c1937	〃
24	心の小窓（藤田泰子）	〃	1949	〃
25	裸婦	〃	1946	〃
26	イタリア紀行：カステル・マダマにて	〃	1955	〃
27	イタリア紀行：マリーナ・グランデの漁村にて	〃	〃	〃
28	イタリア紀行：船も眠りに	〃	〃	〃
29	イタリア紀行：ポンペイにて	〃	〃	〃
30	イタリア紀行	〃	〃	〃
31	イタリア紀行：舳を上げて	〃	〃	〃
32	イタリア紀行	〃	〃	〃
33	イタリア紀行：ソフィア・ローレン	〃	〃	〃
34	静物	〃	c1925	〃
35	姿	〃	1934	〃
36	宇野千代	〃	1935	〃
37	影	〃	c1954	〃
38	イタリア紀行：三人の修道尼	〃	1955	〃
39	イタリア紀行：夜のサン・マルコ修道院	〃	〃	〃

40	イタリア紀行：シエナにて	福田勝治	1955	ゼラチン・シルヴァー・プリント
41	イタリア紀行：サンタ・クロチェの鐘楼	〃	〃	〃
42	イタリア紀行：羽のない天使	〃	〃	〃
43	イタリア紀行：ポポロ広場の噴水	〃	〃	〃
44	イタリア紀行：カプリ島の居酒屋	〃	〃	〃
45	イタリア紀行：シャルル・ボワイエ	〃	〃	〃
46	イタリア紀行：司祭たち	〃	〃	〃
51	静物	〃	c1946	〃
52	静物	〃	1939	〃
53	福田勝治 32歳	〃	1931	〃

2. 藤田隆治展

1997（平成9）年7月29日～11月9日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	原始太陽	藤田隆治	1960	紙本彩色・額
2	三眠	藤田隆治	1963	〃
3	動的な群像	藤田隆治	1964	キャンバス・彩色・額
4	魚貝石	藤田隆治	不詳	絹本彩色・額
5	鷺のいる風景	藤田隆治	〃	紙本彩色・2曲1双屏風
6	魚のいる風景	藤田隆治	〃	キャンバス・彩色・額
7	有明海	藤田隆治	〃	紙本彩色・額
8	格子魚	藤田隆治	〃	〃
9	初夏	藤田隆治	1925～30	紙本彩色・2曲1隻屏風
10	海底のアラバスク	藤田隆治	1950年代前半	紙本彩色・額
11	薊	藤田隆治	不詳	〃

3. 小林和作展

1997（平成9）年11月11日～1998（平成10）年2月15日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	秋果	小林和作	不詳	油彩・画布
2	婦人像	〃	1966	〃
3	秋山	〃	不詳	〃
4	佐渡の海	〃	〃	〃
5	山湖	〃	1955	〃
6	秋晴	〃	不詳	〃
7	秋山	〃	〃	〃
8	秋山	〃	〃	〃
9	英彦山中の秋	〃	1950年代	〃
10	山陰上岩見にて	〃	不詳	水彩・紙
11	上岩見	〃	〃	〃
12	隠岐白島	〃	〃	〃
13	風景（眼下風景）	〃	〃	〃
14	英彦山	〃	〃	〃
15	大山	〃	〃	〃

4. 宮崎進展

1998（平成10）年2月17日～4月26日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	旅芸人	宮崎進	不詳	油彩・画布
2	小屋	〃	〃	〃
3	夜	〃	1976	〃
4	黄色い壁	〃	〃	〃
5	ランドスケープ	〃	〃	〃
6	昼	〃	〃	〃
7	ふたつのコンポジション	〃	不詳	鉛筆・紙
8	裸	〃	〃	〃
9	顔	〃	〃	〃
10	こしかける	〃	〃	〃
11	よりかかる女	〃	〃	〃
12	ひざまづく裸婦	〃	〃	〃
13	ふたつの裸	〃	〃	〃
14	男と女のコンポジション	〃	〃	〃
15	立つ女	〃	〃	〃
16	凍る土	〃	1985～86	油彩・画布

5. 永地秀太展

1998（平成10）年4月28日～6月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	絞り	永地秀太	1913	油彩・画布
2	更紗の前	〃	1924	〃
3	壁に倚れる女	〃	1925	〃
4	裸婦	〃	不詳	〃
5	婦人像	〃	〃	〃
6	少女像	〃	〃	〃
7	少年像	〃	〃	〃
8	少年像	〃	〃	〃
9	風景	〃	〃	〃
10	風景	〃	1922	〃
11	裸体習作	〃	不詳	〃
12	人物習作	〃	〃	油彩・板
13	裸婦	〃	〃	木炭・紙
14	裸婦	〃	〃	〃
15	裸婦	〃	〃	〃
16	裸婦	〃	〃	〃
17	男子裸像	〃	〃	〃

6. 戦後の日本画

1998（平成10）年6月30日～9月27日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	原始太陽	藤田隆治	1960	紙本彩色・額
2	変貌する山	岩崎巴人	1966	〃
3	Work	楠田真吾	1963	板・塗料・彩色・額
4	水芭蕉曼荼羅	佐藤多持	1968	紙本墨画彩色・4曲屏風1隻
5	三人	長崎莫人	1956	紙本彩色・ガラス粉・額
6	詩劇	不動茂弥	1966	顔料・板・麻紙・綿壁・セメント
7	作品	野村耕	1955～65	板・紙型・彩色
8	七つの軌跡	下村良之介	1963	板・和紙・彩色・額
9	戦争そしてセックス―獣姦	三谷勇夫	1964	紙本彩色・額
10	黒い西日	星野真吾	1966	〃

7. 周防国分寺の仏像

1998（平成10）年9月29日～12月20日 ※資料展示室の11におなじ

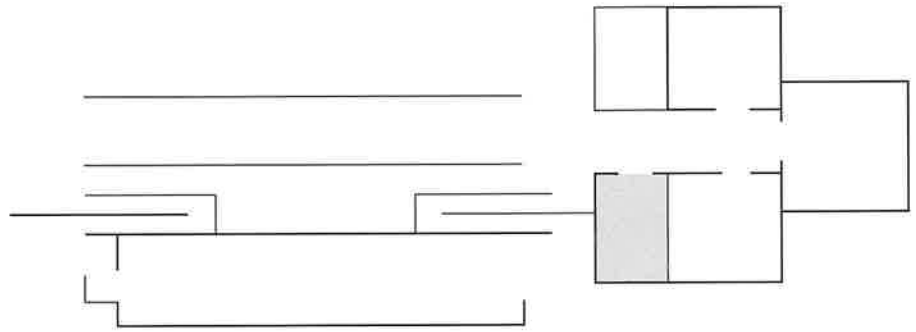
8. 小林和作展

1998（平成10）年12月22日～1999（平成11）年3月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	エクス風景	小林和作	1929	油彩・画布
2	カプリ島	〃	1928	〃
3	婦人像	〃	1966	〃
4	春の海	〃	1974	〃
5	春	〃	不詳	〃
6	春の山	〃	1951	〃
7	海	〃	1961	〃
8	秋山	〃	不詳	〃
9	秋晴	〃	1957	〃
10	英彦山中の秋	〃	1950年代末	〃
11	果物	〃	不詳	紙本彩色・軸
12	桃鳩	〃	〃	〃
13	南画風山水	〃	〃	絹本墨画彩色・軸
14	山茶花と青鳩	〃	〃	絹本彩色・軸
15	きつつき	〃	〃	〃
16	檉鳥	〃	〃	〃

資料展示室



1. 福田勝治展

1997（平成9）年4月29日～7月27日 ※小林和作室の1におなじ

2. 戦後写真シリーズ 東京一都市の変貌

1997（平成9）年7月29日～9月15日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	道 1976年8月16日	田村彰英	1976	ゼラチン・シルバー・プリント
2	道 1978年8月25日	〃	1978	〃
3	道 1979年12月23日	〃	1979	〃
4	道 1980年6月28日	〃	1980	〃
5	道 1980年12月31日	〃	〃	〃
6	「都市の軌跡」	柳沢信	1965	〃
7	「都市の軌跡」	〃	〃	〃
8	「都市の軌跡」	〃	〃	〃
9	「都市の軌跡」	〃	〃	〃
10	「都市の軌跡」	〃	〃	〃
11	『カストリ時代』	〃	C1995	〃
12	『カストリ時代』	〃	1946	〃
13	『カストリ時代』	〃	〃	〃
14	『カストリ時代』	〃	〃	〃
15	『カストリ時代』	〃	1947	〃
16	「浅草にて」	金井精一	1950	〃
17	「浅草にて」	〃	〃	〃
18	「浅草にて」	〃	1951	〃
19	「浅草にて」	〃	〃	〃
20	「浅草にて」	〃	〃	〃

3. 風土を見つめて

1997（平成9）年9月17日～11月9日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	大曲『秋田』	木村伊兵衛	1953	ゼラチン・シルヴァー・プリント
2	六郷町盆踊り『秋田』	〃	1959	〃
3	秋田市泉『秋田』	〃	1952	〃
4	大曲市内小友『秋田』	〃	1957	〃
5	海の親子 山口・見島『裏日本』	濱谷浩	1955	〃
6	海の家族 秋田『裏日本』	〃	〃	〃
7	津軽の男 青森『裏日本』	〃	〃	〃
8	稲刈り 山形『裏日本』	〃	〃	〃
9	北津軽郡中里～十三村『津軽』	小島一郎	1960	〃
10	津軽『津軽』	〃	1958～60	〃
11	下北郡大間町『津軽』	〃	1959	〃
12	津軽『津軽』	〃	1958～60	〃
13	渡嘉敷島『太陽の鉛筆』	東松照明	1972	〃
14	西表島『太陽の鉛筆』	〃	〃	〃
15	西表島『太陽の鉛筆』	〃	1973	〃
16	野甫島『太陽の鉛筆』	〃	1972	〃
17	『婆バクハツ』	内藤正敏	1970	〃
18	『婆バクハツ』	〃	〃	〃
19	『婆バクハツ』	〃	〃	〃
20	『婆バクハツ』	〃	〃	〃

4. ルポルタージュとしての写真

1997（平成9）年11月11日～12月21日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	<11時02分>NAGASAKI	東松照明	1961	ゼラチン・シルヴァー・プリント
2	<11時02分>NAGASAKI	〃	〃	〃
3	<11時02分>NAGASAKI	〃	〃	〃
4	<11時02分>NAGASAKI	〃	〃	〃
5	<11時02分>NAGASAKI	〃	〃	〃
6	<11時02分>NAGASAKI	〃	1962	〃
7	<11時02分>NAGASAKI	〃	1961	〃
8	<11時02分>NAGASAKI	〃	1961～63	〃
9	巷の女 横浜 若葉町付近	常盤とよ子	c1955	〃
10	巷の女 横浜 若葉町付近	〃	〃	〃
11	巷の女 横浜 若葉町付近	〃	〃	〃
12	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	〃	〃	〃
13	赤線地帯 横浜 真金町遊郭	〃	〃	〃
14	真金町診療所	〃	1959～60	〃
15	真金町診療所	〃	〃	〃
16	真金町診療所	〃	〃	〃
17	『ピカドン』妻の死	福島菊次郎	1951	〃
18	『ピカドン』1956年の春	〃	1956	〃
19	『ピカドン』おかあさんの墓	〃	1957	〃

20	『ピカドン』 絶望の日々	福島菊次郎	c1960	ゼラチン・シルヴァー・プリント
21	『ピカドン』 悶絶した父親	〃	1960	〃
22	『ピカドン』 発作	〃	〃	〃
23	『ピカドン』 不治の宣告	〃	c1960	〃
24	『ピカドン』 原爆症に蝕まれて	〃	1960	〃

5. 表現としての写真

1997（平成9）年12月23日～1998（平成10）年2月15日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	モダンアーティストの肖像 東京・阿部展也のアトリエ	大辻清司	1953	ゼラチン・シルヴァー・プリント
26	オブジェ	〃	1949	〃
27	無言歌。東京・谷原	〃	1955	〃
28	扉の雪「ある日ある所」より	石元泰博	c1950	〃
29	扉の雪「ある日ある所」より	〃	〃	〃
30	雪と車「ある日ある所」より	〃	〃	〃
31	「ロバと王様と私」	今井寿恵	1958～59	〃
32	「ロバと王様と私」	〃	〃	〃
33	「ロバと王様と私」	〃	〃	〃
34	マルチストロボ・ヌード	本庄光郎	1959	〃
35	二人立像	〃	1954	〃
36	パターン・ヒップ	〃	1970	〃
37	パパとママと子供たち	植田正治	1949	〃
38	ボクとわたしのお母さん	〃	1950	〃
39	風船を持つ自像	〃	1961	〃
40	マヌカン	岩宮武二	1955	〃
41	砂丘	〃	1949	〃
42	日覆	〃	1946	〃
43	静物：太陽光	福田勝治	c1952	〃
44	静物	〃	c1954	〃
45	光りの貝殻	〃	1949	〃

6. 戦後写真シリーズ VIVO の6人

1998（平成10）年2月17日～4月26日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	高射砲陣地跡『地図』	川田喜久治	1960～65	ゼラチン・シルヴァー・プリント
2	コカコーラ『地図』	〃	〃	〃
3	日の丸『地図』	〃	〃	〃
4	原爆ドーム天井しみ『地図』	〃	〃	〃
5	沈黙の園#3『王国』	奈良原一高	1958	〃
6	沈黙の園#5『王国』	〃	〃	〃
7	沈黙の園#30『王国』	〃	〃	〃
8	沈黙の園#53『王国』	〃	〃	〃
9	家	東松照明	1959	〃
10	家	〃	〃	〃
11	家	〃	〃	〃

12	家	東松照明	1959	ゼラチン・シルバー・プリント
13	#34『おとこと女』	細江英公	1960	〃
14	#19『おとこと女』	〃	〃	〃
15	#24『おとこと女』	〃	〃	〃
16	#25『おとこと女』	〃	〃	〃
17	冷たいサンセット	佐藤明	〃	〃
18	おんな	〃	1961	〃
19	サイクロピアン	〃	1962	〃
20	サイクロピアン	〃	〃	〃
21	火をくぐる馬『日本のサーカス』	丹野章	1956	〃
22	ミスメイク『日本のサーカス』	〃	1957	〃
23	のぞく女『日本のサーカス』	〃	〃	〃
24	足芸『日本のサーカス』	〃	〃	〃

7. 戦後写真シリーズ 3人のPROVOKE

1998（平成10）年4月28日～5月24日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	来たるべき言葉のために	中平卓馬	1970	ゼラチン・シルヴァー・プリント
2	来たるべき言葉のために	〃	〃	〃
3	来たるべき言葉のために	〃	〃	〃
4	来たるべき言葉のために	〃	〃	〃
5	来たるべき言葉のために	〃	〃	〃
6	来たるべき言葉のために	〃	〃	〃
7	『狩人』	森山大道	1968～71	〃
8	『狩人』	〃	〃	〃
9	『狩人』	〃	〃	〃
10	『狩人』	〃	〃	〃
11	『狩人』	〃	〃	〃
12	『狩人』	〃	〃	〃
13	『にっぽん劇場写真帖』	〃	〃	〃
14	『にっぽん劇場写真帖』	〃	〃	〃
15	「東京人」	高梨豊	1965	〃
16	「東京人」	〃	〃	〃
17	「東京人」	〃	〃	〃
18	「東京人」	〃	〃	〃
19	「東京人」	〃	〃	〃
20	「東京人」	〃	〃	〃
21	「東京人」	〃	〃	〃
22	「東京人」	〃	〃	〃

8. 私写真の情景

1998（平成10）年5月26日～6月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	『洋子』	深瀬昌久	1964～76	ゼラチン・シルヴァー・プリント
2	『洋子』	〃	〃	〃

3	『洋子』	深瀬昌久	1964～76	ゼラチン・シルバー・プリント
4	『洋子』	〃	〃	〃
5	『洋子』	〃	〃	〃
6	『洋子』	〃	〃	〃
7	『洋子』	〃	〃	〃
8	『洋子』	〃	〃	〃
9	『洋子』	〃	〃	〃
10	『洋子』	〃	〃	〃
11	『センチメンタルな旅』	荒木経惟	1971	〃
12	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
13	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
14	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
15	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
16	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
17	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
18	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
19	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃
20	『センチメンタルな旅』	〃	〃	〃

9. コンボラの風

1998（平成10）年6月30日～7月26日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	SELF AND OTHERS	午腸茂雄	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
2	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
3	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
4	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
5	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
6	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
7	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
8	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
9	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
10	SELF AND OTHERS	〃	〃	〃
11	「風姿花伝」	須田一政	1976	〃
12	「風姿花伝」	〃	〃	〃
13	「風姿花伝」	〃	〃	〃
14	「風姿花伝」	〃	〃	〃
15	「風姿花伝」	〃	〃	〃
16	家 1967年7月18日	田村彰英	1967	〃
17	家 1967年10月8日	〃	〃	〃
18	家 1967年10月24日	〃	〃	〃
19	家 1967年7月18日	〃	〃	〃
20	家 1968年2月16日	〃	1968	〃
21	家 1968年7月6日	〃	〃	〃

10. トーマス・シュトルートの写真

1998（平成10）年7月28日～9月27日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	山口市	トーマス・シュトルート	1986	写真・モノクロ
2	山口市	〃	〃	〃
3	山口市	〃	〃	〃
4	山口市	〃	〃	〃
5	山口市	〃	〃	〃
6	新宿（東京）	〃	〃	〃
7	新宿（東京）	〃	〃	〃
8	丸の内（東京）	〃	〃	〃
9	ケルティンゲ通り、ハノーヴァー	〃	1984	〃
10	ヘルダー・ブリュッケン通り、ドルトムント	〃	1986	〃
11	聖ヴィンセント通り、エディンバラ	〃	1985	〃
12	ホーフグラーベン、ミュンヘン	〃	1980	〃
13	アウグスト帝広場、ローマ	〃	1984	〃
14	アウフ・デア・ハート、ポットロブ	〃	1985	〃
15	デュッセルドルフ通り、デュッセルドルフ	〃	1979	〃

11. 周防国分寺の仏像

1998（平成10）年9月29日～12月20日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	盧舎那佛坐像	不詳	高麗時代	銅・金	県指定文化財
2	金剛界四佛坐像	〃	室町時代	木	
3	金剛界四佛坐像	〃	〃	〃	
4	金剛界四佛坐像	〃	〃	〃	
5	金剛界四佛坐像	〃	〃	〃	
6	十二天立像	〃	室町～江戸？	〃	
7	十二天立像	〃	〃	〃	
8	十二天立像	〃	〃	〃	
9	十二天立像	〃	〃	〃	
10	十二天立像	〃	〃	〃	
11	十二天立像	〃	〃	〃	
12	十二天立像	〃	〃	〃	
13	十二天立像	〃	〃	〃	
14	十二天立像	〃	〃	〃	
15	十二天立像	〃	〃	〃	
16	十二天立像	〃	〃	〃	
17	十二天立像	〃	〃	〃	
18	大黒天立像	〃	室町時代	〃	
19	誕生佛	〃	高麗時代	銅・金	特別出品

12. アンセル・アダムズの写真

1998（平成10）年12月22日～1999（平成11）年2月21日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	月の出、ニューメキシコ、エルナンデス	アンセル・アダムズ	1941	ゼラチン・シルバー・プリント
2	ウィリアムスン山、シエラ・ネヴァダ山脈、カリフォルニア、マンザナルより	〃	1945	〃
3	ハーフ・ドーム、マーセド川、冬、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア	〃	c.1938	〃
4	テナヤ湖、コンネス山、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア	〃	c.1946	〃
5	夕方の雲と池、シエラ・ネヴァダ山脈東麓、オーウェンズ溪谷、カリフォルニア	〃	c.1962	〃
6	果樹園、ポートル溪谷、カリフォルニア	〃	c.1940	〃
7	教会と道、ボデガ、カリフォルニア	〃	c.1953	〃
8	秋の嵐、ロス・トランパス、ペニャスコ付近、ニューメキシコ	〃	c.1958	〃
9	古い間欠泉、イエローストーン国立公園、ワイオミング	〃	1942	〃
10	道端、ジュノー付近、アラスカ	〃	1947	〃
11	夜明け、グレート・スモーキー山脈国立公園、テネシー	〃	1948	〃
12	橋より上流のゴールデン・ゲート、サンフランシスコ、カリフォルニア	〃	1932	〃
13	ゴースト・ランチ・ヒルズ、チャマ溪谷、ニューメキシコ北部	〃	1937	〃

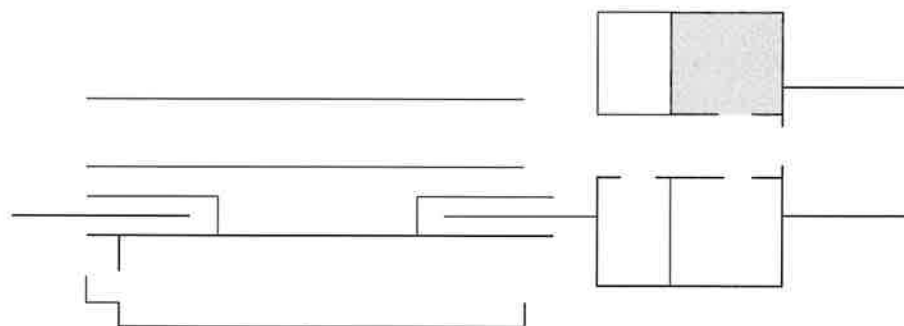
13. ウィン・バロックの写真

1999（平成11）年2月23日～3月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	森の中の子供	ウィン・バロック	1951	ゼラチン・シルバー・プリント
2	流木	〃	〃	〃
3	森の中の女と犬	〃	1953	〃
4	子どもと未知のもの	〃	1955	〃
5	蜘蛛の巣まみれの窓のヌード	〃	〃	〃
6	女の手	〃	1956	〃
7	森の道の子ども	〃	1958	〃
8	テールライト	〃	1968	〃
9	椰子の木	〃	〃	〃
10	小石の浜	〃	1970	〃
11	ロボス岬の潮溜まり	〃	1672	〃
12	ロボス岬の岩	〃	〃	〃

郷土工芸室



1. 植木茂展

1997（平成9）年4月29日～7月27日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	作品	植木茂	不詳	鉄
2	作品	〃	1970年代	鉄
3	作品	〃	1968	ブロンズ
4	トルソ	〃	1947	木（タモ）
5	トルソ	〃	1940年代	木
6	ボッカ	〃	1943	木（チーク）
7	トルソ	〃	1947	木（シオジ）
8	体	〃	1978	木（チーク）
9	トルソ	〃	不詳	木
10	トルソ	〃	〃	木（シオジ）
11	トルソ	〃	〃	木
12	兔小屋の住人	〃	1978より前	木（ケヤキ）
13	トルソ	〃	1980	木（ケヤキ）
14	トルソ	〃	1981	木（ケヤキ）
15	トルソ	〃	1983	木（ケヤキ）

2. 古萩展

1997（平成9）年7月29日～11月9日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	萩馬上杯形茶碗	不詳	江戸前期	陶器
2	萩花文割俵形鉢	〃	〃	〃
3	萩桧垣文筆線洗形割高台茶碗	〃	〃	〃
4	萩茶碗	〃	〃	〃
5	萩茶碗	〃	江戸中期	〃
6	萩飛獅子置物	〃	江戸後期	〃
7	萩茶碗	〃	江戸前期	〃
8	萩茶碗	〃	江戸中期	〃

9	萩茶碗	不詳	江戸時代	陶器
10	萩鉄拐仙人置物	〃	〃	〃
11	古萩割高台茶碗	〃	〃	〃
12	萩牡丹唐草文手洗	〃	1824 (文政7)	〃
13	萩茶碗	〃	江戸時代	〃
14	萩飛獅子置物	〃	江戸後期	〃
15	萩井戸形茶碗	〃	江戸中期	〃
16	萩割俵形茶碗	〃	江戸前期	〃

3. 現代の萩焼

1997 (平成9) 年11月11日～1998 (平成10) 年2月15日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	萩筆洗切茶碗	三輪休和	1975	陶器
2	萩茶碗	三輪休雪(11代)	1978	〃
3	萩茶碗	坂高麗左衛門(11代)	1975	〃
4	萩茶碗	坂倉新兵衛(12代)	不詳	〃
5	萩御本手茶碗	坂倉新兵衛(14代)	1974	〃
6	萩小井戸茶碗	坂田泥華(13代)	1979	〃
7	萩水指	田原陶兵衛(12代)	1978	〃
8	白釉壺 (花器)	吉賀大眉	1962	〃
9	萩伊羅保茶碗	野坂康起	1992	〃
10	萩炎箔文陶笛	大和保男	1979	〃
11	金線文角皿	加藤重美	1986	〃
12	鉢「早春」	三輪龍作	1981	〃
13	黒陶窯変壺	後迫奉文	〃	〃
14	萩白釉窯変壺	岡田裕	1988	〃
15	萩菊花文食蘆籠	坂倉新兵衛(15代)	1993	〃
16	萩剥離窯変花器	坂田慶造	1990	〃
17	萩灰被陶笛	新庄貞嗣	1988	〃
18	白萩鉄土線文壺	兼田昌尚	1985	〃

4. 現代の陶芸

1998 (平成10) 年2月17日～4月26日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	証言	鯉江良二	1973	陶
2	砂の聖書	荒木高子	1980	〃
3	コピー' 82	三島喜美代	1982	〃
4	Appearance・Substance	星野暁	1982	〃
5	LOVE (ハイヒール)	三輪龍作	1980	〃
6	モナリザ	佐藤敏	1976	土 (黒陶)
7	プレート	P. ヴォーコス	1982	土
8	スタック	〃	〃	〃
9	世紀末の風景	中村康平	1985	〃

5. 三輪龍作・柔らかい海展

1998（平成10）年4月28日～6月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	柔らかい海	三輪龍作	1997	陶
2	柔らかい海	〃	〃	〃
3	柔らかい海	〃	〃	〃
4	柔らかい海	〃	〃	〃
5	柔らかい海	〃	〃	〃
6	柔らかい海	〃	〃	〃
7	柔らかい海	〃	〃	〃
8	柔らかい海	〃	〃	〃

6. 古萩展

1998（平成10）年6月30日～9月27日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	萩花文割俵形鉢	不詳	江戸前期	陶器
2	萩桧垣文筆洗形割高台茶碗	〃	〃	〃
3	上野割山椒向付	〃	〃	〃
4	萩茶碗	〃	江戸前期～中期	〃
5	萩馬上杯形茶碗	〃	〃	〃
6	萩茶碗	〃	江戸中期	〃
7	萩牡丹唐草文手洗	〃	1824	〃
8	萩飛獅子置物	〃	江戸後期	〃
9	萩茶碗	〃	江戸前期	〃
10	萩茶碗	〃	江戸中期	〃
11	萩茶碗	〃	江戸時代	〃
12	萩鉄拐仙人置物	〃	〃	〃

7. 現代の萩焼

1998（平成10）年9月29日～12月20日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	萩伊羅保茶碗	野坂康起	1992	陶器
2	萩粉引箔彩六面花器	大和努	1993	〃
3	萩菊花文食籠	坂倉新兵衛(15代)	〃	〃
4	萩炎箔文陶管	大和保男	1979	〃
5	粉華金線文陶管	加藤重美	1986	〃
6	萩三島白釉鉢	三輪休和	c1962	〃
7	萩耳付水指	〃	1971	〃
8	萩角水指	三輪休雪(11代)	不詳	〃
9	萩茶碗	〃	1981	〃
8	金銀線文皿	加藤重美	1993	〃
9	萩灰被陶管	新庄貞嗣	1988	〃

10	白萩鉄土線文壺	兼田昌尚	1985	陶器
11	白釉窯変壺	岡田裕	1981	〃
12	萩茶碗	坂高麗左衛門(11代)	1980	〃
13	萩ちりめん釉花入	〃	1979	〃
14	象嵌花瓶	吉賀大眉	1943	〃
15	萩水指	坂倉新兵衛(12代)	不詳	〃
16	萩茶入	坂倉新兵衛(14代)	1974	〃
17	萩水指	坂田泥華(13代)	1978	〃
18	萩割高台茶碗	田原陶兵衛(12代)	1979	〃

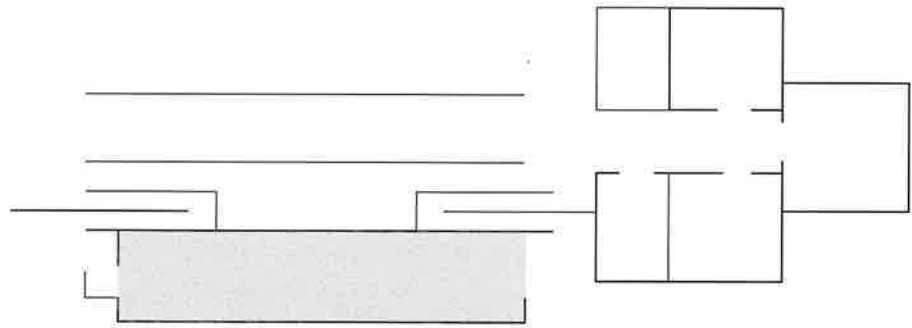
8. 植木茂展

1998（平成10）年12月22日～1999（平成11）年3月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	トルソ	植木茂	不詳	木
2	トルソ	〃	〃	〃
3	トルソ	〃	〃	〃
4	トルソ	〃	〃	〃
5	ボッカ	〃	〃	〃
6	トルソ	〃	〃	〃
7	体	〃	〃	〃
8	トルソ	〃	〃	〃
9	トルソ	〃	〃	〃
10	仏頭	〃	〃	〃
11	兎小屋の住人	〃	〃	〃
12	トルソ	〃	〃	〃
13	作品	〃	〃	〃
14	作品	〃	〃	〃
15	トルソ	〃	〃	〃
16	トルソ	〃	〃	〃

常設展示室(Ⅱ)



1-1. 風景—切りとられた自然—展

1997（平成9）年10月6日～12月14日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	冬の日の出、シエラ・ネヴァダ山脈、カリフォルニア、ローン・パインより	アンセル・アダムズ	1944	ゼラチン・シルバー・プリント
2	冬の嵐の晴れ間、ヨセミテ国立公園、カリフォルニア	〃	〃	〃
3	Seeing 90-1	小本章	1990	カラー写真
4	萩市	トマス・シュトルート	1986	写真・モノクロ
5	山口市	〃	1986	写真・モノクロ
6	新宿（東京）	〃	〃	写真・モノクロ
7	新宿（東京）	〃	〃	写真・モノクロ
8	山嶺	岩崎鐸	1938	紙本彩色・額
9	風景	香月泰男	1936	油彩・画布
10	星空の富士	長谷川三郎	1934	〃
11	新雪の来る前	三浦俊輔	不祥	〃
12	英彦山中の秋	小林和作	1950年代末	〃
13	踏切	山本文彦	1971	〃
14	A STREET SCENE NO.7	吉村芳生	1978	紙・コンテ・額

1-2. 山水画—雪舟と雲谷派展

1997（平成9）年10月6日～12月14日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	山水図巻（山水小巻）	雪舟等楊	1474	紙本墨画・画卷	重要文化財
2	牧牛図（牧童）	〃	15世紀	紙本彩色・軸	重要文化財
3	澆墨山水図	雪舟落款	16世紀	紙本墨画・軸	
4	樹下高士山水図	雲谷等益	17世紀	紙本淡彩・軸	
5	雪景山水図	雲谷等爾	〃	紙本墨画・軸	
6	瀟湘八景図	雲谷等益	〃	紙本墨画淡彩金泥・屏風6曲1双	
7	楼閣山水図	雲谷等顔	16世紀	紙本墨画淡彩・屏風6曲1双	
8	山水図	雲谷等璠	1675～1724	紙本墨画・屏風6曲1双	
9	西湖図	雲谷等竺	18世紀	紙本墨画金砂子・屏風6曲1隻	
10	楼閣山水図	雲谷等益	17世紀	紙本墨画淡彩金砂子・屏風6曲1双	
11	牧牛図（渡河）	雪舟等楊	15世紀	紙本彩色・軸	重要文化財
12	澆墨山水図	雪舟落款	16世紀	紙本墨画・軸	

13	瀟湘八景図	雲谷等顔	16～17世紀	紙本墨画・画卷
14	楼閣山水図	雲谷等益	17世紀	紙本墨画淡彩・軸
15	雲谷等哲	破墨山水図	〃	紙本墨画・軸
16	山水図	雲谷等龍	19世紀	紙本墨画・軸
17	雲谷派（雪舟落款）	山水図	17世紀	紙本墨画淡彩・屏風6曲1双
18	雲谷等与	山水図	〃	紙本墨画・屏風6曲1隻

2. 香月泰男—シベリア・シリーズと画稿

1997（平成9）年12月16日～1998（平成10）年2月15日 ※特別展25ページにおなじ

（2月17日から5月25日まで特別展使用のため休室）

3. 森寛齋と森派の画家達

1998（平成10）年5月26日～7月26日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	芥川図	森寛齋	不詳	絹本着色・掛幅装
2	葡萄とりす	〃	1882	紙本墨画・掛幅装
3	松林瀑布山水図	〃	1868	絹本墨画・掛幅装
4	源義家像	〃	1885	紙本着色・掛幅装
5	手長猿図	森狙仙	1807～1821	絹本着色・掛幅装
6	雪景山水図	森徹山	1839	〃
7	水呑虎	〃	江戸末期	絹本墨画淡彩・掛幅装
8	月下狸図	〃	〃	〃
9	熊図	森一鳳	19世紀中期	〃
10	菘羊の図	森寛齋	明治初期	絹本墨画淡彩・掛幅装
11	松鶴図	〃	1873	紙本着色金砂子・6曲屏風1双
12	京人形図	〃	1885	絹本着色・掛幅装
13	猿侯図	森周鳳	不詳	紙本着色・2曲屏風1隻
14	紅葉に牧童	森一鳳	〃	絹本墨画淡彩・掛幅装
15	花鳥写生図巻	森寛齋	〃	絹本墨画淡彩・卷子装
16	難福図巻写	〃	〃	紙本・卷子装
17	風景写生	〃	〃	紙本・卷子装
18	山水図	三宅西浦	1847	紙本墨画・卷子装
19	森寛齋像	森雄山	不詳	絹本着色・掛幅装
20	巖山鷺図	森寛齋	〃	紙本金地着色・6曲屏風1隻

（7月27日～10月15日は特別展使用のため休室）

4. ナン・ゴールドフィン展 ※普及教育事業71ページにおなじ

1998（平成10）年10月16日～11月29日

5. ベアト・ストロイリ展 ※特別展36ページにおなじ

1998（平成10）年12月4日～1999（平成11）年1月17日

6-1. 新収蔵の現代美術展

1999（平成11）年1月26日～3月28日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状
1	残像	ウーライ	1996	カラー写真
2	残像	〃	〃	〃
3	残像	〃	〃	〃
4	LIMEWORKS	畠山直哉	1993	カラープリント・ラミネート加工・アルミ裏打ち・額
5	LIMEWORKS	〃	〃	カラープリント・ラミネート加工・アルミ裏打ち・額
6	LIMEWORKS	〃	〃	カラープリント・ラミネート加工・アルミ裏打ち・額
7	主義と利益はしばしば衝突する	荒瀬景敏	1985	アクリル・画布
8	（タイトルなし）	長谷川繁	1994	油彩・画布
9	パンチュール	井川惺亮	1978	アクリル・布
10	TheFourDoors# 2	マコト・フジムラ	1994	麻紙・箔・彩色・パネル4面
11	量子芸術公案一	松澤宥	〃	シルクスクリーン・紙
12	第一次ハガキ絵画通信	〃	1967～68	紙

6-2. 雲谷派の絵画展

1999（平成11）年1月26日～2月21日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	山水図襖4面	雲谷等益	17世紀	紙本着色・襖4面	
2	琴棋書画図屏風	〃	〃	紙本着色・屏風6曲1双	
3	懶瓊煨芋図	雲谷等顔	17世紀初期	紙本墨画・軸	
4	群馬図屏風	雲谷等顔	17世紀初期	紙本墨画淡彩・屏風6曲	
5	枯木にかわせみ図	雲谷等顔	17世紀初期	紙本墨画・軸	
6	蜷子和尚図	雲谷等顔	17世紀初期	紙本墨画・軸	
7	破墨山水図	雲谷等益	17世紀	紙本墨画・軸	寄託品
8	楼閣山水図屏風	雲谷等顔	17世紀初期	紙本墨画淡彩	寄託品

6-3. 松林桂月展

1999（平成11）年2月23日～3月14日

出品作品

番号	作品	作者	制作年	材質・形状	備考
1	桃花双鶏図	松林桂月	1895	絹本彩色・軸	寄託品
2	仙怒濤健鷗図	〃	1897	〃	寄託品
3	秋塘真趣図	〃	1907	〃	寄託品
4	峡聴泉図	〃	1929	紙本墨画・軸	
5	愛吾廬	〃	1936	絹本彩色・軸	
6	長門峡図	〃	1951	紙本墨画・軸	寄託品
7	雨後図	〃	1955	〃	寄託品
8	竹林幽趣図	〃	1956	〃	寄託品
9	夜雨図	〃	1962	絹本墨画・額	寄託品

事業

II. 普及教育事業

(1) 山口県美術展覧会

第51回山口県美術展覧会

会期 平成9年9月11日(木)～9月28日(日)
月曜休館 ただし15日開館、16日休館
会場 企画展示室 (I)・(II)、常設展示室(II)

○運営委員 (50音順)

- 荒瀬景敏 (美術作家)
- 木本信昭 (下関市教育委員会)
- 武田雅行 (美術作家・山口芸術短期大学)
- 外山紀久子 (山口大学)
- 原田文明 (美術作家)
- 福田隆真 (山口大学)
- 前田哲男 (山口県立大学)
- 水谷由美子 (山口県立大学)
- 三輪和彦 (美術作家)
- 森川紘一郎 (徳山市立美術博物館)
- 吉光純也 (美術作家・山口大学)
- 貞弘 勉 (山口県教育委員会)
- 竹下隆信 (山口県)

(I) 公募部門

1) 審査員 (50音順)

- 石川九楊 (書家・評論家・東京学芸大学講師)
- 倉林 靖 (美術評論家)
- 建畠 哲 (美術評論家・多摩美術大学教授)

2) 実績

応募総点数 400点
展示点数 104点 (昨年度大賞作家による招待制作1点を含む)

3) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞点数合計	展示率(%)	入選・入賞者数
400	83	20	103	26.0	95
(658)	(50)	(31)	(81)	(12.3)	(71)

()内の数は前年度数

4) 受賞者

〈準大賞〉

(変容～移行～寓話) ダスト・プロジェクトのために 松尾宗慶 (山口市)

〈優秀賞〉（審査員特別賞）

2033. 老人病棟でみる夢は…
事物の重い光線は言葉のまわりに照らされる
タイヤの逆襲

井岡義朋 (小郡町)
中野 実 (阿東町)
山口聖範 (山口市)

〈優秀賞〉

飛行機雲
K 1

岡 茂太 (宇部市)
清水香代子 (光市)

〈佳作賞〉

制約されたストロークによる平面性の考察
警告
無題'97- 1
カフェ
Safe Torturing Series- 4 FUCKING UMBRELLA
胎動
家族の肖像
刻Ⅱ
村芝居Ⅰ
詩人の魂
回想錯誤4
WOTK・壁A
古の記憶
雲の旅

秋貞 勇 (山口市)
宇都宮裕士 (下松市)
金子 司 (萩市)
渋谷慎治 (益田市)
白川美幸 (山口市)
田中繁光 (防府市)
田中ミノル (光市)
田中凱子 (山口市)
俵 康恵 (岩国市)
中村秀夫 (山口市)
花田博通 (下関市)
原田文明 (岩国市)
広瀬臣司 (下関市)
松本昌子 (周東町)

5) 昨年度準大賞受賞者招待出品

山根秀信

●今回の出品作品

「無題」

6) 公開審査参加者

第1日目 40名

第2日目 12名

(Ⅱ)ワークショップ部門

●「みる」ことの多様なあり方をさまざまなプログラムを通じて体験してもらうことを通じて、作品をただ受動的に鑑賞するだけでなく、「見ること」もまた美術における重要な表現方法のひとつであるという意識の育成を目的とする。

●作品に接するときのひとつの方法として美術史学という分野がある。今年度のワークショップでは、若手美術史家を招いて、スライド・インスタレーション、ワークシート、レクチャーなど等の複合プログラムを通して、美術史家と美術作品との関わり方に具体的にふれてもらい、美術鑑賞そのものの創造性を体験できる場を設けた。

今回のテーマ 美術史家によるワークショップ

「日本近代美術のまるいかたち」

講師 河田明久（埼玉県立近代美術館学芸員・美術史家）
会場 美術館講座室
日時 9月13日（土）・14日（日）・20日（土）・27日（土）・28日（日）

（Ⅲ）ボランティア部門

1) 今年度ボランティア（50音順）

上坂美礼 表絵美子 表純子 笠岡伯子 斎藤佐和子 柴田美津子 下笠順子 辻憲行
長野美穂 西口範子 松下亜希子 三好郁子 以上12名

2) 関連事業

- パンフレットの作成
- ワークシートの作成
- 「こどもミュージアム・ツアー」（ボランティア自主企画）
会場 美術館講座室
日時 9月14日（日）・23日（火）・27日（土）
10：00～11：00
対象 小学生～中学生

第52回山口県美術展覧会

会期 平成10年9月17日(木)～10月4日(日)

月曜休館

会場 企画展示室Ⅰ・Ⅱ、常設展示室Ⅱ

○運営委員 (50音順)

- 荒瀬景敏 (美術作家)
木本信昭 (下関市教育委員会)
武田雅行 (美術作家・山口芸術短期大学)
外山紀久子 (山口大学)
原田文明 (美術作家)
福田隆眞 (山口大学)
前田哲男 (山口県立大学)
水谷由美子 (山口県立大学)
三輪和彦 (美術作家)
森川紘一郎 (徳山市立美術博物館)
吉光純也 (美術作家・山口大学)
貞弘 勉 (山口県教育委員会)
竹下隆信 (山口県)

(Ⅰ)公募部門

1) 審査員 (50音順)

- 石川九楊 (書家・評論家・東京学芸大学講師)
建島 哲 (美術評論家・多摩美術大学教授)
西村智弘 (美術評論家)

2) 実績

- 応募総点数 457点
展示点数 115点 (昨年度大賞作家による招待制作1点を含む)

3) 審査結果

出品点数	入選点数	入賞点数	入選・入賞点数合計	展示率(%)	入選・入賞者数
457	92	22	114	24.9	103
(400)	(83)	(20)	(103)	(26.0)	(95)

()内の数は前年度数

4) 受賞者

<大賞>

SADA'S DIARY

綿谷清志 (下関市)

<優秀>

(e)

Out of Eden III

江藤千代子 (光市)

武林正治 (山口市)

紅海
凋落の捕餌
小径計画

長谷川貴志 (山口市)
花田博通 (下関市)
山根 秀信 (山口市)

〈佳作〉

良寛の歌
最後の休暇の最後の日
ノモアウオー
原風景
清尾の楽園
ステージ「天狼」より
Hou、1 (呆)
径
点象
冬夜
ジョバンニの夢 (銀河鉄道の夜より)
鼓動 I
宇宙回帰
記憶『場』
往来
wood cut H 9 - 23

穴水千枝美 (岩国市)
石井みつこ (岡山県倉敷市)
泉 三郎 (宇部市)
漆間 朋道 (豊田町)
國光 俊夫 (熊毛町)
國吉 道雄 (宇部市)
清水香代子 (光市)
田中ミノル (光市)
田辺 凱子 (山口市)
中尾 勝典 (菊川町)
難波 章人 (山口市)
正田 明子 (宇部市)
松本 昌子 (周東町)
ミヨシイチロウ (岩国市)
向 輝司 (宇部市)
山下 哲郎 (福岡県福岡市)

5) 昨年度準大賞受賞者招待出品

松尾宗慶

●今回の出品作品

「THE FIRE PROJECT」

6) 公開審査参加者

第1日目 34名

第2日目 14名

(II) ワークショップ部門

●「みる」ことの多様なあり方をさまざまなプログラムを通じて体験してもらうことを通じて、作品をただ受動的に鑑賞するだけでなく、「見ること」もまた美術における重要な表現方法のひとつであるという意識の育成を目的とする。

●作品に接するときのひとつの方法として美術史学という分野がある。今年度のワークショップでは、若手美術史家を招いて、スライド・インスタレーション、ワークシート、レクチャーなど等の複合プログラムを通して、美術史家と美術作品との関わり方に具体的にふれてもらい、美術鑑賞そのものの創造性を体験できる場を設けた。

今回のテーマ 写真家によるワークショップ

「闇の音」

講師 野村佐紀子 (写真家)

会場 展覧会会場内特設展示室

日時

常時

(Ⅲ)ボランティア部門

1) 今年度ボランティア参加者 (50音順)

井町紘子 上坂美礼 岡村咲子 表絵美子 笠井太陽 笠岡伯子 庄野充明 杉本加奈
高山尚子 瀧石菊乃 土井美智子 長野美穂 橋口仁 林谷奈緒美 藤田康子 前田恵理子
馬越貴子 山内匡一朗 渡部里奈 以上19名

2) 関連事業

○パンフレットの作成

○ワークシートの作成

○「県美展ミュージアム・ツアー」(ボランティア自主企画)

—私たちが住んでいる山口県ではどんな美術が生まれているのかな?—

会場 展覧会会場

日時 9月20日(日)・23日(水・祝)・26日(土)

14:00~15:00

参加者 30名

(2) 現代美術展

ナン・ゴールドイン展

1998(平成10)年10月16日～11月29日

主催 秋吉台国際芸術村、山口県立美術館

会場 常設展示室Ⅱ



(1) 趣旨

ナン・ゴールドイン(1953年、ワシントンD. C. 生まれ)は、1986年に発表された最初の写真集《性的依存のバラード》によって、一躍脚光を浴びることとなった写真家である。あたかも日記を綴るかのように、友人たちとともに繰り広げられる自らの生をありのままに記録した彼女の写真は、そこにやきつけられた若者たちの喧騒と危険に満ちた刺激的イメージによってスカンダラスに受け止められると同時に、わたしたちが今生きているこの時代を鮮やかに照射するダイレクトな写真表現として、また写真家と現実との関係をあらたな位相から問い直し写真表現の可能性を広げたものとして高く評価された。

後に続く写真家たちにも圧倒的な影響を与え、1990年代を代表する芸術家の一人として位置付けられることとなった彼女の、プライベート・ドキュメンタリーとでもいうべき独自の手法は、彼女が写真を撮り始めた頃から一貫して変わらないものである。

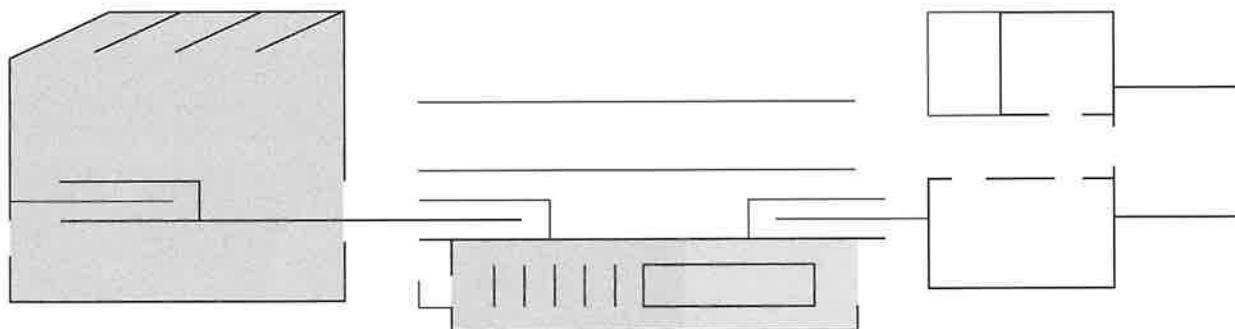
14才で家出をしドラッグ・クィーン(女装する同性愛者)たちと暮らし始めたナン・ゴールドインにとって、そもそも写真とは、なにものにも拘束されることのない自分たちの生活の一部始終をうそいつわりなく記録するためのかけがえのないメディアであったし、ボストン美術館学校で写真そのものを勉強し、やがて1978年にニューヨークへ移り住んで後も、同性愛者あるいは異性や同性の恋人や友人たち、つまりは、彼女自身が「拡大家族」と呼ぶような身近な人々との共同生活を日々撮りつづけた。このようにして刻みつづけられた写真日記、つまり、家族という制度、そして男と女という性別の枠組みを越えたプライベートな日常からありのままに切り取られたイメージの数々こそが、現代社会の中で揺れ動いているわたしたちの「性」や「家族」のあり方をあらわにし、私たちに鮮烈なイメージを残したのである。

最初の写真集から10余年を経たいま、彼女の作品は次第に静けさを増してきた。特に、エイズによってかけがえのない「家族」の一員である友人たちが次々に命を落としていく姿を記録した一連の写真に特徴的に見られるように、初期の喧騒とはうってかわった哀切を帯びたトーンは、失われていくものへの悲しみが静謐のうちに現れている。

このたびの展覧会は、1996年にホイットニー美術館から始まり、ヨーロッパの数都市を巡回した大規模回顧展《アイ・ル・ビー・ユア・ミラー》約300点の中から抜粋されたプリント作品75点とそれ以降の新作9点、そして夜の東京にうごめく若者たちを題材にしたスライド・ショー《トーキョー・ラブ》から構成されたものである。初期のボストン時代の作品から《性的依存のバラード》

を経て、次第に静謐さを増してきた現在に至るまでの彼女の足跡を見わたすことのできる日本では初めての回顧展である。

(2) 会場構成



(3) カタログ

編集 河野通孝 (山口県立美術館)

内容 あいさつ

謝辞

図版

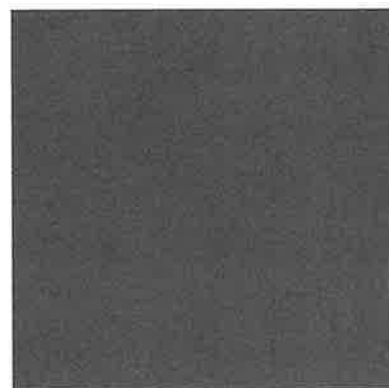
ア・ショート・ダイアリー1978-1998 河野通孝 (山口県立美術館)

作品リスト

略歴

謝辞 (ナン・ゴールドイン)

●210×210mm 128ページ



(4) 出品作品

番号	作品名	制作年	技法	寸法 (cm)
1	ナン、ミルトル街にて、ボストン (デイヴィッド・アームストロング作)、1972	1972	ゼラチン・シルヴァー・プリント	34×22.4
2	デイヴィッド、グローヴ街にて、ボストン、1972	1972	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
3	ジ・アザー・サイドのクリスマス、ボストン、1972	1972	ゼラチン・シルヴァー・プリント	40.6×50.8
4	アイヴィー、ボストン・ガーデンにて、ボストン、1973	1973	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
5	フォールをつけるアイヴィー、ボストン、1972	1973	ゼラチン・シルヴァー・プリント	32.3×22
6	クリスタルと行きずりのおとこ、ボストン、1973	1973	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
7	マルレーヌとコレットとナオミ、路上、ボストン、1973	1973	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
8	ナオミ、ヤシの木の下で、ボストン、1973	1973	ゼラチン・シルヴァー・プリント	26.5×18.2
9	ティー・カップを持つルームメイト、ボストン、1973	1973	ゼラチン・シルヴァー・プリント	50.8×40.6
10	ルームメイトとその妹、ボストン、1973	1973	ゼラチン・シルヴァー・プリント	27.5×19.5
11	遊歩道でのピクニック、ボストン、1973	1973	チバクローム・プリント	40.6×50.8
12	眉毛を脱色するブルース、プレゼント街、ケンブリッジ、1975	1975	チバクローム・プリント	61×50.8
13	砂浜のC.Z. とマックス、トゥルロ、マサチューセッツ、1976	1976	チバクローム・プリント	61×50.8
14	プールサイドのデイヴィッド、ザ・バック・ルームにて、プロヴィンスタウン、1976	1976	チバクローム・プリント	61×50.8
15	浴槽につかるライアン、プロヴィンスタウン、1976	1976	C-プリント	50.8×50.8
16	SM女王に扮したナン、ボストン、1978	1978	チバクローム・プリント	61×50.8
17	ボストン/ボストンのロビンとケニー、ボストン、1978	1978	C-プリント	50.8×61
18	海辺のアンソニー、ブライトン、イギリス、1979	1979	チバクローム・プリント	101.6×76.2
19	ケニーとその部屋、ニューヨーク、1979	1979	チバクローム・プリント	50.8×61
20	折り畳みベッドに座るトリクシー、ニューヨーク、1979	1979	チバクローム・プリント	76.2×101.6
21	ナポレオンに扮したルームメイト、大晦日、ニューヨーク、1980	1980	チバクローム・プリント	76.2×101.6
22	ポートレート、青い浴室にて、ロンドン、1980	1980	チバクローム・プリント	76.2×101.6
23	車のなかのブルース、ニューヨーク、1981	1981	チバクローム・プリント	50.8×61
24	シャワーを浴びるスザンヌ、パレンク、メキシコ、1981	1981	チバクローム・プリント	61×50.8
25	スザンヌとモナリザ、メキシコ、1981	1981	チバクローム・プリント	50.8×61
26	トイレに座るブライアン、ニューヨーク、1983	1983	チバクローム・プリント	61×50.8

27	カバーナで横たわるブライアン、プエルト・ファレス、メキシコ、1982	1982	チバクローム・プリント	50.8×61
28	ベッドのなかのグリアとロバート、ニューヨーク、1982	1982	チバクローム・プリント	76.2×101.6
29	バスタブに浸かるグリア、ニューヨーク、1983	1983	チバクローム・プリント	76.2×101.6
30	ブライアンと抱き合っているセルフ・ポートレート、ニューヨーク、1983	1983	チバクローム・プリント	50.8×61
31	ナンとブライアン、ベッドにて、ニューヨーク、1983	1983	チバクローム・プリント	76.2×101.
32	殴られた1ヶ月後のナン、1984	1984	チバクローム・プリント	76.2×101.6
33	泣いているスザンヌ、ニューヨーク、1985	1985	チバクローム・プリント	50.8×61
34	両親の結婚写真、スワンプスコット、1985		C-プリント	76.2×101.6
35	パトリックとテリ、結婚式之夜、ニューヨーク、1987	1987	チバクローム・プリント	101.6×76.2
36	接吻するリセとモンティー、ニューヨーク、1988	1988	チバクローム・プリント	76.2×101.6
37	壁の落書き、自室にて、パワリー、ニューヨーク、1988	1988	チバクローム・プリント	76.2×101.6
38	私のベッド・ルーム、収容施設にて、ベルモント	1988	チバクローム・プリント	50.8×61
39	日記をつけるセルフ・ポートレート、ボストン、1989	1989	チバクローム・プリント	76.2×101.6
40	内省的な目をしたセルフ・ポートレート、ボストン、1989	1989	チバクローム・プリント	76.2×101.6
41	木立の小道、病院にて、ベルモント、マサチューセッツ、1989	1989	チバクローム・プリント	50.8×61
42	ショパンと抱き合うセルフ・ポートレート、ベッドにて、ニューヨーク、1990	1990	チバクローム・プリント	76.2×101.6
43	ショパン、A-ハウスにて：プロヴァINSTAUN、マサチューセッツ、1990	1990	チバクローム・プリント	61×50.8
44	デイヴィッド・ボイナロヴィッツ、自宅にて、ニューヨーク、1990	1990	チバクローム・プリント	76.2×101.6
45	ジミー・ポーレットとタブー、浴室にて、ニューヨーク、1991	1991	チバクローム・プリント	76.2×101.6
46	デイヴィッドの自転車に乗るジミー・ポーレット、ニューヨーク、1991	1991	チバクローム・プリント	76.2×101.6
47	ジョーイ、ラブ・ボールにて、ニューヨーク、1991	1991	チバクローム・プリント	76.2×101.6
48	デイヴィッド、パワリーにて、ニューヨーク、1991	1991	チバクローム・プリント	76.2×101.6
49	ハーフェン・バー、ベルリン、1991	1991	チバクローム・プリント	76.2×101.6
50	シャワーを浴びるショパン、ニューヨーク、1991	1991	チバクローム・プリント	101.6×76.2
51	バーにて、トゥーンとCとソー、バンコク、1992	1992	チバクローム・プリント	76.2×101.6
52	化粧するC、セコンド・ティップにて、バンコク、1992	1992	チバクローム・プリント	76.2×101.6
53	ベッドに横たわるデイヴィッド、ライブツィヒ、ドイツ、1992	1992	チバクローム・プリント	76.2×101.6
54	セルフ・ポートレート、車上にて、ドイツ、1992	1992	チバクローム・プリント	76.2×101.6
55	ジルとゴッチョ、自宅にて、パリ、1992	1992	チバクローム・プリント	76.2×101.6
56	抱擁するジルとゴッチョ、パリ、1992	1992	チバクローム・プリント	76.2×101.6
57	ジルの腕、パリ、1993	1993	チバクローム・プリント	76.2×101.6
58	ゴッチョ、映画館にて、パリ、1993	1993	チバクローム・プリント	76.2×101.6
59	ジルに接吻するゴッチョ、パリ、1993	1993	チバクローム・プリント	76.2×101.6
60	サウナ浴場のアマンダ、ホテル・サヴォイにて、ベルリン、1993	1993	チバクローム・プリント	76.2×101.6
61	うつろな風景、車上から、スイス、1993	1993	チバクローム・プリント	76.2×101.6
62	湖のなかのジェノ、ババリア、1994	1994	チバクローム・プリント	76.2×101.6
63	桜吹雪の中の本田兄弟、東京、1994	1994	チバクローム・プリント	101.6×101.6
64	たばこを吸うショパン、ベルリン、1994	1994	チバクローム・プリント	76.2×101.6
65	川辺の木立、ミュンヘン、1994	1994	チバクローム・プリント	76.2×101.6
66	緑青の海、ミュコノス、ギリシア、1995	1995	チバクローム・プリント	76.2×101.6
67	スモークのなかのブルース、ソルファタラ、ポッツォーリ、イタリア、1995	1995	チバクローム・プリント	76.2×101.6
68	ブルースとブルーノ、ナポリ、1995	1995	チバクローム・プリント	101.6×76.2
69	キャスリーン、パワリー・バーにて、ニューヨーク、1995	1995	チバクローム・プリント	76.2×101.6
70	ベッドに横たわるレベッカ、ヒュドラ、ギリシア、1995	1995	チバクローム・プリント	76.2×101.6
71	川のなかのシャロン、イーグルス・メアー、1995	1995	チバクローム・プリント	76.2×101.6
72	ブルース、パワリーにて、ニューヨーク、1996	1996	チバクローム・プリント	76.2×76.2
73	笑うリル、スワンプスコット、マサチューセッツ、1996	1996	チバクローム・プリント	76.2×101.6
74	夜明けのストロンボリ山、イタリア、1996	1996	チバクローム・プリント	101.6×76.2
75	セルフ・ポートレート、湖畔にて、スコウガン、メーン、1996	1996	チバクローム・プリント	76.2×76.2
76	パウエルの背中、イースト・ハンプトン、1996	1996	チバクローム・プリント	76.2×101.6
77	浜辺で笑うパウエル、ポスチアーノ、イタリア、1996	1996	チバクローム・プリント	76.2×101.6
78	ベッド上の朝食、ホテル・トレ・ディ・ベロツィガルド、フィレンツェ、1996	1996	チバクローム・プリント	76.2×101.6
79	デイヴィッド、私のベッドにて、ヴォルプスブルク、ドイツ、1997	1997	チバクローム・プリント	101.6×76.2

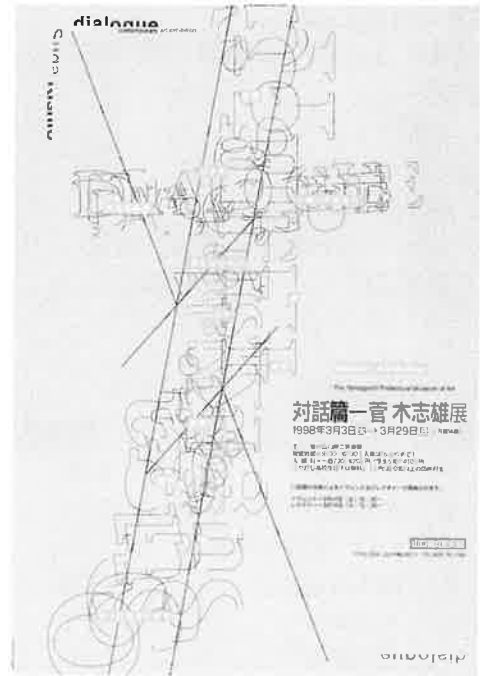
80	ジジ、青い洞窟にて、カプリ、イタリア、1997	1997	チバクローム・プリント	76.2×101.6
81	柿をもつパウエル、ニューヨーク、1997	1997	チバクローム・プリント	101.6×76.2
82	雪の中のシモン、クリスマスの夜明け、ウーメオ、1997	1997	チバクローム・プリント	101.6×76.2
83	セルフ・ポートレート、ホテル・ボロラックにて、チューリッヒ、1998	1998	チバクローム・プリント	76.2×101.6
84	トーキョー・ラヴ	1997	スライド・ショー	

対話編—菅木志雄展

1998(平成10)年3月3日～3月29日

主催 山口県立美術館

会場 企画展示室Ⅰ・Ⅱ、常設展示室Ⅱほか



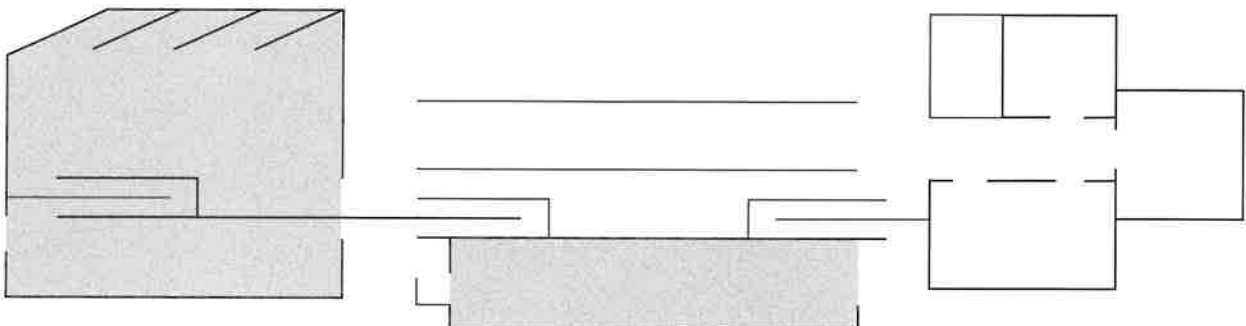
(1) 趣旨

多摩美術大学で斎藤義重教室に学んだ菅木志雄(1944～)は、在学中の67年、シェル美術賞展で第1席に入選し、68年に大学卒業、69年に『美術手帖』創刊20周年300号記念「芸術評論」募集に桂川青の筆名で「転移空間〈未来のノートから〉」を応募し佳作入選を果たし、以後、個展、グループ展に多くの作品を発表しつつ、70年代の美術をリードしてきた作家である。当時、「もの派」と呼ばれる一群の作家たちが登場し、自然や人工の物質をほとんど加工せずに提示することで事物の根源的な姿を明らかにすることをめざしたが、菅木志雄はその「もの派」の基本的な態度と方法をほぼ現在にまで持続させている。

今回の展覧会は、ときに難解といわれてきた菅木志雄の作品を丁寧に見ていくことができる〈場〉となるよう企画され、できうるかぎりひとつずつ作品が鑑賞者の目に入るような展示プランが練られた。また、作家の〈声〉を多く提示するというコンセプトのもとに、作家と企画者との手紙のやりとりも展覧会場で公開された。展示の仕方、作品の素材の選び方、作品が設置される場の問題などについて率直に作家の考えが表明されたそれらの手紙には、多くの観覧者の興味を集めたようだった。

展覧会の開催時期に、偶然にも国内各地の美術館での菅木志雄の個展開催が重なったが、それらとあわせて、ようやくこの希少な作家である菅木志雄の仕事が広く評価されるようになったようである。

(2) 会場構成



(3) カタログ

編集 山口県立美術館・斎藤郁夫

内容

謝辞

ごあいさつ

図版／対話編

もう一つの菅木志雄論 谷新

展覧会ノート 斎藤郁夫

(4) 出品作品

番号	作品名	制作年
1	体周分開	1990
2	継景四辺	1993
3	水柱・動物の周囲	1991
4	構素の領分	1996
5	縁立側体	1990
6	置点移景	1993
7	連差周沿	1998
8	多周双空	1998
9	景合周束	1998
10	分体界束	1998
11	間中	1998
12	境中の間	1998

(3) 美術講演会および講座

自主企画展、県美展、共催展等の展覧会事業の内容理解と普及をはかるため、下記の講演会および講座を行なった。

【美術講演会】

■日 時 平成9年1月12日（日）13：30～15：00

場 所 山口県立美術館講座室

講 師 島田康寛（京都国立近代美術館学芸課長）

演 題 浅井忠とその周辺の日本画家

■日 時 平成10年1月18日（日）14：00～16：00

場 所 山口県立美術館講座室

講 師 田窪恭治（美術作家）

演 題 風景の再生—サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂プロジェクト—

■日 時 平成10年12月3日（木）17：30～19：30

場 所 山口県立美術館講座室

講 師 ベアト・ストロイリ（写真家）

演 題 自作を語る

■平成10年4月7日（火）13：00～14：00

コレクターの眼 安宅コレクションをめぐって（大阪市立東洋陶磁美術館長 伊藤郁太郎）
美術館講座室

■平成10年10月17日（土） 14：00～16：00

ナン・ゴールドイン講演（写真家 ナン・ゴールドイン）

美術館講座室

【シンポジウム】

■第51回県美展シンポジウム

日 時 平成9年9月21日（日） 14：00～16：00

場 所 美術館講座室

タイトル 受賞者と語る

パネリスト 松尾宗慶（第51回県美展準大賞受賞者）

倉林 靖（第51回県美展審査員）

河田明久（第51回県美展ワークショップ講師）

荒瀬景敏（第51回県美展運営委員）

コーディネーター 榎本 徹（山口県立美術館）

■第52回県美展シンポジウム

日 時 平成10年9月27日（日） 14：00～16：00

場 所 美術館講座室

タイトル 山口県美展 過去、現在そして未来

パネリスト 綿谷清志（第52回県美展大賞受賞者）

建島 哲（第52回県美展審査員）

武田雅行（第52回県美展運営委員）

コーディネーター 安井雄一郎（山口県立美術館）

【学芸員ほかによる美術教養講座】

- 平成9年4月日（土）10：30～11：30
アッシリア大文明展ギャラリー・トーク（岩井共二）
展覧会会場

- 平成9年5月31日（土）14：00～15：30
密教美術と仏教の真理について（コロンビア大学宗教学部助教授 阿部龍一）
美術館講座室

- 平成9年7月12日（土）13：00～15：00
ハンス・ミハエル・ヘルツォーク講演会（ビーレフェルト美術館 ハンス・ミハエル・ヘルツ
ォーク）
美術館講座室

- 平成9年7月12日（土）13：00～16：00
ユルゲン・クラウケ講演会（美術作家 ユルゲン・クラウケ）
美術館講座室

- 平成9年10月26日（日）13：30～15：00
高麗仏画の表現と技法（慶州大学校文化財学科教授 鄭干澤）
美術館講座室

- 平成9年11月2日（日）13：30～15：00
李朝時代の仏画を想う（東亜大学校人文大学考古美術史学科助教授 朴銀卿）
美術館講座室

- 平成9年11月9日（日）13：30～15：00
高麗・李朝の仏教彫刻（鎌倉国宝館学芸員 内藤浩之）
美術館講座室

- 平成10年3月14日（土）10：30～、13：30～
作家によるレクチャー、イベント（美術作家 菅木志雄）
美術館講座室

- 平成10年3月3、10、17、24、31日
ホノルル美術館名品展解説講座（福島恒徳）
展覧会会場

- 平成10年3月8日（土）12：00～13：00、16：00～18：00
ウーライ展関連パフォーマンス（作家 ウーライ）
展覧会会場

- 平成10年4月19日（日）、5月5日（火）13：30～15：30
安宅コレクション展ギャラリートーク（榎本徹）

展覧会会場

■平成10年8月7日(金)・14日(金)・21日(金)・28日(金) 14:00~15:30
 親子で見る印象派の世界~ピサロってだあれ~ (斎藤郁夫)
 展覧会会場

8月1日(土)、2日(日)、29(土)、30(日) 13:30~15:00
 ピサロ展ギャラリートーク (斎藤郁夫)
 展覧会会場

■平成10年10月25日(日)・11月1日(日)・8日(日)・15日(日)・22日(日) 13:30~14:30
 禅寺の絵師たち展ギャラリートーク (福島恒徳)
 展覧会会場

■平成10年12月23日(水)、平成11年1月10日(日) 13:00~14:30
 ゲント美術館名品展ギャラリートーク (高田美規雄)
 展覧会会場

【実技講座】

上級(平成9年度)

部 門	講 師	期 間	定 員	申 込 者	受 講 者
洋 画	富 永 恒 光	7月22日(火)~24日(木)(前記)	20	28	20
		7月25日(金)~27日(日)(後期)	20	29	18
写 真	下 瀬 信 雄	7月28日(月)~30日(水)	15	13	13
色彩の造形	荒 瀬 景 敏	7月31日(木)~8月2日(土)	20	22	22

上級(平成10年度)

部 門	講 師	期 間	定 員	申 込 者	受 講 者
洋 画	下 瀬 信 雄	7月17日(金)~19日(日)	15	7	6
		7月22日(水)~24日(金)(前期)	20	48	20
写 真	富 永 恒 光	7月25日(土)~27日(月)(後期)	20	48	20
色彩の造形	荒 瀬 景 敏	8月1日(土)~3日(月)	20	22	20

(4) 美術館ニュース「^{てんげ}天花」

第69号 (平成9年5月1日発行)

館蔵品紹介 田中米吉「ドッキング (表面) No.56」(寄託作品) 安井雄一郎

天空の秘宝 チベット密教美術展 岩井共二

私たちが会えるもの 高田美規雄



第70号 (平成9年7月1日発行)

館蔵品紹介 永地秀太「静物」 高田美規雄

ユルゲン・クラウケ展—幻影の戯れ— 河野通孝

県展を考える PART 監 斉藤武雄 (彩陶庵代表・萩女子短大非常勤講師)

何かが満ちてくるまで 堀 晃 (洋画家)



第71号 (平成9年10月1日発行)

館蔵品紹介 中本達也「干魚」 高田美規雄

高麗・李朝の仏教美術展 岩井共二

李朝時代・純金画の諸相—銘文から見た李王朝の実像— 武田和昭 (香川県・円明院住職)

香月泰男—シベリア・シリーズと画稿展 安井雄一郎



第72号 (平成10年3月1日発行)

館蔵品紹介 畠山直哉「LIME WORKS」 河野通孝

対話篇—菅木志雄展 斎藤郁夫

むだばなし 綿田稔

私たちのいる場所 高田美規雄



第73号 (平成10年6月1日発行)

館蔵品紹介 森狙仙「手長猿図」 綿田稔

香月泰男のシベリア・シリーズ—「<私の>シベリア」の実像をもとめて—
安井雄一郎

相克する鑑賞原理—「安宅コレクションの至宝展」から— 榎本徹
ゲティ・センターを訪れて 岩井共二



第74号 (平成10年8月1日発行)

館蔵品紹介 香月泰男「朝暘」 高田美規雄
ピサロ展 印象派の巨匠とピサロ家の画家たち 斎藤郁夫
周防国分寺の仏像 岩井共二
山口県美術展覧会ボランティアのこと 河野通孝



第75号 (平成10年12月1日発行)

館蔵品紹介 三輪喜楽「萩牡丹唐草文手洗」 榎本徹
ベ아트・ストロイリ展 斎藤郁夫
禅寺の絵師たち—明兆・靈彩・赤脚子—展 岩井共二
ナン・ゴールドイン展 河野通孝
むだばなし2 綿田稔



第76号 (平成11年3月1日発行)

館蔵品紹介 松田正平「上白根風景」 安井雄一郎
来日450年 その生涯と南蛮文化の遺宝 大ザビエル展 綿田稔
ベルギー・ゲント美術館名品展 高田美規雄
「近代」の周辺 高田美規雄



(5) 山口県立美術館移動美術館

館蔵品を県下各地で広く展覧し、美術文化の振興に寄与するという趣旨のもとで山口県立美術館移動美術館を開催した。

「モチーフ」をつなげてあそぼ」

1997（平成9）年10月18日（土）～10月22日（水） 日置町農村環境改善センター

1997（平成9）年10月25日（土）～10月30日（木） 柳井市サンビームやない



(1) 趣旨

おなじモチーフや似かよったモチーフの作品を各コーナー別に展示し、それぞれのコーナーに並んだ作品を図録の案内で鑑賞していくなかであらたな発見や知識修得のきっかけを作り、美術の面白さを体験するなかで美術に親しむコツをつかんでもらう試みとして企画した。

(2) カタログ

大スキラ版36ページ／ 図版 モノクロ 32ページ

(3) 出品作品

日本画、油彩画、写真、立体 計44点

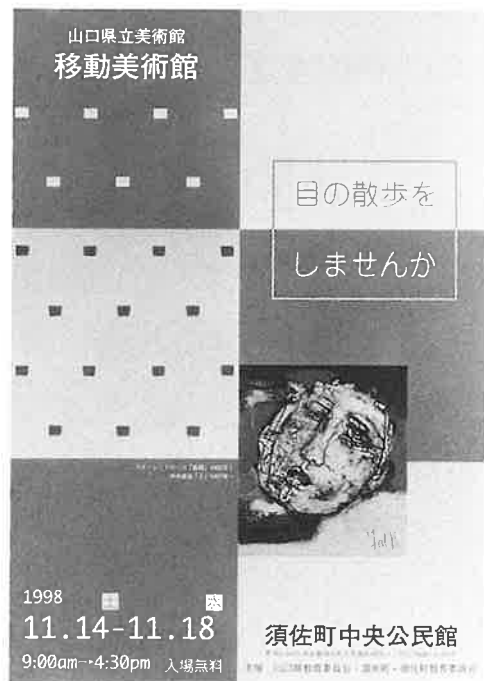
(4) 参会者内訳

場所		場所	
会期	日置町	会期	柳井市
10/18日	205	10/25日	240
19	166	26	203
20	168	27	139
21	135	28	325
22	214	29	243
		30	182
計	888人	計	1332人



「目の散歩をしませんか」

1998（平成10）年11月7日（土）～11月11日（水） 大島町文化センター
 1998（平成10）年11月14日（土）～11月18日（水） 須佐町中央公民館

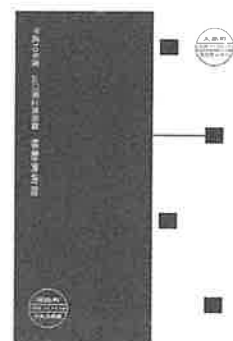


(1) 趣旨

館蔵品の中から多様な作品をセレクトし、作家や制作背景の異なる作品同士を並べ、数点ごとに「男か女か」「なぜかハダカ」といった小見出しを付けた。これによって、ものを見ることにまつわるさまざまな不思議を提示している。これをきっかけとして、鑑賞者が個人個人のやり方で作品そのものと対話するよう導くことに努めた。

(2) カタログ

A 5版48ページ／ 図版 モノクロ 35ページ



(3) 出品作品

日本画、洋画、写真、版画、立体 計50点

(4) 参会者内訳

場所		場所	
会期	大島町	会期	須佐町
11/7日	122	11/14日	193
8	79	15	150
9	149	16	174
10	681	17	173
		18	316
計	1101人	計	1006人

(6) 年間行事ポスター・チラシ

年間の展覧会を紹介するポスター・チラシを作成し、展覧会利用に供した。

(1) 平成9年度



(2) 平成10年度



(7) 博物館実習

(1) 平成9年度

■実習生名簿

no	氏名	所属	出身高校	出身県
1	加藤真由美	東京工芸大学芸術学部映像学科3年	山口県立厚狭高等学校	山口県
2	上村 美穂	奈良女子大学文学部人間行動科学科3年	山口県立岩国高等学校	山口県
3	今村 麻美	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	福岡県立朝倉高等学校	福岡県
4	江崎千穂美	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	福岡県立八女高等学校	福岡県
5	須田香奈恵	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	松江市立女子高等学校	島根県
6	向原久美子	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	山口県立高森高等学校	山口県
7	加美野恵子	山口県立大学家政学部生活デザイン学科3年	山口県立宇部中央高等学校	山口県
8	中家 史恵	山口県立大学家政学部生活デザイン学科4年	大分県立中津南高等学校	大分県
9	梶谷 典子	山口県立大学家政学部生活デザイン学科4年	福岡県立城南高等学校	福岡県
10	小森 由香	山口県立大学家政学部生活デザイン学科4年	静岡県立伊豆中央高等学校	静岡県
11	表 純子	山口大学人文学部人文社会学科4年	広島市立基町高等学校	広島県
12	笠岡 伯子	山口大学人文学部人文社会学科4年	広島大学附属高等学校	広島県
13	久我 斉子	山口大学人文学部人文社会学科4年	佐賀県立鹿島高等学校	佐賀県
14	斉藤佐和子	山口大学人文学部人文社会学科4年	島根県立益田高等学校	島根県
15	相良 悦子	山口大学人文学部人文社会学科4年	大分県立中津南高等学校	大分県
16	高村 幸子	山口大学人文学部人文社会学科4年	大分県立日田高等学校	大分県
17	中尾 陽子	山口大学人文学部人文社会学科4年	福岡県立明善高等学校	福岡県
18	永田 康子	山口大学人文学部人文社会学科4年	西南女学院高等学校	福岡県
19	廣末 正利	山口大学人文学部人文社会学科4年	佐伯鶴城高等学校	大分県
20	岡野芽久美	山口芸術短期大学生活芸術学科人文コース2年	山口県立山口中央高等学校	山口県
21	橋本 直美	山口芸術短期大学生活芸術学科人文コース2年	福島県立安積女子高等学校	福島県
22	木村加代子	大阪青山短期大学国文科日本文化史コース1年	三田尻女子高等学校	山口県

■実習計画

月日	曜	時間	テーマ	担当
8月24日	日	午前10:00~	事前指導、連絡等	安井
8月25日	月	午前8:30~9:00	集合、館職員への挨拶等	安井
		9:00~10:30	美術館について	安井
		10:40~12:00	館内見学	安井
		午後13:00~14:30	古美術品の取扱いについて1 (ビデオ)	福島
		14:40~16:30	古美術品の取扱いについて2 (ビデオ)	福島
8月26日	火	午前9:00~10:30	油彩画について1	高田
		10:40~12:00	油彩画について2	高田
		午後13:00~14:30	日本画の取扱いについて1 (実習)	綿田
		14:40~16:30	日本画の取扱いについて2 (実習)	綿田
8月27日	水	午前9:00~10:30	研究紀要について1	安井
		10:40~12:00	研究紀要について2	安井
		午後13:00~14:30	工芸品の取扱いについて1 (実習)	榎本
		14:40~16:30	工芸品の取扱いについて2 (実習)	榎本
8月28日	木	午前9:00~10:30	展覧会の企画について1	斎藤
		10:40~12:00	展覧会の企画について2	斎藤
		午後13:00~14:30	県美展準備1 (実習)	河野
		14:40~16:30	県美展準備2 (実習)	河野
8月29日	金	終日9:00~16:30	県美展作品搬入1 (実習)	河野
8月30日	土	終日9:00~16:30	県美展作品搬入2 (実習)	河野
8月31日	日	終日9:00~16:00	県美展作品搬入3 (実習)	河野
		16:00~16:30	提出書類の整理等	安井

(2) 平成10年度

■実習生名簿

no	氏名	所属	出身高校	出身県
1	古市 将英	神戸大学文学部西洋史学科4年	山口県立山口高等学校	山口県
2	千々松香織	九州産業大学芸術学部美術学科4年	山口県立小野田高等学校	山口県
3	安部 夕子	梅光女学院大学文学部日本文学科3年	山口県立山口中央高等学校	山口県
4	兼原 尚子	梅光女学院大学文学部日本文学科3年	野田学園高等学校	山口県
5	今泉 祥子	山口芸術短期大学生活芸術科人文コース2年	愛媛県立松山商業高等学校	愛媛県
6	紙本 泰子	山口芸術短期大学生活芸術科人文コース2年	山口県立萩高等学校	山口県
7	柿 知子	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	山口県立長府高等学校	山口県
8	友野亜希子	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	山口県立小野田高等学校	山口県
9	福田美奈子	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	福岡県立北筑高等学校	福岡県
10	本田 和泉	山口県立大学国際文化学部国際文化学科3年	大分県立竹田高等学校	大分県
11	生嶋 友美	山口県立大学家政学部生活デザイン学科4年	広島県立呉三津田高等学校	広島県
12	伊東 典子	山口県立大学家政学部生活デザイン学科4年	大分県立大分南高等学校	大分県
13	田畑 宏美	山口県立大学家政学部生活デザイン学科4年	山口県立華陵高等学校	山口県
14	内藤亜紀子	山口県立大学家政学部生活デザイン学科4年	島根県立出雲高等学校	島根県
15	岡村 咲子	山口大学人文学部人文社会学科博物文化論コース4年	大分県立大分東高等学校	大分県
16	梶川 聖美	山口大学人文学部人文社会学科博物文化論コース4年	福岡県立田川高等学校	福岡県
17	杉本 加奈	山口大学人文学部人文社会学科博物文化論コース4年	長崎県立長崎北高等学校	長崎県
18	高田 純子	山口大学人文学部人文社会学科博物文化論コース4年	長崎県立佐世保南高等学校	長崎県
19	田中 里美	山口大学人文学部人文社会学科地域歴史文化論コース4年	山口県立防府高等学校	山口県
20	前田恵理子	山口大学人文学部人文社会学科博物文化論コース4年	佐賀県立唐津西高等学校	佐賀県
21	馬越 貴子	山口大学人文学部人文社会学科博物文化論コース4年	広島県立福山明王台高等学校	広島県
22	田中 里美	山口大学人文学部人文社会学科博物文化論コース4年	京都府立福知山高等学校	京都府

■実習計画

月日	曜	時間	テーマ	担当
8月31日	月	午前8:30~9:00	集合、実習資料の確認等	安井
		9:00~10:00	館職員への挨拶、館内見学	安井
		10:10~12:00	普及活動の実践例ーワークシートの試み1 (講義と実習)	綿田・河野
		午後13:00~14:30	普及活動の実践例ーワークシートの試み2 (講義と実習)	綿田・河野
		14:40~16:30	ナン・ゴールドイン展会場設営 (実習)	安井・河野
9月1日	火	午前9:00~10:30	油彩画について1 (講義)	高田
		10:40~12:00	油彩画について2 (講義)	高田
		午後13:00~14:30	展覧会の企画について1 (講義)	斎藤
9月2日	水	14:40~16:30	展覧会の企画について2 (講義)	斎藤
		午前9:00~10:30	古美術品の保存と展示・取扱い1 (講義と実習)	福島
		10:40~12:00	古美術品の保存と展示・取扱い2 (講義と実習)	福島
9月3日	木	午後13:00~14:30	工芸について1 (講義と実習)	榎本
		14:40~16:30	工芸について2 (講義と実習)	榎本
		午前9:00~10:30	日本画の取扱いについて1 (講義と実習)	岩井・綿田
9月4日	金	10:40~12:00	日本画の取扱いについて2 (講義と実習)	岩井・綿田
		午後13:00~14:30	館蔵品の管理ーデータベースの利用についてー(講義)	岩井
		14:40~16:30	県美展準備 (実習)	安井
9月5日	土	終日9:00~16:30	県美展作品の搬入1 (実習)	安井・河野
9月6日	日	終日9:00~16:00	県美展作品の搬入2 (実習)	安井・綿田
		16:00~16:30	県美展作品の搬入3 (実習)	安井・綿田
			提出書類の整理等	安井

事業

Ⅲ. 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

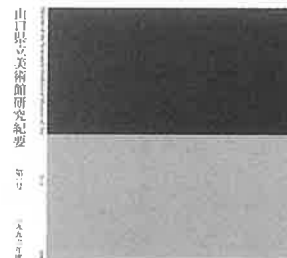
■第1号（平成9年3月1日発行）

山口市・万福寺地藏菩薩像について 岩井共二
香月泰男研究―描かれた「大陸モチーフ」からシベリア・シリーズを
考える 安井雄一郎

【資料】

香月泰男資料(1)

聞き取り・香月泰男―坂倉秀典氏にシベリア・シリーズについて聞く
坂倉秀典（三隅町立香月美術館館長）編集・安井雄一郎



(2) 雪舟研究会

山口県美術史を代表する画家であり、我が国の絵画史上もっとも優れた水墨画家である雪舟について10年後に没後500年の大遠忌をむかえるにあたり継続性のある総合的な調査研究に着手した。本事業は将来雪舟研究所設立構想を前提にして発足した。

【会議】

■平成8年度雪舟研究会第1回研究委員会会議

日時 平成8年9月18日（水） 13：30～16：00
場所 山口県立美術館会議室
出席 島尾 新 東京国立文化財研究所主任研究官 研究委員長
影山純夫 山口大学助教授 研究委員
高橋範子 正木美術館学芸員 研究委員
守安 収 岡山県立美術館主任学芸員 研究委員
山下裕二 明治学院大学文学部助教授 研究委員
畑 靖紀 東北大学大学院博士課程 紀要執筆者
福島恒徳 山口県立美術館専門研究員 事務局員

■平成8年度雪舟研究会第2回研究委員会会議

日時 平成8年12月1日（日） 10：30～12：00
場所 山口県立美術館会議室
出席 島尾 新 東京国立文化財研究所主任研究官 研究委員長
影山純夫 山口大学助教授 研究委員
高橋範子 正木美術館学芸員 研究委員
守安 収 岡山県立美術館主任学芸員 研究委員
山下裕二 明治学院大学文学部助教授 研究委員
畑 靖紀 東北大学大学院博士課程 紀要執筆者
福島恒徳 山口県立美術館専門研究員 事務局員

■平成8年度雪舟研究会第3回研究委員会会議および調査

日時 平成9年3月9日（日） 10：30～12：00
場所 岡山県立美術館
出席 島尾 新 東京国立文化財研究所主任研究官 研究委員長
影山純夫 山口大学助教授 研究委員
高橋範子 正木美術館学芸員 研究委員

守安 收	岡山県立美術館主任学芸員	研究委員
山下裕二	明治学院大学文学部助教授	研究委員
福島恒徳	山口県立美術館専門研究員	事務局員

■平成9年度雪舟研究会第1回研究委員会会議

日 時	平成9年6月8日(日)	10:00~12:00
場 所	山口県立美術館会議室	
出 席	島尾 新	東京国立文化財研究所主任研究官 研究委員長
	影山純夫	神戸大学国際文化学部教授 研究委員
	高橋範子	正木美術館学芸員 研究委員
	守安 收	岡山県立美術館主任学芸員 研究委員
	山下裕二	明治学院大学文学部助教授 研究委員
	福島恒徳	山口県立美術館専門研究員 事務局員

■平成9年度雪舟研究会第2回研究委員会会議および調査

日 時	平成9年9月2日(火)	
場 所	宮津市・天橋立 宮津ロイヤルホテル	
出 席	島尾 新	東京国立文化財研究所主任研究官 研究委員長
	影山純夫	神戸大学国際文化学部教授 研究委員
	高橋範子	正木美術館学芸員 研究委員
	守安 收	岡山県立美術館主任学芸員 研究委員
	山下裕二	明治学院大学文学部助教授 研究委員

■平成9年度雪舟研究会第3回研究委員会及び調査

日 時	平成10年3月27日(金)	
場 所	石橋美術館	
出 席	島尾 新	東京国立文化財研究所主任研究官 研究委員長
	影山純夫	神戸大学国際文化学部教授 研究委員
	高橋範子	正木美術館学芸員 研究委員
	守安 收	岡山県立美術館主任学芸員 研究委員
	山下裕二	明治学院大学文学部助教授 研究委員
	福島恒徳	山口県立美術館専門研究員 事務局員

■平成10年度雪舟研究会第1回研究委員会

日 時	平成10年6月6日(土)	10:00~12:00
場 所	山口県立美術館会議室	
出 席	島尾 新	東京国立文化財研究所主任研究官 研究委員長
	影山純夫	神戸大学国際文化学部教授 研究委員
	高橋範子	正木美術館主席学芸員 研究委員
	守安 收	岡山県立美術館主任学芸員 研究委員
	山下裕二	明治学院大学文学部助教授 研究委員
	福島恒徳	山口県立美術館専門研究員 事務局員

■平成10年度雪舟研究会第2回研究委員会

日 時	平成10年11月8日(日) 10:00~12:00	
場 所	山口県立美術館会議室	

出席	島尾 新	東京国立文化財研究所主任研究官	研究委員長
	影山純夫	神戸大学国際文化学部教授	研究委員
	高橋範子	正木美術館主席学芸員	研究委員
	守安 収	岡山県立美術館主任学芸員	研究委員
	山下裕二	明治学院大学文学部助教授	研究委員
	福島恒徳	山口県立美術館専門研究員	事務局員

■平成10年度雪舟研究会第3回研究委員会会議および調査

日時 平成11年1月27日～28日

場所 鹿児島市立美術館

出席	島尾 新	東京国立文化財研究所主任研究官	研究委員長
	影山純夫	神戸大学国際文化学部教授	研究委員
	守安 収	岡山県立美術館主任学芸員	研究委員
	山下裕二	明治学院大学文学部助教授	研究委員
	福島恒徳	山口県立美術館専門研究員	事務局員

【基調講演会】

■日時 平成8年12月1日（日） 14：00～15：00

場所 美術館講座室

講師 河合正朝（慶応義塾大学教授）

演題 私説・雪舟研究の現状と課題—雪舟・拙宗同人説から伝雪舟筆四季花鳥図屏風の図像解釈まで

■日時 平成9年6月8日（日） 13：30～15：00

場所 美術館講座室

講師 渡邊明義（東京国立文化財研究所所長）

演題 雪舟を辿る

■日時 平成10年6月6日（土） 13：30～15：00

場所 美術館講座室

講師 今泉淑夫（東京大学史料編纂所教授）

演題 雪舟の美濃下向について

■日時 平成10年11月8日（日） 13：30～15：25

場所 美術館講座室

講師 有賀祥隆（東北大学教授）

演題 日本の仏画—伝統と革新—

講師 平田 寛（長崎純心大学教授・九州大学名誉教授）

演題 日本の画僧について

・【シンポジウム】

■日時 平成8年12月1日（日） 15：00～16：00

場所 美術館講座室

パネリスト 河合正朝 慶応義塾大学教授

影山純夫 山口大学教育学部助教授・雪舟研究会研究委員

高橋範子 正木美術館学芸員・雪舟研究会研究委員

守安 收 岡山県立美術館主任学芸員・雪舟研究会研究委員
山下裕二 明治学院大学文学部助教授・雪舟研究会研究委員
コーディネーター 島尾 新 東京国立文化財研究所主任研究官・雪舟研究会研究委員長

■日 時 平成9年6月8日(日) 15:00~16:00
場 所 美術館講座室
パネリスト 渡邊明義 東京国立文化財研究所所長
影山純夫 神戸大学国際文化学部教授・雪舟研究会研究委員
高橋範子 正木美術館学芸員・雪舟研究会研究委員
守安 收 岡山県立美術館主任学芸員・雪舟研究会研究委員
山下裕二 明治学院大学文学部助教授・雪舟研究会研究委員
コーディネーター 島尾 新 東京国立文化財研究所主任研究官・雪舟研究会研究委員長
テーマ 雪舟を辿る

■日 時 平成10年6月6日(土) 15:00~16:00
場 所 美術館講座室
パネリスト 今泉淑夫 東京大学史料編纂所教授
影山純夫 神戸大学国際文化学部教授・雪舟研究会研究委員
高橋範子 正木美術館主席学芸員・雪舟研究会研究委員
守安 收 岡山県立美術館主任学芸員・雪舟研究会研究委員
山下裕二 明治学院大学文学部助教授・雪舟研究会研究委員
コーディネーター 島尾 新 東京国立文化財研究所写真資料研究室長・雪舟研究会研究委員長
テーマ 雪舟の美濃下向について

■日 時 平成10年11月8日(日) 15:30~16:30
場 所 美術館講座室
パネリスト 有賀祥隆 東北大学教授・基調講演会講師
平田 寛 長崎純心大学教授・基調講演会講師
山下裕二 明治学院大学文学部助教授・雪舟研究会研究委員
福島恒徳 山口県立美術館専門研究員・雪舟研究会事務局
コーディネーター 島尾 新 東京国立文化財研究所写真資料研究室長・雪舟研究会研究委員長
テーマ 日本の仏画と画僧—平安仏画から明兆・雪舟まで—

【研究誌『天開図畫』の発行】

■第1号(平成9年3月31日発行)

もう一つの山水長巻—雪舟の澆墨山水図鑑巻をめぐる— 山下裕二
(明治学院大学助教授)

雪舟の中国真景図巻群について 荏開津通彦(東京大学大学院生)

雪舟を辿る(一) 山口県立美術館蔵「山水図巻」研究の前提

高橋範子(正木美術館学芸員)

千畝周竹と『也足外集』—雪舟の前半生に関わる記述を中心として—
大島千鶴(芳井町立歴史民俗資料館学芸員)



事業

IV. 収集事業

(1) 館蔵品貸出利用状況

作品	作者	期間	貸出先	展覧会名	備考
萩象嵌花瓶	吉賀大眉	1997.4.25~1997.6.3	(財)萩陶芸美術館	吉賀大眉先生追悼現代工芸中国会展	
麦文壺	吉賀大眉	1997.4.25~1997.06.3	〃	〃	
おどけ役者	桑重儀一	1997.5.22~1997.06.07	北海道立近代美術館	「道化たちの詩(ポエム)ー日本近代美術における道化」展	
誕生	桂ゆき	1997.7.9~1997.9.11	栃木県立美術館	「揺れる女、揺らぐイメージ」展	
牧牛図(渡河)	雪舟等楊	1997.7.24~1997.9.19	神戸市博物館	特別展「日中歴史街道2000年」	
復員<タラップ>	香月泰男	1997.9.30~1997.11.20	高浜市やきもの里かわら美術館		「瓦と喜怒哀楽」展
京人形図	森寛斎	1997.10.10~1997.11.24	山種美術館	「美人画の誕生」	
雲	香月泰男	1998.2.25~1998.3.13	枚方市教育委員会	「山口県立美術館所蔵 香月泰男ーシベリア・シリーズ」	
黒い太陽	香月泰男	〃	〃	〃	寄託品
青の太陽	香月泰男	〃	〃	〃	
朝陽	香月泰男	〃	〃	〃	
朕	香月泰男	〃	〃	〃	
奉天(右)	香月泰男	〃	〃	〃	
奉天(左)	香月泰男	〃	〃	〃	
伐	香月泰男	〃	〃	〃	
業火	香月泰男	〃	〃	〃	
凍土	香月泰男	〃	〃	〃	
運ぶ人	香月泰男	〃	〃	〃	
鋸	香月泰男	〃	〃	〃	
雪	香月泰男	〃	〃	〃	
涅槃	香月泰男	〃	〃	〃	寄託品
-35°	香月泰男	〃	〃	〃	
餓	香月泰男	〃	〃	〃	
バイカル	香月泰男	〃	〃	〃	
渚<ナホトカ>	香月泰男	〃	〃	〃	寄託品
日本海	香月泰男	〃	〃	〃	
点呼(右)	香月泰男	〃	〃	〃	
点呼(左)	香月泰男	〃	〃	〃	
<私の>地球	香月泰男	〃	〃	〃	
私<マホルカ>	香月泰男	〃	〃	〃	
八臂弁財天	狩野芳崖	1998.2.27~1998.3.20	西日本新聞社	「近代日本美術史の形成~河北倫明が探求した芸術の世界~」	
雪中山水図	狩野芳崖	〃	〃	〃	
日本1958-2	朝倉 撰	1998.4.09~1998.7.22	名古屋市美術館	「戦後日本のリアリズム1945-1960」	
渴	中本達也	〃	〃	〃	
乗客	香月泰男	〃	〃	〃	
浅草にて 青空楽団	金井精一	〃	〃	〃	
デン助君	金井精一	〃	〃	〃	
『ピカドン』妻の死	福島菊次郎	〃	〃	〃	
『ピカドン』	福島菊次郎	〃	〃	〃	
8年目の病床	〃	〃	〃	〃	
『ピカドン』	福島菊次郎	〃	〃	〃	
1956年の春	〃	〃	〃	〃	
巷の女 横浜	常盤とよ子	〃	〃	〃	
若葉町付近	〃	〃	〃	〃	
『ピカドン』発作	福島菊次郎	〃	〃	〃	
『ピカドン』	福島菊次郎	〃	〃	〃	
1956年の春	〃	〃	〃	〃	

『ピカドン』	福島菊次郎	〃	〃	〃	
原爆症に蝕まれて					
巷の女 横浜	常盤とよ子	〃	〃	〃	
若葉町付近					
赤線地帯 横浜	常盤とよ子	〃	〃	〃	
真金町遊郭					
真金町診療所	常盤とよ子	〃	〃	〃	
真金町診療所	常盤とよ子	〃	〃	〃	
高射砲陣地跡	川田喜久治	〃	〃	〃	
「地図」					
日の丸「地図」	川田喜久治	〃	〃	〃	
コココーラ「地図」	川田喜久治	〃	〃	〃	
原爆ドーム	川田喜久治	〃	〃	〃	
内部しみ「地図」					
被爆者の腕「地図」	川田喜久治	〃	〃	〃	
芭蕉の雨	中野弘彦	1998.6.16～1998.7.24	京都市美術館	「中野弘彦—無常をめぐる」(京都の美術—昨日・きょう・明日24)	
籠城	不動茂弥	1998.7.4～1998.8.19	西宮市大谷記念美術館	一戦後日本画の革新運動—パンリアル創世記展	
牧牛図(牧童)	雪舟等楊	1998.7.9～1998.9.12	江戸東京博物館	近絵画の基調—狩野派の三百年	
Seeing90-1	小本章	1998.7.15～1998.8.27	岐阜県美術館	「小本章展」	
Seeing90-1	小本章	1998.7.15～1998.8.27	岐阜県美術館	「小本章展」	
Seeing82-20	小本章	1998.7.15～1998.8.27	岐阜県美術館	「小本章展」	
Seeing82-20	小本章	〃	〃	「小本章展」	
Seeing82-20	小本章	〃	〃	〃	
Seeing88-26	小本章	〃	〃	〃	
Seeing89-20	小本章	〃	〃	〃	
虎の威を借りた狐	桂ゆき	1998.7.19～1998.9.10	茨城県立近代美術館	「桂ゆきの世界—絵画とコラージュに見る女性画家のまなざし—」	
欲張り婆さん	桂ゆき	〃	〃	〃	
笑う人	桂ゆき	〃	〃	〃	
作品	桂ゆき	〃	〃	〃	
アダムとイヴ	桂ゆき	〃	〃	〃	
赤と白の対話	桂ゆき	〃	〃	〃	
作品	桂ゆき	〃	〃	〃	
異邦人	桂ゆき	〃	〃	〃	
作品	桂ゆき	〃	〃	〃	
つぶされた	桂ゆき	〃	〃	〃	
しっぽの出た狐	桂ゆき	〃	〃	〃	
作品	桂ゆき	〃	〃	〃	
作品(木の葉)	桂ゆき	〃	〃	〃	寄託品
作品(コルク)	桂ゆき	〃	〃	〃	寄託品
ラストスパート	桂ゆき	〃	〃	〃	寄託品
帰り道	桂ゆき	〃	〃	〃	寄託品
ゆあみ	新海竹太郎	1998.8.18～1998.10.19	秋田県立近代美術館	「大地の造形—東北の彫刻家たち—」	
濃彩人物画	福沢一郎	1998.8.24～1998.11.1	富岡市立美術博物館	福沢一郎記念館「生誕100年記念 福沢一郎展」	
別	香月泰男	1998.8.25～1998.11.3	板橋区立美術館「加害、被害」		
雨(牛)	香月泰男	〃	〃	〃	
ホロンバイル	香月泰男	〃	〃	〃	
護	香月泰男	〃	〃	〃	
朕	香月泰男	〃	〃	〃	
日本海	香月泰男	〃	〃	〃	

デモ	香月泰男	〃	〃	〃	
1945	香月泰男	〃	〃	〃	
異邦人	桂ゆき	1998.9.11~1998.10.24	北海道立旭川美術館	「美と土俗-近現代美術の中の“日本”」	
欲張り婆さん	桂ゆき	〃	〃	〃	
誕生	桂ゆき	〃	〃	〃	
作品	桂ゆき	〃	〃	〃	
山水図	狩野芳崖	1998.9.17~1998.10.31	石川県立美術館	開館15周年記念 墨の表情 —近代日本画にみる名作—	
懸崖飛沫図	狩野芳崖	〃	〃	〃	
雲中松鶴・寒中竹雀図	小田海僊	1998.9.17~1998.11.14	京都府京都文化博物館	「都の絵師は百花繚乱—『平安人物志』にみる江戸時代の京都画壇—」	芥川図
森寛斎	〃	〃	〃	〃	
上高地 (其三)	小林和作	1998.10.14~1998.12.7	尾道市立美術館	生誕110年記念「小林和作への旅—美の構図を求めて」	
エクス風景	小林和作	〃	〃	展	
春の山	小林和作	〃	〃	〃	
山湖	小林和作	〃	〃	〃	
海	小林和作	〃	〃	〃	
海	小林和作	〃	〃	〃	
春の海	小林和作	〃	〃	〃	
野性	田中稔之	1998.10.26~1998.11.25	(財)防府市文化財団	防府市地域交流センター開館記念 「田中稔之ふるさと展」—自選展	
秋山	小林和作	1998.10.29~1999.1.20	(財)しぶや美術館	第11回館所蔵作品展	
佐渡の海	小林和作	〃	〃	〃	
山湖の秋	小林和作	〃	〃	〃	
桜島	小林和作	〃	〃	〃	
大山	小林和作	〃	〃	〃	
隠岐浄土が浦	小林和作	〃	〃	〃	
懸崖飛沫図	狩野芳崖	1998.11.18~1999.2.3	愛媛県立美術館	「近代日本の美術—洋画家・日本画家たちの模索と展開」	
鴨図	高橋由一	〃	〃	〃	
葡萄とりす	森寛斎	〃	〃	〃	
青砥藤綱滑川拾銭図	狩野芳崖	1998.12.1~1999.1.27	(財)日本美術院	—近代美術の華—日本美術院創立 100周年記念展—広島展—	
萩花文割俵形鉢	不詳	1999.1.7~1999.12.8	東武美術館ほか4館	「大ザビエル展~その生涯と南蛮文化の遺宝」	
ホノルル	桑重儀一	1999.1.31~1999.3.16	下関市立美術館	「日本の印象派—明治末・大正初期の油彩画—」展	
絞り	永地秀太	〃	〃	〃	
山水図	狩野芳崖	1999.2.26~1999.4.9	(財)日本美術院	—近代美術の華—日本美術院創立 100周年記念展—福岡展—	
雪中山水図	狩野芳崖	〃	〃	〃	
花器「暁雲」	吉賀大眉	1999.3.15~1999.5.26	滋賀県陶芸の森	「なんてき・れ・い なんて不思議—稲葉の表現と陶芸美」	

(2) コレクション

* 凡例

以下の目録は1997（平成9）年4月から1999（平成11）年3月までに収蔵された館蔵品をすべて網羅したものである。作品の整理方針および個々のデータの記録法は『山口県立美術館蔵品目録1979』に準じている。すなわち、作品は日本画（J）・洋画（O）・版画（P）・写真（Ph）・彫刻（S）・工芸（C）の順で編集し、また個々のデータについては整理番号・作者・生没年・タイトル・制作年・素材技法・寸法（cm）・収蔵年とその経緯の順で記録した。整理番号は『山口県立美術館年報（平成7～8）』につづく通し番号である。



J-205

周徳 SHUTOKU

不詳

達磨図

Bodhidharma

室町末期

紙本墨画・軸

100.2×62.4

平成9年度（美術品取得基金）



J-206

雲谷等顔 UNKOKU, Togan

1547～1618

瀟湘八景図巻

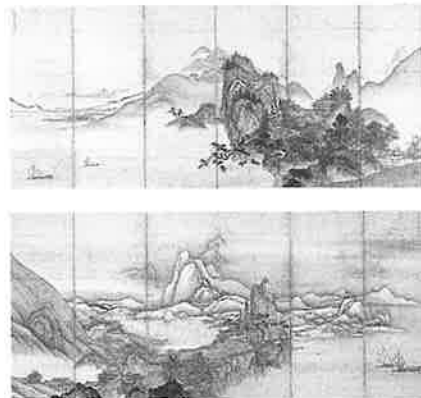
Eight Views of Hsiao and Hsiang

貞享2年

紙本墨画・卷子

27.2×577.2

平成9年度購入



J-207

雪舟落款 Nameless Artist after Sesshu

不詳

山水図

Landscape with Buildings

江戸初期

屏風六曲一双

各154.9×347.6

平成9年度（美術品取得基金）



J-208

雲谷等与 UNKOKU, Toyo
1612~1688
鶉図
Quail
1639~67
絹本着色・軸
36.7×47.0
平成9年度購入



J-209

白石等古 SHIRAISHI, Toko
不詳
鯉図
Carp
不詳
紙本墨画淡彩・軸
113.6×52.4
平成9年度購入



J-210

森周峰 MORI, Shuho
1738~1823
猿猴図
Monkey
不詳
紙本着色・屏風二曲一隻
165.5×179.2
平成9年度購入



J-211

小田海儼 ODA, Kaisen
1775~1862
夏山瀑布図
Summer Landscape with a Waterfall
1841
紙本墨画淡彩・軸
178.3×95.8
平成9年度購入



J-212

森一鳳 MORI, Ippo
1798~1871
紅葉に牧童図
Herdsboy in Autumnal tints
不詳
絹本淡彩・軸
108.4×35.8
平成9年度寄贈



J-213

狩野芳崖 KANO, Hogai
1828~1888
梅月図
Ume trees in Moonlight
不詳
紙本墨画・軸
137.0×62.4
平成9年度(美術品取得基金)



J-214

高島北海 TAKASHIMA, Hokkai
1846~1931
青海島島見門図
Landscape, Oumi Island
1929
絹本彩色・軸
134.3×41.4
平成9年度購入



J-215

尾竹国観 ODAKE, Kokkan
1880~1945
能観図
Noh Player
明治末
絹本彩色・軸
113.0×49.0
平成9年度寄贈



J-216

上原古年 UEHARA, Konen
1877~1940
晩渡
Ferry in the Evening
明治末~大正初
絹本彩色・軸
79.8×32.1
平成9年度購入



J-217

北野恒富 KITANO, Tsunetomi
1880~1947
盆踊り
Bon dance
大正初期
絹本彩色・軸
113.8×41.8
平成9年度購入



J-218

石井天風 ISHII, Tenpu
1884~1930
秋の暮
Autumn evening
1905
絹本彩色・軸
111.3×53.4
平成9年度購入



J-219

野長瀬晩花 NONAGASE, Banka
1889~1964
人影
Someone's Comming
不詳
絹本彩色・軸
131.0×42.0
平成9年度購入



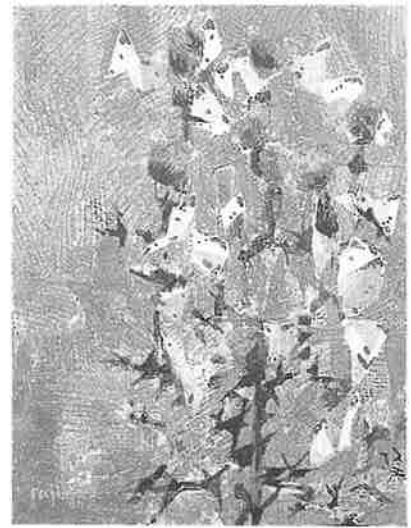
J-220

平井樗仙 HIRAI, Baisen
1889~1969
松林風景
Landscape with a pine forest
1911
絹本彩色・軸
113.4×41.7
平成9年度購入



J-221

玉村方久斗 TAMAMURA, Hokuto
1893~1951
竹取物語絵巻(部分)
Taketori Story in picture scroll
不詳
紙本彩色・画卷
46.6×886.9
平成9年度購入



J-222

藤田隆治 FUJITA, Ryuji
1907~1965
薊
Thistle
不詳
紙本著色
41.0×32.0
平成9年度寄贈

J-223

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
湖畔の女
Woman by the lake
大正期
マクリ・絹本彩色
238×115
平成9年度購入

J-224

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
花火
Fireworks
大正期
マクリ・絹本彩色
85×122
平成9年度購入

J-225

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
化粧
A Woman wearing makeup
大正期
マクリ・絹本彩色
157×86
平成9年度購入

J-226

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
梳る女
A Woman combing her hair
大正期
マクリ・絹本彩色
194×101
平成9年度購入

J-227

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
三味線
A Woman playing a shamisen
大正期
マクリ・絹本彩色
120×75
平成9年度購入

J-228

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
扇を持つ婦人
A Woman holding a fan
大正期
マクリ・絹本彩色
168×88
平成9年度寄贈

J-229

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
腰掛ける婦人
A Seated Woman
大正期
マクリ・絹本彩色
159×100
平成9年度寄贈

J-230

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
阿国
Okuni
昭和期
マクリ・絹本彩色
235×116
平成9年度寄贈

J-231

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
雪姫
A Snow Queen
昭和期
マクリ・絹本彩色
245×142
平成9年度寄贈

J-232

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
夕月
Evening moon
昭和期
マクリ・絹本彩色
195×148
平成9年度寄贈

J-233

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
雨上がり
After the rain
昭和期
マクリ・絹本彩色
218×129
平成9年度寄贈

J-234

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
おふね
A Boat
昭和期
マクリ・絹本彩色
200×144
平成9年度寄贈

J-235

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
チューリップと少女
A Girl and tulips
昭和期
マクリ・絹本彩色
172×95
平成9年度寄贈

J-236

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
献花
A Presentation Flower
昭和期
マクリ・絹本彩色
223×101
平成9年度寄贈

J-237

案本武男 MATSUMOTO, Takeo
1908~1996
婦人座像
A Seated Woman
昭和期
マクリ・絹本彩色
210×144
平成9年度寄贈



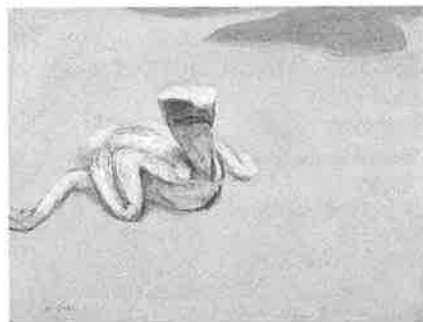
J-238

雲谷派(等益様式) UNKOKU School
17世紀
山水図
Landscape
17世紀
二曲屏風一隻
155.8×133.2
平成10年度購入



O-176

香月泰男 KAZUKI, Yasuo
1911~1974
自画像
Self portrait
1969
水彩・クレパス・紙
50×30
平成9年度購入



O-177

香月泰男 KAZUKI, Yasuo
1911~1974
幼鷲
Eaglet
1948
油彩・画布
65×50
平成9年度購入



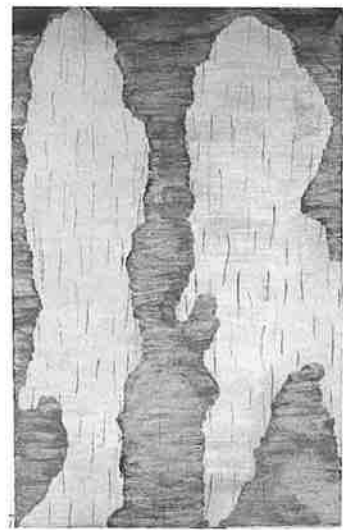
O-178

松田正平 MATSUDA, Shohei
1913~
風景
Landscape
1929
油彩・画布
45.4×33.3
平成9年度購入



O-179

桂ゆき KATSURA, Yuki
1913~1991
作品
Work
1940頃
油彩・画布・額
45.5×38.2
平成9年度購入



O-180

長谷川繁 HASEGAWA, Shigeru
1963~
無題
No title
1994
油彩・画布
300×200
平成9年度購入



O-181

長谷川繁 HASEGAWA, Shigeru
1963~
無題
No title
1995
油彩・画布
300×200
平成9年度購入



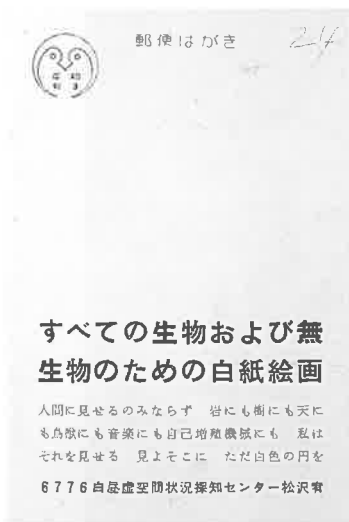
O-182

長谷川繁 HASEGAWA, Shigeru
1963~
無題
No title
1995
油彩・画布
300×200
平成9年度購入



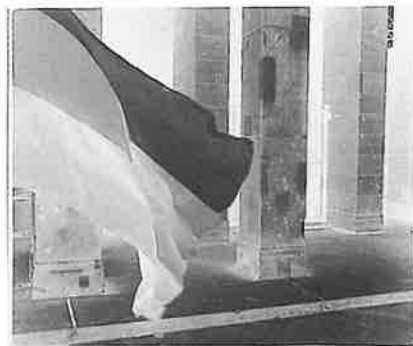
O-183

永地秀太 NAGATOCHI, Hideta
1937
ギリシアの浮彫
Relief in Greek
1873~1942
油彩・画布・額
73×91
平成10年度購入



P-155

松沢宥 MATSUZAWA, Yutaka
1967～68
第一次ハガキ絵画発信
Posted Paintings, 1967-68
1922～
ハガキ・額
24.0×167.2
平成10年度購入



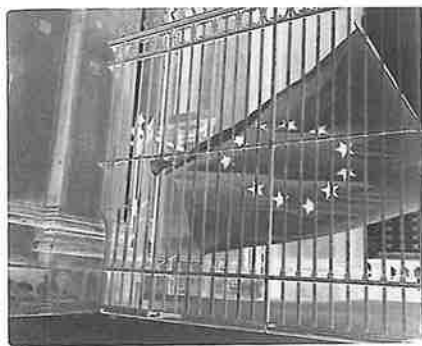
Ph-2076

ウーライ ULAY
1943～
残像
Photogene
1996
カラー写真
103×125
平成9年度購入



Ph-2077

ウーライ ULAY
1943～
残像
Photogene
1996
カラー写真
103×125
平成9年度購入



Ph-2078

ウーライ ULAY
1943～
残像
Photogene
1996
カラー写真
103×125
平成9年度購入



Ph-2079

ナン・ゴールドディン NAN Goldin
1996
浜辺で笑うパヴェル、ポスチアーノ、イタリア、1996
Pawel laughing on the beach, Postiano, Italy, 1996
1953～
チバクローム、木枠
70.5×104×4.5
平成10年度購入



Ph-2080

ナン・ゴールドディン NAN Goldin
1995
スモークの中のブルース、ソルフエタラ、ポッツォーリ、イタリア、1995
Bruce in smoke, Solfatara, Pozzuoli, Italy, 1995
1953～
チバクローム、木枠
70.5×104×4.5
平成10年度購入



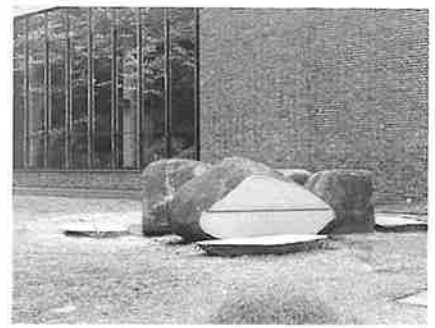
Ph-2081

ナン・ゴールドディン NAN Goldin
1996
雪の中のサイモン、クリスマスの夜明け、ウーメオ、1997
Simon in the snow at dawn, Christmas, Umea, 1997
1953～
チバクローム、木枠
104×70.5×4.5
平成10年度購入



Ph-2082

ナン・ゴールドディン NAN Goldin
1997
デイヴィッド、私のベッドにて、ヴォルフスブルク、ドイツ、1997
David on my bed, Wolfsburg, Germany, 1997
1953～
チバクローム、木枠
104×70.5×4.5
平成10年度購入



S-95

菅木志雄 SUGA, Kishio
1998
間中
Kan-Chu (An Open-in the Middle)
1944～
石
663×517×116
平成10年度購入



C-141

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1895～1981
萩茶碗
Tea bowl
1965頃
陶器
12.7(口径)×5.5(底径)×8.8(高)
平成9年度購入



C-142

大野瑞峰 ONO, Zuiho
1910～
萩布袋唐子置物
Ornament
1957頃
陶
27.3 (高)
平成9年度購入



C-143

野坂康起 NOSAKA, Koki
1931～
萩鉄灰被線文鉢
Bowl
1989
陶器
47.5(口径)×37.3(底径)×14.4(高)
平成9年度購入



C-144

玉村登陽 TAMAMURA, Toyo
1938～
萩茶碗
Tea bowl
1997
陶器
13.9(口径)×4.6(底径)×9.1(高)
平成9年度購入



C-145

三輪龍作 MIWA, Ryosaku
1940～
寂・般若
Nirvana, Mask of Hannya
1993
陶
49.5(高)×100.0(幅)×220.0(奥ゆき)
平成9年度(美術品取得基金)



C-146

三輪龍作 MIWA, Ryosaku
1940～
寂・若女
Nirvana, Mask of Wakaonna
1993
陶
43.5(高)×100.0(幅)×220.0(奥ゆき)
平成9年度(美術品取得基金)



C-147

三輪龍作 MIWA, Ryosaku
1940～
白雲現龍氣
White Cloud Summons Dragon
1995
陶
210.0(高)×770.0(幅)×320.0(奥ゆき)
平成9年度(美術品取得基金)



C-148

三輪龍作 MIWA, Ryosaku
1940～
柔らかい海Ⅰ
Gentle Sea of the Womb
1996
陶
70.0(高)×84.5(幅)×35.0(奥ゆき)
平成9年度(美術品取得基金)



C-149

三輪龍作 MIWA, Ryosaku
1940～
柔らかい海Ⅱ
Gentle Sea of the Womb
1996
陶
110.0(高)×84.5(幅)×35.0(奥ゆき)
平成9年度(美術品取得基金)



C-150

坂倉新兵衛 SAKAKURA, Shinbei
1949～
萩灰被朝顔文皿
Dish
1991
陶器
38.0(縦)×40.0(横)×6.0(高)
平成9年度購入



C-151

新庄貞嗣 SHINJO, Sadatsugu
1950～
萩台鉢
Plate with high foot
1996
陶器
48.0(幅)×31.0(高)
平成9年度購入



C-152

田原陶兵衛 TAHARA, Tobei
1951～
萩灰被茶碗
Tea bowl
1996
陶器
14.1(口径)×5.6(底径)×8.2(高)
平成9年度購入



C-153

兼田昌尚 KANEDA, Masanao
1953～
萩灰被割貫茶碗
Tea bowl
1995
陶器
11.5(口径)×6.5(底径)×9.5(高)
平成9年度購入



C-154

兼田昌尚 KANEDA, Masanao
1953～
萩白釉窯変割貫水指
Water container
1995
陶器
12.2(口径)×23.0(底径)×22.0(高)
平成9年度購入



C-155

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1967
萩茶碗
Tea bowl
1895～1981
陶器
口径12.4、底径5.0、高さ9.0
平成10年度購入



C-156

山本晃 YAMAMOTO, Akira
1997
接合二段箱「草叢」
A set of octagonal box
1944～
金工
幅13.3、奥行13.3、高さ15.0
平成10年度購入



C-157

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1967頃
萩割高台茶碗
Tea bowl
1895～1981
陶器
口径15.4、底径5.8、高さ9.1
平成10年度寄贈



C-158

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1974
萩割高台茶碗
Tea bowl
1895～1981
陶器
口径14.6、底径6.0、高さ8.8
平成10年度寄贈



C-159

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1974
萩茶碗
Tea bowl
1895～1981
陶器
口径12.8、底径6.1、高さ10.1
平成10年度寄贈



C-160

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1971頃
萩茶碗
Tea bowl
1895～1981
陶器
口径14.2、底径6.0、高さ9.0
平成10年度寄贈



C-161

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1975頃
萩茶碗
Tea bowl
1895～1981
陶器
口径14.1、底径5.7、高さ8.0
平成10年度寄贈



C-162

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1976
萩茶碗
Tea bowl
1895~1981
陶器
口径15.1、底径5.0、高さ7.8
平成10年度寄贈



C-163

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1976頃
萩茶碗
Tea bowl
1895~1981
陶器
口径14.3、底径5.0、高さ8.1
平成10年度寄贈



C-164

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1968頃
萩大海茶入
Tea caddy
1895~1981
陶器
口径5.8、底径4.1、高さ6.4
平成10年度寄贈



C-165

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1959
萩灰被花入
Vase
1895~1981
陶器
口径4.8、底径12.0、高さ16.0
平成10年度寄贈



C-166

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1975
萩花入
Vase
1895~1981
陶器
口径7.0、底径7.0、高さ12.7
平成10年度寄贈



C-167

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1967
萩徳利
Sake bottle
1895~1981
陶器
口径4.2、底径5.0、高さ12.9
平成10年度寄贈



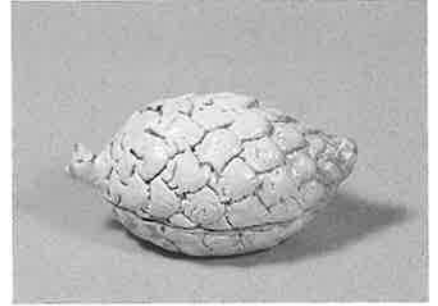
C-168

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1968
萩徳利
Sake bottle
1895~1981
陶器
口径4.0、底径5.7、高さ13.5
平成10年度寄贈



C-169

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1969
萩丸香合
Insense box
1895~1981
陶器
幅6.5、奥行5.5、高さ5.0
平成10年度寄贈



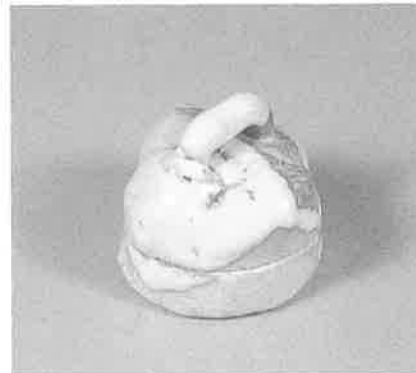
C-170

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1971
萩松笠香合
Insense box
1895~1981
陶器
幅8.8、奥行4.6、高さ4.3
平成10年度寄贈



C-171

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1975頃
萩四方香合
Insense box
1895~1981
陶器
幅6.3、奥行4.7、高さ5.8
平成10年度寄贈



C-172

三輪休和 MIWA, Kyuwa
1975頃
萩はじき香合
Insense box
1895~1981
陶器
幅5.3、奥行5.5、高さ4.9
平成10年度寄贈



C-173

坂田泥華 SAKATA, Deika
1979
萩茶碗
Tea bowl
1915~
陶器
口径16.6、底径5.7、高さ6.7
平成10年度寄贈



C-174

新庄貞嗣 Shijou, Sadatsugu
1996
萩灰被盒
Box and cover
1950~
陶器
口径34.2、底径19.7、高さ28.5
平成10年度寄贈



C-175

堀尾信夫 HORIO, Nobuo
1998
長方研
Inkstone
1943~
硯
幅10.3、奥行19.6、高さ3.3
平成10年度寄贈



C-176

堀尾信夫 HORIO, Nobuo
1985
瓜硯
Inkstone
1943~
硯
幅15.6、奥行12.8、高さ2.7
平成10年度寄贈

入館者一覽

展 覧 会 名	開 催 期 間	個 人				小 計
		一 般		学 生		
		料 金	人 数	料 金	人 数	
常 設 展	9. 4. 1～10. 3.31	190	9,288	120	399	9,687
チベット密教美術展	9. 4.26～ 9. 6.15	1,100	20,905	800	835	21,740
伝統工芸新作展	9. 6.24～ 9. 6.29	300	1,136	300	9	1,145
ユルゲン・クラウケ展	9. 7. 8～ 9. 8.24	730	2,859	510	410	3,269
第51回山口県美術展覧会	9. 9.11～ 9. 9.28	250	3,365	200	104	3,469
高麗・李朝の仏教美術展	9.10.16～ 9.11.16	730	1,480	510	53	1,533
第50回山口県学校美術展覧会	9.12. 4～ 9.12. 7	—	—	—	—	—
山口大学卒業制作展	10. 2.12～10. 2.15	—	—	—	—	—
山口芸術短期大学卒業制作展	10. 2.19～10. 2.22	—	—	—	—	—
菅木志雄展	10. 3. 3～10. 3.29	—	439	510	53	492
9 年 度 計			39,472		1,863	41,335
常 設 展	10. 4. 1～11. 3.28	190	12,711	120	457	13,168
安宅コレクションの至宝展	10. 4. 7～10. 5.10	1,000	18,982	700	543	19,525
伝統工芸新作展	10. 5.21～10. 5.31	300	1,355	300	17	1,372
ピサロ展	10. 8. 1～10. 8.30	1,000	13,497	700	856	14,353
第52回山口県美術展覧会	10. 9.17～10.10. 4	250	3,791	200	211	4,002
ナン・ゴールドイン展	10.10.16～10.11.29	730	1,271	510	197	1,468
禅寺の絵師たち	10.10.23～10.11.23	730	1,182	510	38	1,220
第51回山口県学校美術展覧会	10.12.10～10.12.13	—	—	—	—	—
ベルギー・ゲント美術館名品展	10.12.18～11. 1.31	1,000	11,867	700	452	12,319
山口県立大学卒業制作展	11. 2. 4～11. 2. 7	—	—	—	—	—
山口大学卒業制作展	11. 2.11～11. 2.14	—	—	—	—	—
山口芸術短期大学卒業制作展	11. 2.18～11. 2.21	—	—	—	—	—
10 年 度 計			64,656		2,771	67,427

(単位：円、人)

団 体				小 計	計			合 計	累 計
一 般		学 生			有 料	無 料	招 待		
料 金	人 数	料 金	人 数						
160	682	100	21	703	10,390	4,036	84	14,510	14,510
900	670	600	5	675	22,415	7,002	5,996	35,413	49,923
300		300			1,145	335	469	1,949	51,872
620	3	410	41	44	3,313	1,085	861	5,259	57,131
200	104	150	22	126	3,595	970	622	5,187	62,318
620	223	410		223	1,756	2,905	609	5,270	67,588
—		—		—		4,835		4,835	72,423
—		—		—		1,030		1,030	73,453
—		—		—		990		990	74,443
620	42	410		42	534	235	133	902	75,345
	1,724		89	1,813	43,148	23,423	8,774	75,345	
160	780	100	52	832	14,000	6,880	248	21,128	21,128
800	319	500	24	343	19,868	4,950	6,805	31,623	52,751
300		300			1,372	473	561	2,406	55,157
800	72	500	21	93	14,446	5,551	5,231	25,228	80,385
200	29	150		29	4,031	979	736	5,746	86,131
620	51	410		51	1,519	3,032	474	5,025	91,156
620	118	410		118	1,338	2,940	695	4,973	96,129
—		—		—		6,047		6,047	102,176
800	156	500	20	176	12,495	4,003	4,435	20,933	123,109
—		—		—		660		660	123,769
—		—		—		962		962	124,731
—		—		—		1,100		1,100	125,831
	1,525		117	1,642	69,069	37,577	19,185	125,831	

組 織 等

美術館顧問

乾 由 明 金沢美術工芸大学学長
武 田 恒 夫 大手前女子大学教授
富 山 秀 男 ブリヂストン美術館館長
友 近 琢 男 山口大学名誉教授
三 輪 休 雪 重要無形文化財萩焼保持者
(以上平成9・10年度)

美術品収集審査委員

浦 上 敏 朗 日本浮世絵商協同組合顧問
奥 平 俊 六 大阪大学文学部教授
奥 津 聖 山口大学人文学部教授
田 中 幸 人 埼玉県立近代美術館長
服 部 硯 夫 山口大学名誉教授
(以上平成9・10年度)

美術館職員構成

館 長	河 野 良 輔
副 館 長 (事)	林 協 三
〃 (事)	榎 本 徹

総務課

課 長 (事)	徳 原 三 郎
主 任 (事)	山 本 康 郎
(事) 主 事	花 田 裕 介

学芸課

課 長 (事)	高 田 美規雄
主 任 (事)	斎 藤 郁 夫
専門研究員 (事)	福 島 恒 徳
学芸員	岩 井 共 二

普及課

課 長兼 (事)	榎 本 徹
主 査 (事)	安 井 雄一郎
(事) 研究員	河 野 通 孝
(事) 学芸員	綿 田 稔

(以上平成9年度)

館 長	上 野 孝 明
副 館 長 (事)	伊 藤 文 夫
〃 (事)	榎 本 徹

総務課

課 長 (事)	中 尾 将 史
主 任 (事)	山 本 康 郎
(事) 主 事	花 田 裕 介

学芸課

課長	(事)	高田	美規雄
主任	(事)	齋藤	郁夫
専門研究員	(事)	福島	恒徳
	(事)	学芸員	岩井 共二

普及課

課長	(事)	安井	雄一郎
	(事)	研究員	河野 通孝
	(事)	学芸員	綿田 稔

(以上平成10年度)

職員の動静

- 9. 4 館長(非常勤)、河野良輔、任用
 - ◇ 副館長、榎本徹、普及課長兼務
 - ◇ 総務課主任、下瀬浩平、企画部広報課企画員に転出
 - ◇ 教育庁総務課主任主事、山本康郎、総務課主任に転入
- 9. 6 普及課学芸員、綿田稔、新規採用(大阪大学、博)
- 9. 12 普及課学芸員、綿田稔、スペイン、ポルトガルへ出張(9.12.10~12.20)
- 10. 3 学芸課学芸員、岩井共二、アメリカ合衆国に出張(10.3.10~3.31)
 - ◇ 館長(非常勤)、河野良輔、退職
 - ◇ 副館長、林協三、退職
- 10. 4 館長(非常勤)、上野孝明、任用
 - 環境保健部県立中央病院事務局次長、伊藤文夫、副館長に転入
 - 副館長、榎本徹、普及課長兼務を解く
 - 総務課長、徳原三郎、商工労働部計量検定所業務課長に転出
 - 議会義務局調査課主査、中尾将史、総務課長に転入
 - 普及課主査、安井雄一郎、普及課長に転任
 - 普及課研究員、河野通孝、普及課専門研究員に転任
- 10. 6 学芸課学芸員、岩井共二、連合王国、ドイツ連邦共和国、フランス共和国に出張(10.6.10~6.29)
- 11. 3 普及課専門研究員、福島恒徳、アメリカ合衆国に出張(11.3.13~3.22)

発 行／山口県立美術館

山口県亀山町 3 - 1

Tel 083-925-7788(代表)

Fax 083-925-7790(総務課)

Fax 083-925-7784(学芸・普及課)

発行日／平成12年 3 月31日

印 刷／大村印刷株式会社

Tel 0835-22-2555

